

小学校体育館空調設備設置工事（八幡小学校）

図 面 リ ス ト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
M- 00	表紙・図面リスト	—
M- 01	機械設備工事特記仕様書（1）	N.S
M- 02	機械設備工事特記仕様書（2）	N.S
M- 03	配置図・案内図	1/500
M- 04	機器表・系統図	N.S
M- 05	空調設備 1階平面図	1/150
M- 06	換気設備 2階平面図	1/150
M- 07	計装設備 1階平面図	1/150
M- 08	防球ガード詳細図-1	1/40
M- 09	防球ガード詳細図-2	1/40
M- 10	屋外機用消音器参考図-1	1/30
M- 11	屋外機用消音器参考図-2	1/30
M- 12	屋外機用消音器参考図-3	1/30
A- 01	特記仕様書（改修その1）	N.S
A- 02	特記仕様書（改修その2）	N.S
A- 03	特記仕様書（改修その3）	N.S
A- 04	特記仕様書（改修その4）	N.S
A- 05	特記仕様書（改修その5）	N.S
A- 06	特記仕様書（改修その6）	N.S
A- 07	案内図、配置図兼参考仮設計画図	1/400
A- 08	1階平面図	1/150
A- 09	2階平面図	1/150
A- 10	矩計図1	1/30
A- 11	矩計図2	1/30
A- 12	1階天井伏図	1/150
A- 13	展開図	1/100
A- 14	室外機基礎詳細図	1/50
A- 15	キュービクル基礎詳細図	1/50
E- 01	電気設備工事特記仕様書	N.S
E- 02	配置図・屋外配管図	1/500
E- 03	改修後 受変電設備単線結線図	N.S
E- 04	幹線設備 西管理・特別教室棟 1階平面図	1/150
E- 05	幹線動力設備 1階平面図	1/150
E- 06	幹線動力設備 2階平面図	1/150

令和 5 年 9 月

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要	
1 工事名称	小学校体育館空調設備設置工事（八幡小学校）
2 工事場所	八潮市中央4丁目2番地16
3 工期	契約日から令和年月日
現場施工期間	令和年月日から令和年月日
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。	

4 建物概要					
建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
① 体育館	S造	2階建	768		
②					
③					
④					
⑤					

5 工事種目（●印を付いたものを適用する。）	
建物別及び屋外工事種目	工事種別
● 空調機と設備	一式
● 換気設備	一式
○ 排煙設備	
● 自動制御設備	一式
○ 衛生器具設備	
○ 給水設備	
○ 排水設備	
○ 消火設備	
○ 厨房機器設備	
○ ガス設備	

6 指定部分	※無	・有
対象部分:		工期: 令和年月日
7 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）		
1 専任期間の始期	請負契約締結の日から、(○)現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間・令和年月日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。	
2 専任期間の終期	工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。	
3 専任期間の中断	自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。	

8 工事範囲	図示のとおり
9 機械設備工事概要	
体育館に空冷ヒートポンプマルチエアコンを導入する。 2階に換気扇を設置する。	

埼玉環境配慮方針の適用項目 (12)	・長寿命機材の選定 (2-3-3) ・設備更新を踏まえた計画 (2-3-4) ・再生品の優先使用 (2-3-6) ・有害物質の放放量が少ない材料の使用 (2-4-2) ・発生材の資源化を推進 (3-1-6) ・フロン等の回収・破壊を行う (4-1-1) ・代替フロンの使用抑制 (4-1-2) ・新素材の採用 (4-1-3) ・太陽熱利用システムの導入 (5-1-2) ・高効率機器の採用 (5-2-2) ・ソーリングの工夫 (5-3-1) ・外気冷房制御の導入 (5-3-2) ・搬送動力の低減 (5-3-3) ・ヒートポンプの採用 (5-3-4) ・熱回収システムの導入 (5-3-5) ・コージェネレーションの導入 (5-4-1) ・節水機器の採用 (6-1-1) ・雨水利用 (6-1-3) ・排水再利用 (6-1-4) ・アスコン廃材の再利用 (6-3-2) ・再生塩ビ管の採用 (6-3-3)
--------------------	--

10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。	
11 同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事

II 工事仕様	
1 共通仕様	
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。 (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を採用する。 (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。	
2 特記仕様	
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、●印のものは適用しない。 ○印と●印の付いた場合は、共に適用する。	

章 項目		特記事項				
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7Aハを含むの有無を確認し、7Aハを含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 ・置く ※置かない					
② 電気保安技術者	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ○上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。					
③ 施工条件	・配管施工（配管工事） ・建築板金施工（風道制作及び取付け） ・熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空調機と機器施工（冷凍空調機器の据付）					
4 技能士の適用	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね3ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。					
⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	本工事で ・設ける（規模） ※設けない					
⑥ 監督員事務所	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。					
⑦ 官公署その他への届出手続等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。					
⑧ 工事用電力・水等	すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない					
⑨ 工事用仮設物	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ○本工事とする。					
⑩ 足場・さんばし類	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。					
11 残土処分	※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・山砂の類					
12 埋め戻し土・盛土	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。					
13 再生砂・再生砕石・再生アスコン使用	再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。					
14 発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は ※本工事 ・別途） (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分をするもの () (3) 再生資源化を図るもの (・硬質塩化ビニル管) (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。					
⑬ 容量等の表示	(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。					
16 配管	(1) 地中埋設配管（排水管を除く） 1) 地中埋設機（コンクリート製） ※要（図示の箇所） ・不要 2) 地中埋設機（キャットアイ） ※要（舗装部の分岐、曲部） ・不要 3) 埋設表示テープ（2倍折込み） ※要 ・不要					
⑭ 耐震施工	設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計 ・施工指針2014年版」により行う。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平地震力 K_h 及び設計用鉛直地震力 K_v ($K_v=1/2$) を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。					
⑮ 17-1	設計用水平地震力					
	設置場所	耐震安全性の分類				
		重要機器	一般の施設			
		重要機器	重要機器			
	上層階	2.0	1.5	1.5	1.0	
	屋上及び塔屋	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)	
		<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0	
		1.5	1.0	1.0	0.6	
	中間階	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)	
		<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>	
		1.0	0.6	0.6	0.4	
	1階及び地下階	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)	
		<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>	
		(注) () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 < > 内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し） 重要機器は次のものを示す。				
		給水装置	排水装置	換気機器	空調機器	熱源機器
		防災設備	監視制御設備	危険物貯蔵装置		
		火を使用する設備	避難経路上に設置する機器			
	⑮-1	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。) あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。				

18 防露保温工事		
標準仕様書第2編によるほか下記による。		
空調機と設備工事の保温の種類		
区分	施工箇所	保温種別
ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ
	天井内、P S内及び空隙壁中 浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	c2・(ロ)・Ⅶ e3・(ハ)・Ⅶ
蒸気管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅱ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅱ
	天井内、P S内及び空隙壁中 床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	C2・(ロ)・Ⅱ D・(ロ)・Ⅱ
冷水・冷温水管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・Ⅲ
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅲ
	天井内、P S内及び空隙壁中 床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	C1・(イ)・Ⅲ D・(ハ)・Ⅲ
温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中 床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	C2・(ロ)・Ⅰ D・(ロ)・Ⅰ
排水及び通気管	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内、P S内及び空隙壁中 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・Ⅶ
給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ
給湯管	天井内、P S内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
	屋内露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	d・(ロ)・Ⅰ e3・(イ)・Ⅰ

ダクトの保温の種類		
区分	施工箇所	保温種別
長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(イ)・X I
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(イ)・X I
	屋内隠ぺい、D S内	I・(ロ)・X I
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・X I
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・X I
	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・X I
消音内貼り	サライチャンパー	M・(ロ)・IX
	消音チャンパー・消音エルボ	L・(ロ)・Ⅸ

給排水衛生設備工事の保温の種類		
区分	施工箇所	保温種別
給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ
	天井内、P S内及び空隙壁中 県営住宅P S内 床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む。）	c2・(ロ)・Ⅶ — —
排水及び通気管	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内、P S内及び空隙壁中 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・Ⅶ
給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	c2・(ロ)・Ⅰ d・(ロ)・Ⅰ e3・(イ)・Ⅰ

(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかきり部には塗装を施す。 2. 排水管の管種が耐火二層管、耐火V Pの場合は、保温を要しない。 3. 施工種別bの材料及び施工順序3、4に替えて、アルミガラス化粧原紙を使用する。 4. 機器類の保温材の種類は、(※グラスウール ・ロックウール)とする。 5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・Ⅶとする。 6. 便所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。 7. 空調設備を要する便所（特別支援学校等）以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によらず保温を要しない。 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放放量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。		
--	--	--

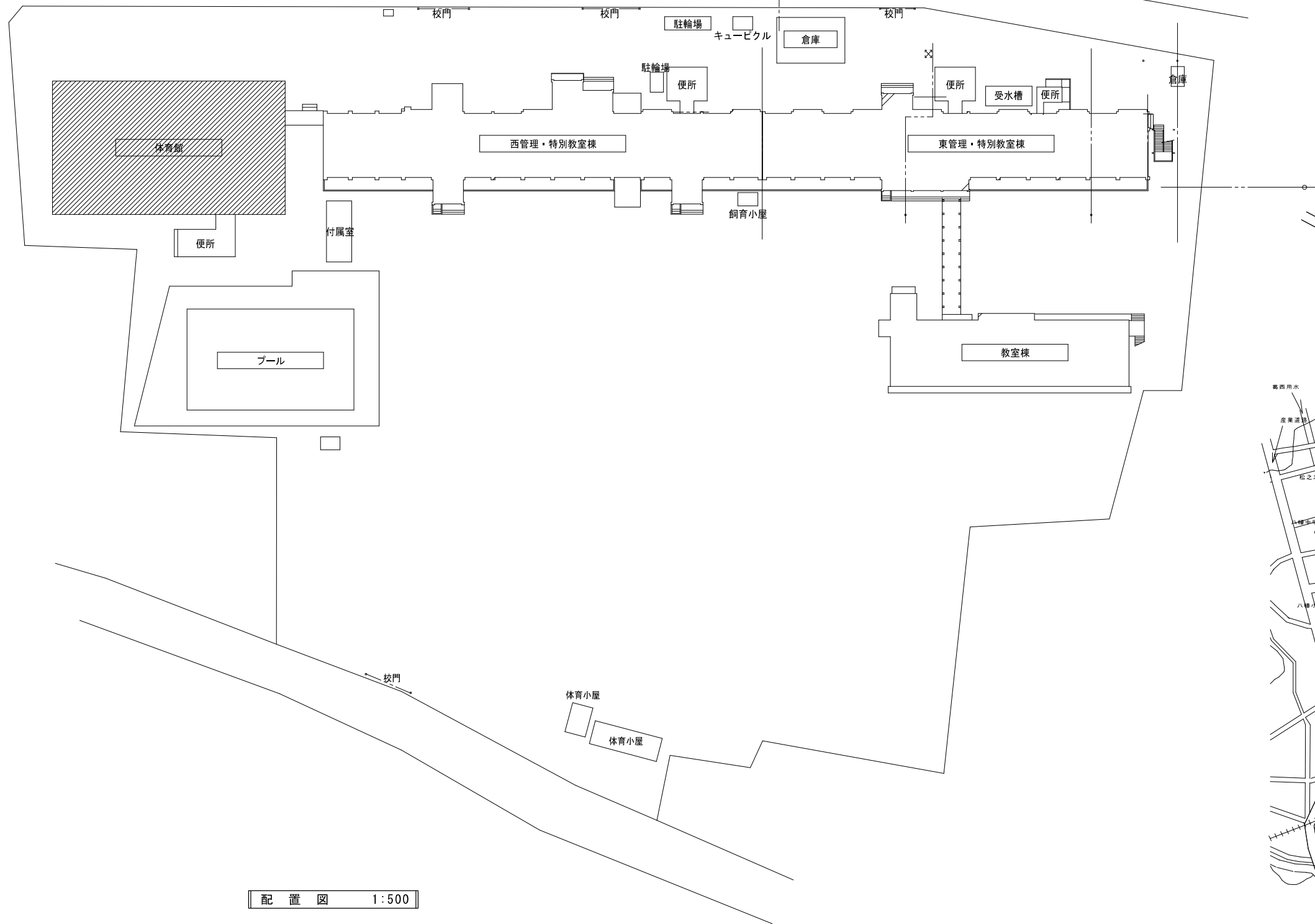
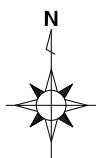
19 防凍保温		
・屋外露出給水管（呼び径20以下のみ）は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。 ※図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は下記仕様により防凍保温を行う。 ※保温仕様は保温厚を呼び径32以下は50mm、呼び径40以上は40mmとする。 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。		
20 塗装		
下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ※機械室、書庫、倉庫 下記の金属電線管は塗装を行う。 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出（※見えかきり部）		
⑳ 電線		
特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 ただし、自動制御設備に関わる電線は標準仕様書の自動制御設備の項による。		
㉑ 22 はつり及びあと施工アンカー打設		
既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。		

23 管の埋設深さ		(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 (2) 構内車両道路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。 (3) その他の場所では、地表面（舗装する部分では路盤材下面）から管の上端まで300mmとする。
24 既設管分岐・接続		既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。
25 絶縁継手の設置・種別		※コンクリートの建築物に入りやすい箇所の付近の露出部配管 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以外は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ
26 天井仕上げ区分		() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
27 他工事との取合区分		スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。
㉒ 28 施工図等の取扱い		施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。
㉓ 29 保険		受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている積立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。
30 配管識別		配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。
㉔ 31 遮断制止用器具（フルハーネス型）		※使用を要する 遮断制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け発第0622第2号）による ・使用を要しない
32 誘導電動機		三相誘導電動機はJIS C 4213（IE3）トッランナーモーターとする。
33 完成図書の子納品		完成図書の電子納品運用ガイドライン ※適用する ・適用しない 完成図書の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A1二つ折り1部及びA3二つ折り3部とする。
㉕ 34 その他		工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

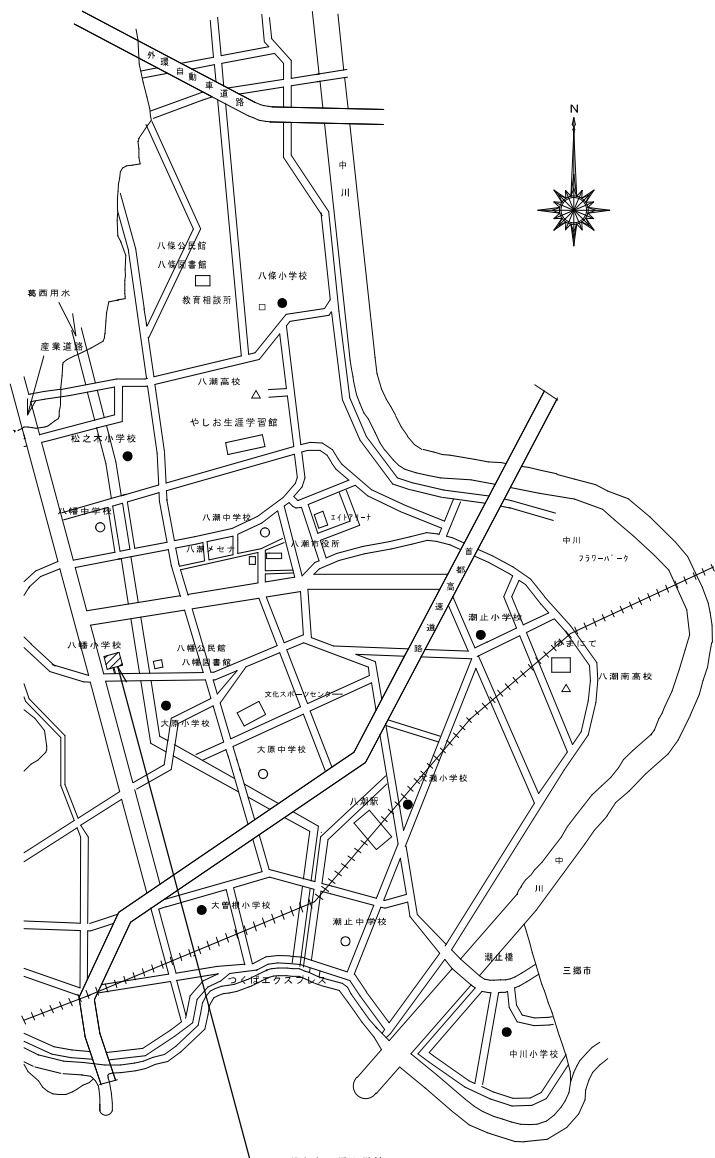
① 共通事項		改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。
② 改修部分の足場		本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場 ※ 脚立足場 ・枠組足場 (2) 外部足場 ※ A種(枠組足場) ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の(2)の手すり設置方式又は(3)の手すり専用足場方式により行うものとする。
③ 既存部分養生・既存家具等養生		(1) 関係受注者者と共用部分 ※別契約の関係受注者者が定着したものは無償で使用できる。 ○本工事で負担とする。(種別は(2)による。) (2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※ビニールシート ・合板 ・
4 備品等の移動		・別途工事 ・本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事
5 仮設間仕切り		(1) 関係係負業者と共用部分 ※別契約の関係係負業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による。) (2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ※A種 単管下地全面シート張り
6 撤去後機材の扱い		(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。 (2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。
7 支持金物の再使用		(1) インサート金物 ・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品 (2) 形鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品
㉖ 8 あと施工アンカーの種別		金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
9 フロン回収		冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊プラント搬入 ・フロン再生後引き渡し ・未再生引き渡し 「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき処理すること。
⑩ 総合調整		・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整
11 既設基礎等の解体はつり		建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。 現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。
12 アスベスト事前調査結果の報告		全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石棉障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。
㉗ 13 その他		(1) 図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。 (2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように精密に打合せを行うこと。

編 号	設計年月日	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号
		A2:S=N.S	小学校体育館空調設備設置工事（八幡小学校）	機械設備工事特記仕様書（1）	M-O1

<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>⑬ 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針に掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 耐火二層炭素鋼管又は耐火VFP ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。復旧方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下</p> <p>5 ダンパー (2) ビストンダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU） （防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VFP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用隠蔽部ダクト 仕様はN・（ロ）・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）</p>	<p>12 振音装置</p> <p>13 そ の 他</p> <p>1 配管材料</p> <p>○給水設備</p> <p>○排水設備</p>	<p>2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・ 満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用 別紙附表による。</p> <p>1 配管材料 ・ 露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管（M鋼管） ・ 一般配管用ステンレス鋼管 ・ ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）</p> <p>2 絶縁フランジ 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁 類 (1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・ PS扉内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示を要する。</p> <p>1 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP（白） ・ STPG370（白）Sch40 地中埋設※SGP-VS ・ H1VP 消火用 一般配管※SGP（白） ・ STPG370（白）Sch40 地中埋設※SGP-VS ・ H1VP 不活性ガス消火用 ※STPG370（白）Sch40 ・ STPG370（白）Sch80</p> <p>2 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施工4（・（a） ・ （b） ・ （c））</p> <p>1 配管材料 ・ 都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・ 液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・ SGP（白） 地中埋設 ※PE管</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p> <p>1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p> <p>舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書</p> <p>第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に關し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・ 種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） ・ m3 ・ 中間処理施設 市 地内、（株） ・ 処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず） ・ 中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）</p> <p>第3条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。</p> <p>第5条 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。</p> <p>第6条 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。</p> <p>第7条 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。</p> <p>第8条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許認可の写しを添付すること。</p> <p>第9条 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。</p> <p>第10条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。</p> <p>第11条 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第12条 この特記仕様書に記載等が生じた場合には、別途監督員と協議するものとする。</p>	<p>○換気設備</p> <p>●空気調和設備</p> <p>3 煙 道 (1) 鉄板厚 (※3.2mm ・ 4.5mm) (2) はい煙濃度計 ※設ける ・ 設けない (3) はいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・ 設けない</p> <p>4 煙 突 ※別途 ・ 本工事</p> <p>5 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>6 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 換気用耐火二層管（大径認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス ※亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製</p> <p>10 ダンパー (1) 防塵ダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復旧方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>⑭ 配管材料 (1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・ (3) フライング管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・ 10以上 液管 ・ 20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.5mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5) ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼管（白） ○硬質塩化ビニル管VFP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（ADN/AC/10/14 相当品） ・ 耐火二層管VFP（FDPS-1） ・ 配管用炭素鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管VFP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・ 運 管 ※圧力配管用炭素鋼管（黒） Sch40 ・ ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりポリマー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・</p> <p>12 弁 類 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>13 温 度 計 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・</p> <p>14 圧 力 計 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（往）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・</p> <p>15 瞬間流量計 瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・ 熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・ 空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。</p> <p>16 油面制御装置 ※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御室には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>17 冷却塔 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p> <p>⑮ 中央監視制御装置 ・ 有り ※無し</p> <p>⑯ 構成・機能 図示による</p> <p>⑰ 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金風管配線とする。 天井内隠蔽電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>1 小便器用節水装置 JIS B 2026（自動水栓）による電気開閉式とし、小便器（※一体形・分離形）とする。</p> <p>2 パリアフリー対応 ・ 小便器 ※全部ストール形 ・ 一部ストール形 手すり（・本工事 ※別途工事） ・ 洗面器 ※自動水栓（・全部 ※一部） ・ レバー式水栓（一部） ・ シャワー ※サーモスタット式 ・ ミキシング式 ※スライドバー ・ フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ※600×800（耐食鏡） ・ 傾斜鏡（・照明無 ・ 照明付）</p> <p>3 衛生器具付風水栓 (1) 器具付風水栓は ※ドライバー式 ・ ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>4 自動水栓類の電源 ※AC100V ・ 乾電池等 ・ 自己発電</p> <p>5 暖房便座 (1) JIS A 4422（温水洗浄便座）とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用温水とする。 (5) リモコン ・ AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電</p> <p>6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型 ・ 節水Ⅱ型とする。 ・ 洗浄弁操作方式は、※手動式 ・ 電気開閉式（※センサー式 ・ タッチスイッチ式） ・ 上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動性を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>7 大便器耐火カバー ※設ける（ビツ内は除く） ・ 設けない</p> <p>8 掃除流し ※共栓なしとする。 ・ 共栓付とする。</p> <p>9 排水器具用J'継手 ※使用できる ・ 使用できない</p> <p>10 標 記 板 大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>11 水せつけん入れ せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗い器に設ける。</p> <p>2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水 栓 ※給湯用水栓を除き大きさは呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・ 水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐凍水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量 水 器 ※観メーター（※買品 ・ ） ・ 子メーター（※買取り ・ ）</p> <p>5 量水器機 ※水道事業者指定品 ・ 標準図M/C形</p> <p>6 弁 類 規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱 ・ 防寒コンクリート水栓柱（1200L） ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施工4（・（a） ・ （b） ・ （c））</p> <p>9 検計方法 水道事業者の集住宅に関する戸別検計規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金 水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。</p> <p>11 本管取出し 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p> <p>1 配管材料 配管材料は ※下記 ・ 図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。 施 工 箇 所 管 種 別 給 排 水 配 管 床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む） ※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ※SGP（白） ・ ※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白） その他の部分 ※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 汚 水 配 管 床下、暗渠内（ビツ内、共同溝を含む） ※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ 排水用/ハルホ球 形塗装鋼管 その他の部分 ※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 地 中 埋 設 部 ※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU ・ 鋼形管（ゴム輪接触） ・ REP-VU（軽重量の場合） ・ RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP 通 気 配 管 耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白） その他の部分 ※リサイクルVFP又はRF-VFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (注) 1. リサイクルVFP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VFP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は給排水配管の材料種別による。 3. 原則として給排水配管、汚水配管の管接合部はY4.5度で行う。</p>
<p>構 要</p> <p>設計年月日</p>	<p>縮 尺</p> <p>工 事 名 称</p> <p>A2:S=N.S</p> <p>小学校体育館空調設備設置工事（八幡小学校）</p>	<p>図 名</p> <p>図面番号</p> <p>機械設備工事特記仕様書（2）</p> <p>M-02</p>	<p>2022.4</p>		



配置図 1:500



案内図 N.S

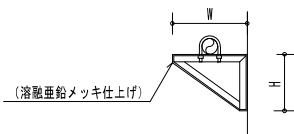
◆凡例
 // 工事対象建物を示す

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/500	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	配置図・案内図	M-03

冷媒用保温付被覆銅管

	ガス	液	信号線
①	28.58 φ	15.88 φ	CEES1.25-2C
②	25.4 φ	12.7 φ	CEES1.25-2C
③	22.2 φ	9.52 φ	CEES1.25-2C
④	15.88 φ	9.52 φ	CEES1.25-2C

- ◆特記事項
 記載無きドレン管サイズは25Aとする
 記載無き冷媒管は屋外露出配管とする
- ◆凡例
 ① 壁37抜きを示す

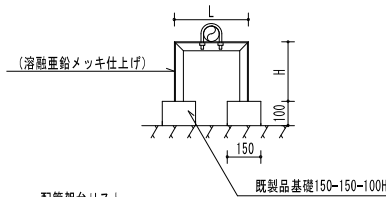


配管支持金物リスト

記号	W	H	個数	仕様
①	700	300	63	L40-40-3 t
②	900	300		L40-40-5 t
③	1100	300		L40-40-6 t

※支持間隔は1.5mとする。

配管支持金物 N.S

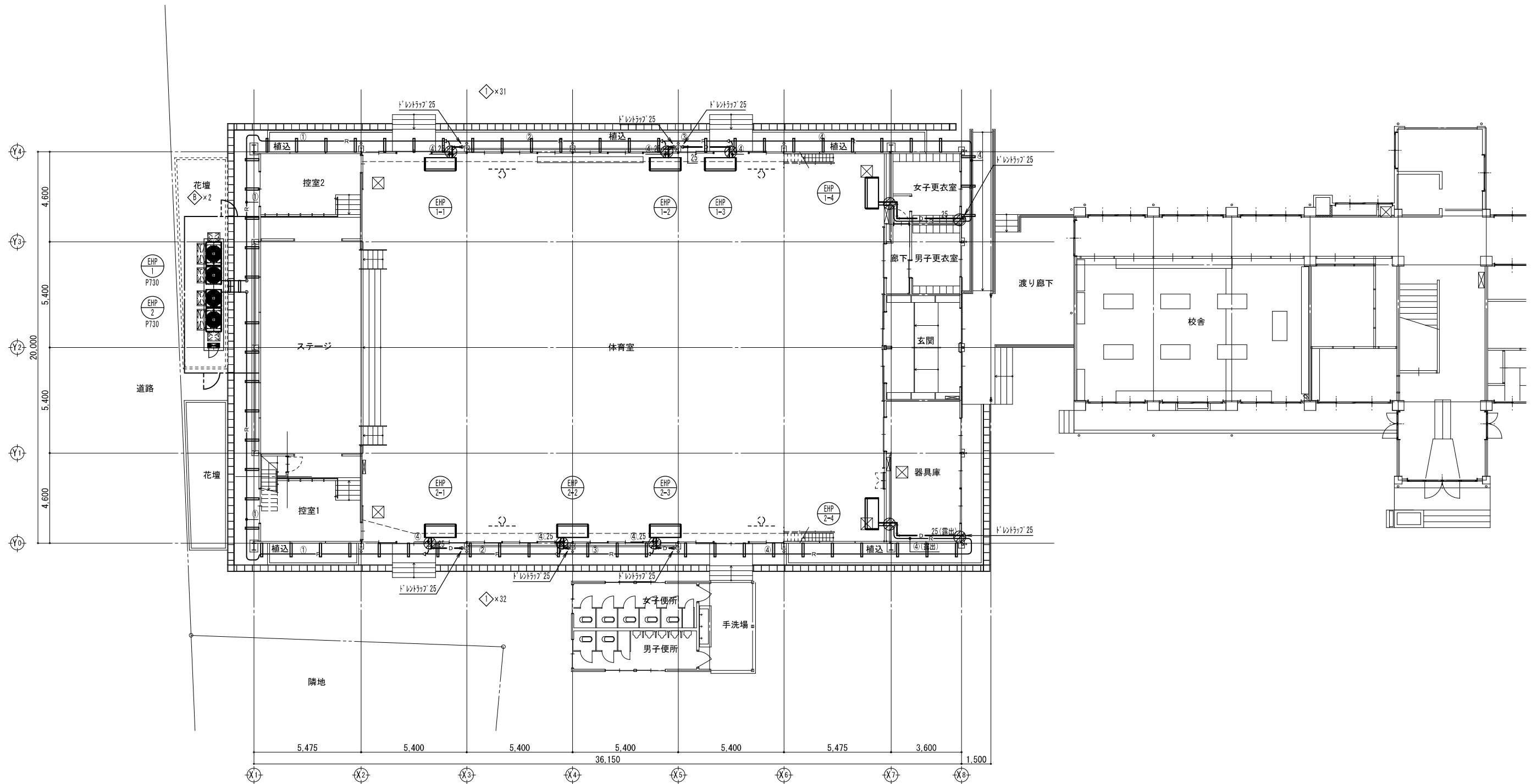


配管架台リスト

記号	L	H	個数	仕様
①	300	300		L-40-40-3.2 t
②	600	300	2	L-40-40-3.2 t
③	800	300		L-40-40-3.2 t

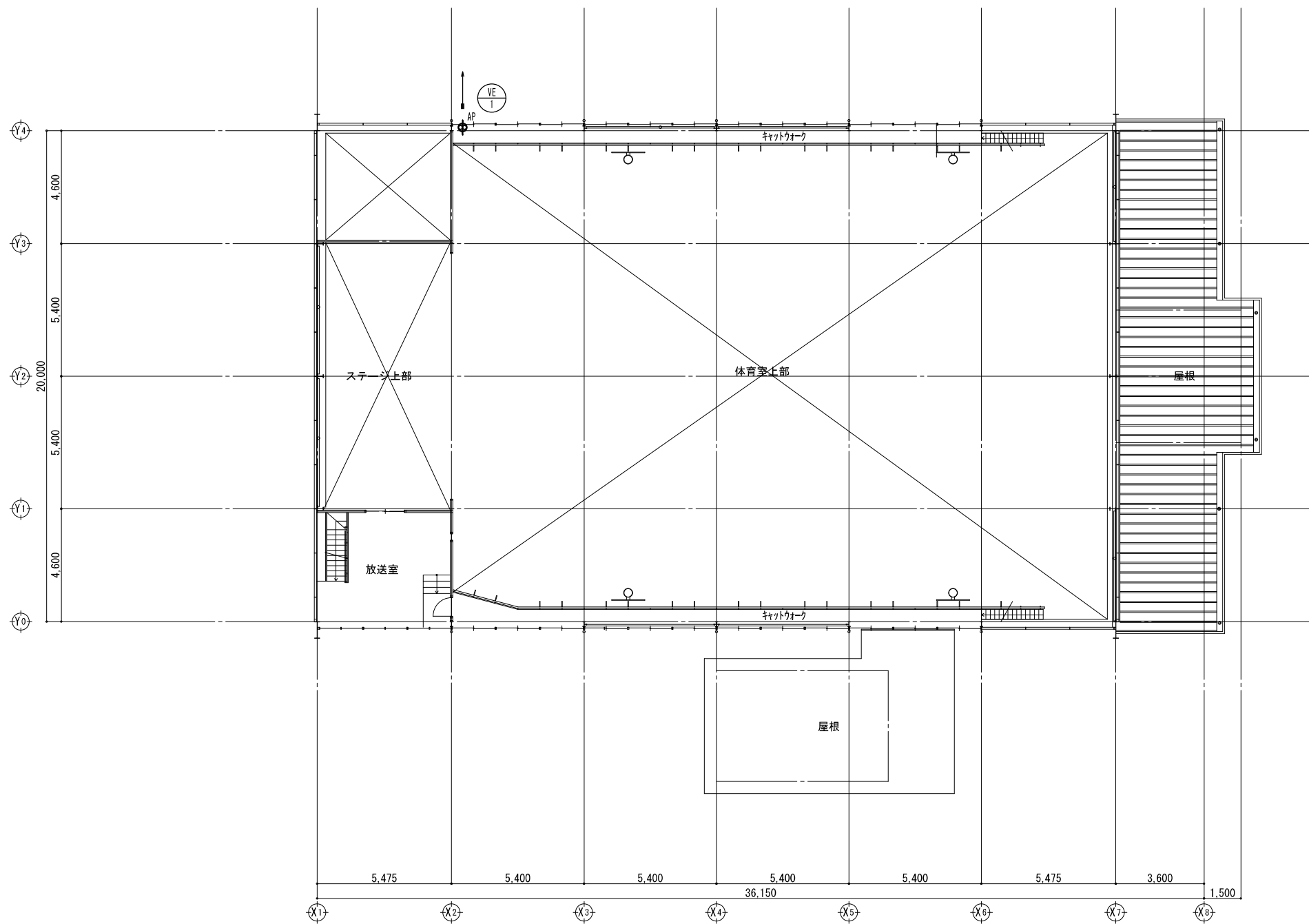
※支持間隔は1.5mとする。

配管用架台要領図 N.S



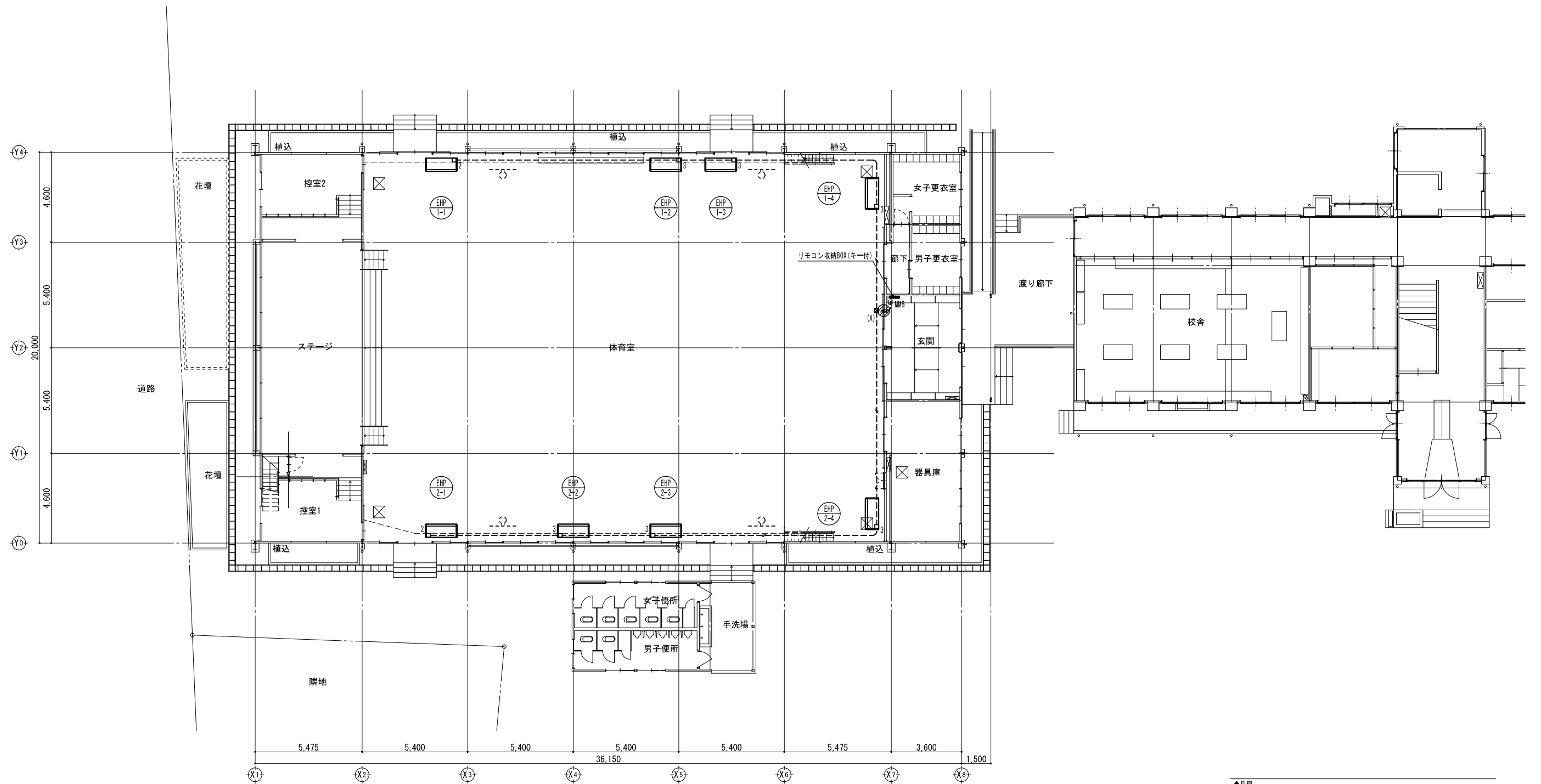
1 階平面図 S=1/150

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	空調設備 1階平面図	M-05



2 階 平 面 図 S=1/150

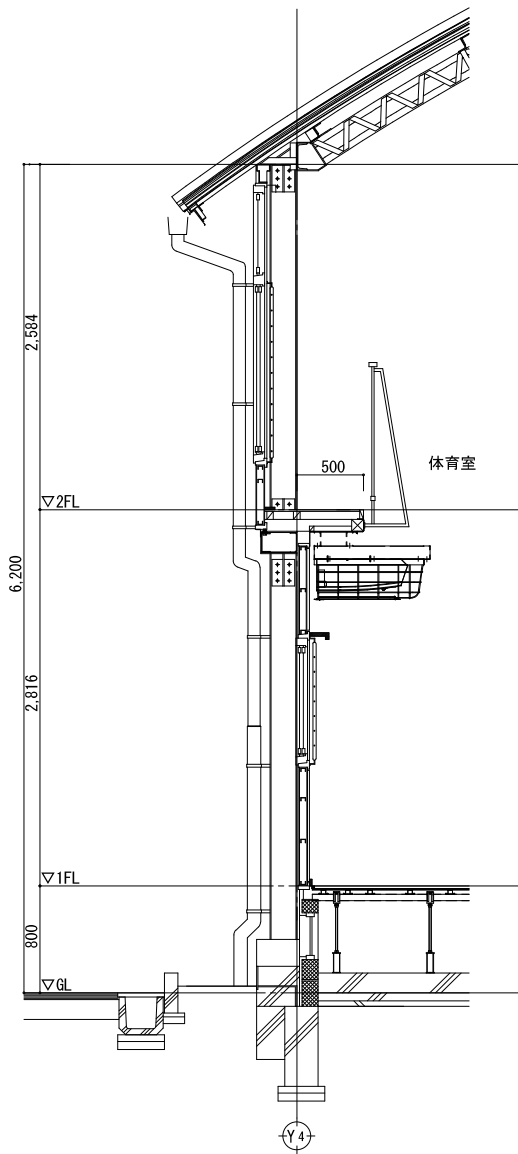
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	換気設備 2階平面図	M-06



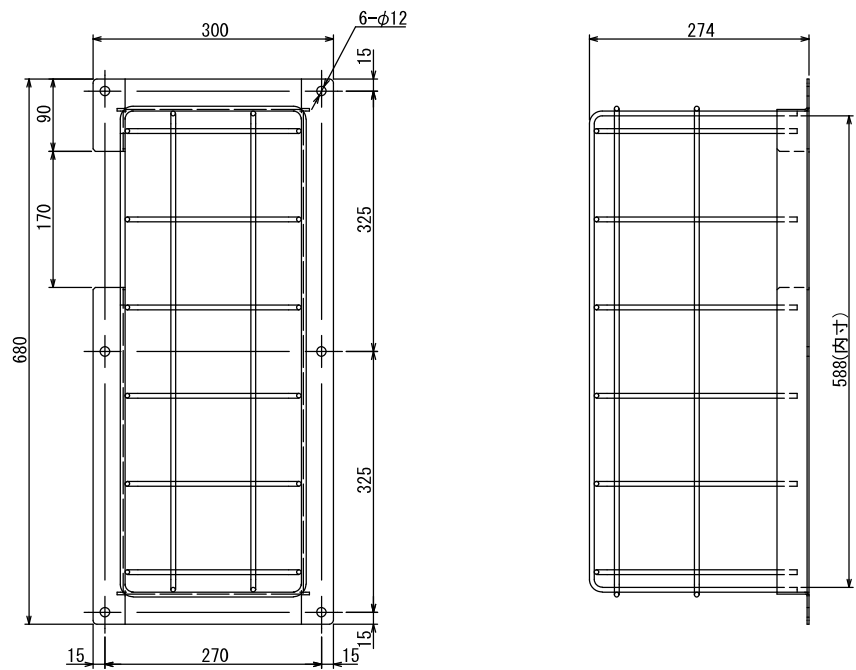
1 階平面図 S=1/150

- ◆凡例
- 壁27抜きを示す
 - EHP 1-1
 - EHP 1-2
 - EHP 1-3
 - EHP 1-4
 - EHP 2-1
 - EHP 2-2
 - EHP 2-3
 - EHP 2-4
 - リモコン収納BOX (キー付)
 - 2 丸型露出ボックス 2方出
 - 3 丸型露出ボックス 3方出
 - ⊠ (A) PB200×200×200 (塗装)

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事 (八幡小学校)	計装設備 1階平面図	M-07

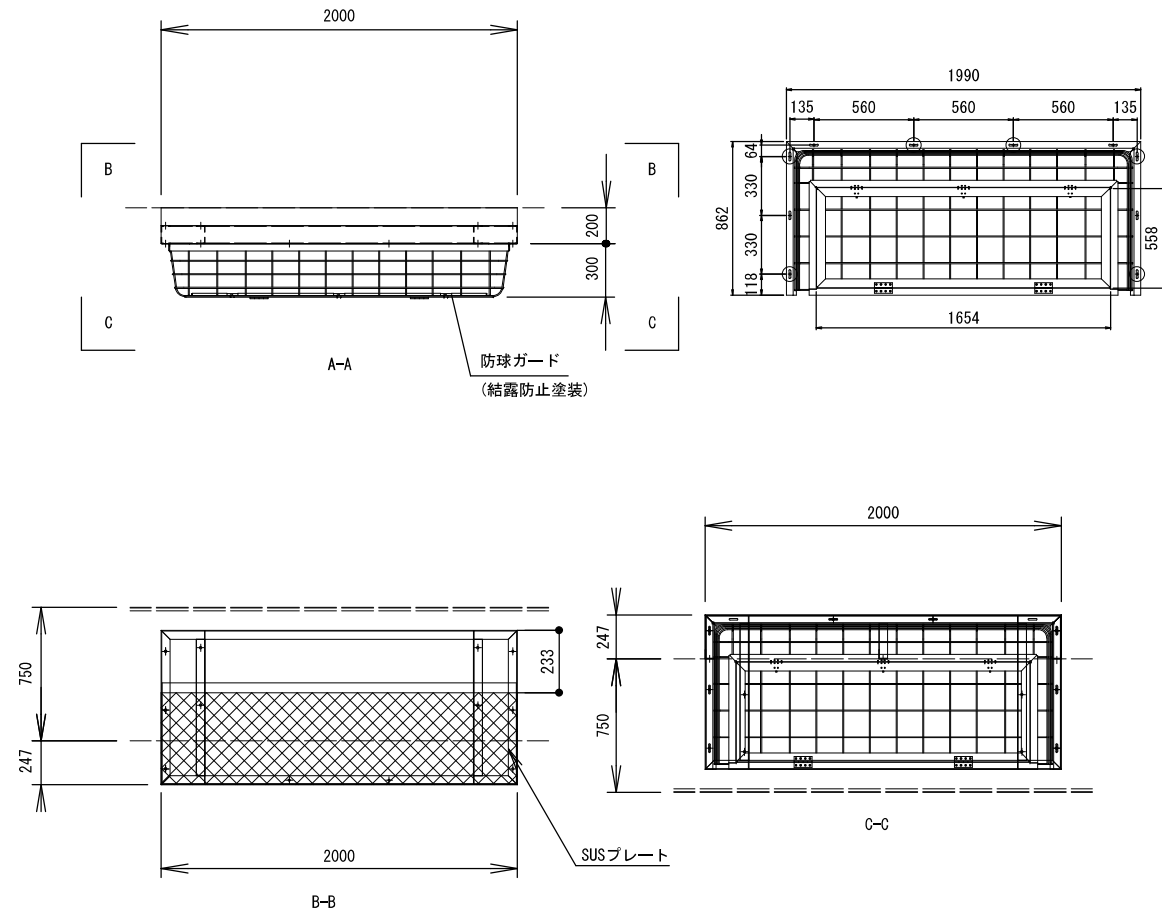


配管ガード参考図



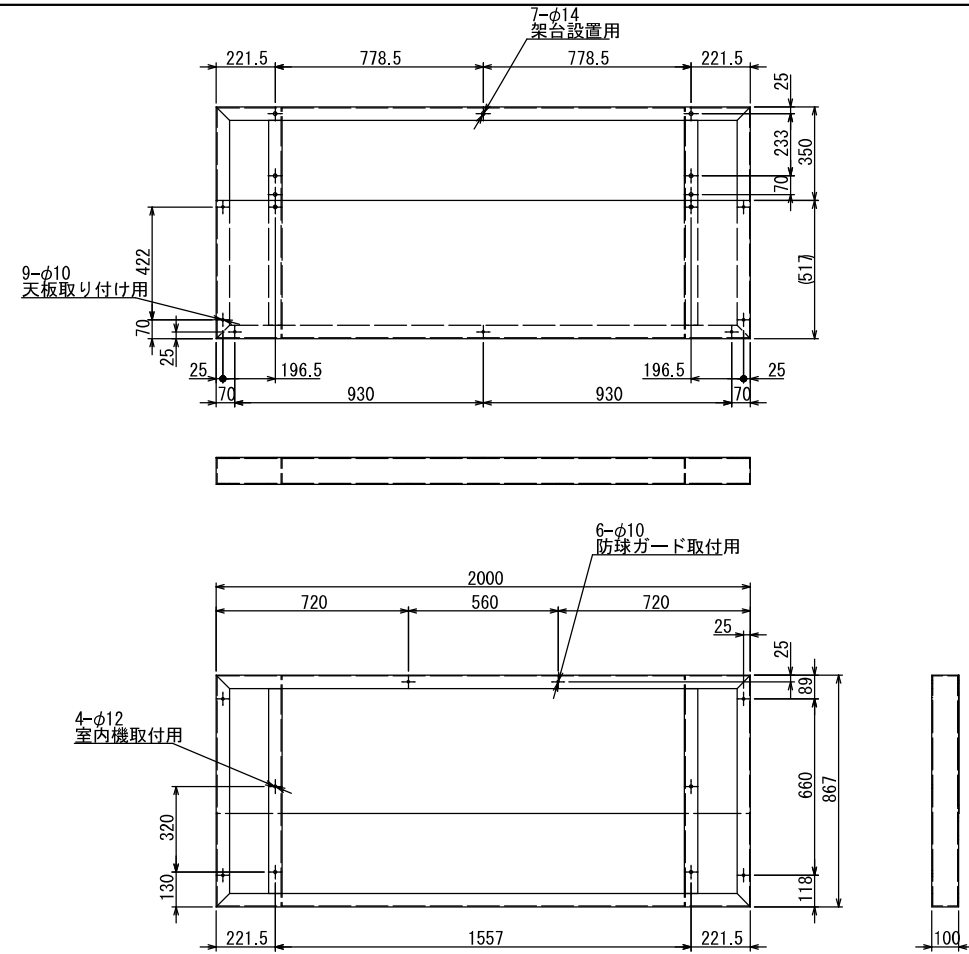
架台質量	4.2 kg
主材	2.3t、φ6
材質	SS400、SWM-B (鉄線)
表面処理	ポリエステル粉体塗装
ベース固定ボルト	M12×60L

防球ガード参考図



材質	SWM-B (鉄線)
	φ6
製品質量	約23.5(kg)
表面処理	ポリエステル粉体塗装
	(塗装色:マンセル 2.5Y9/1半ツヤ)

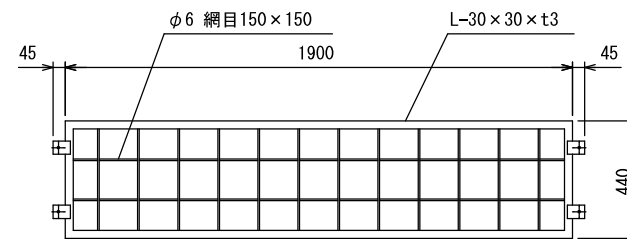
防球ガード架台参考図



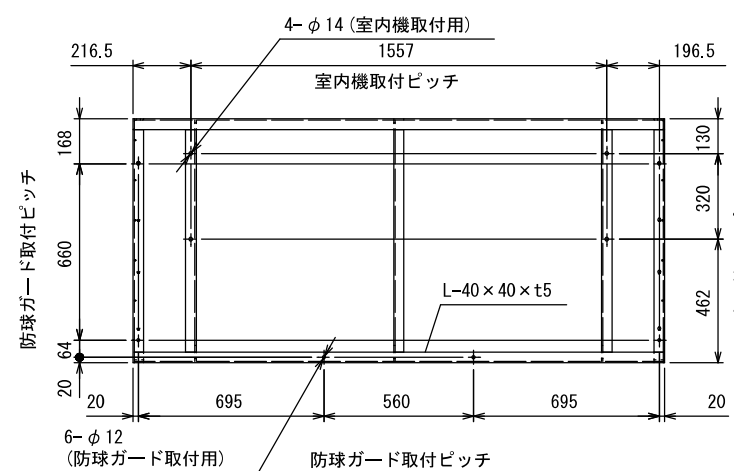
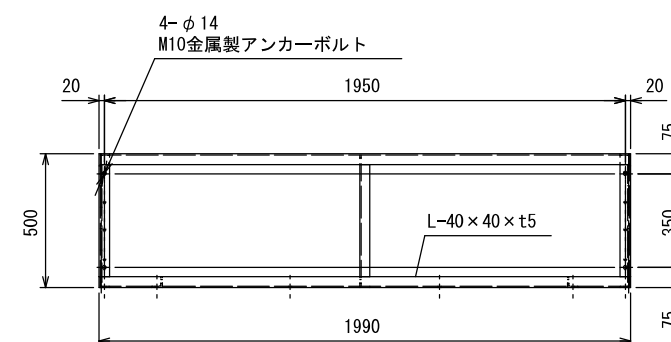
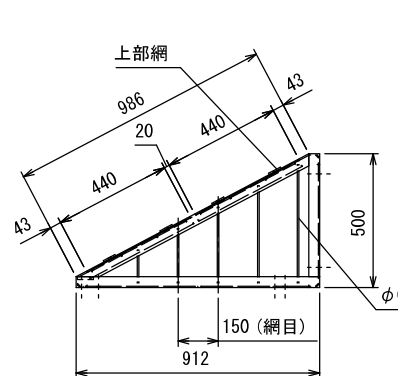
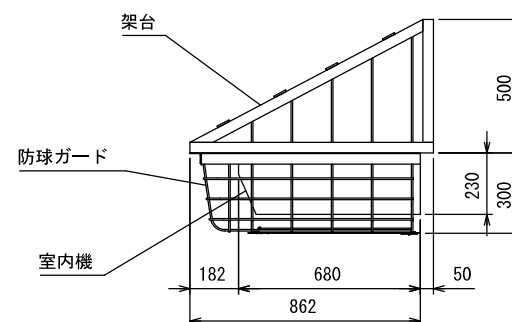
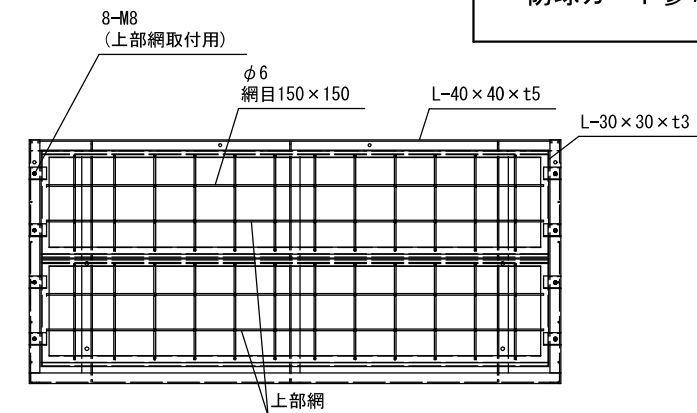
仕様	
材質	SS400相当
主部材	[-100×50×t 2.3
製品質量	①:約31(kg)
表面処理	ポリエステル粉体塗装
	(塗装色:マンセル 2.5Y9/1半ツヤ)
付属品	
室内機・架台取付けボルト	SUS304
M10×50L (2N,1W)	5組
防球ガード取付けボルト	SUS304
M8×40L (2N,2W)	7組
天板取付けボルト	
M8×25L (1W)	10組

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/40	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	防球ガード詳細図-1	M-08

防球ガード参考図



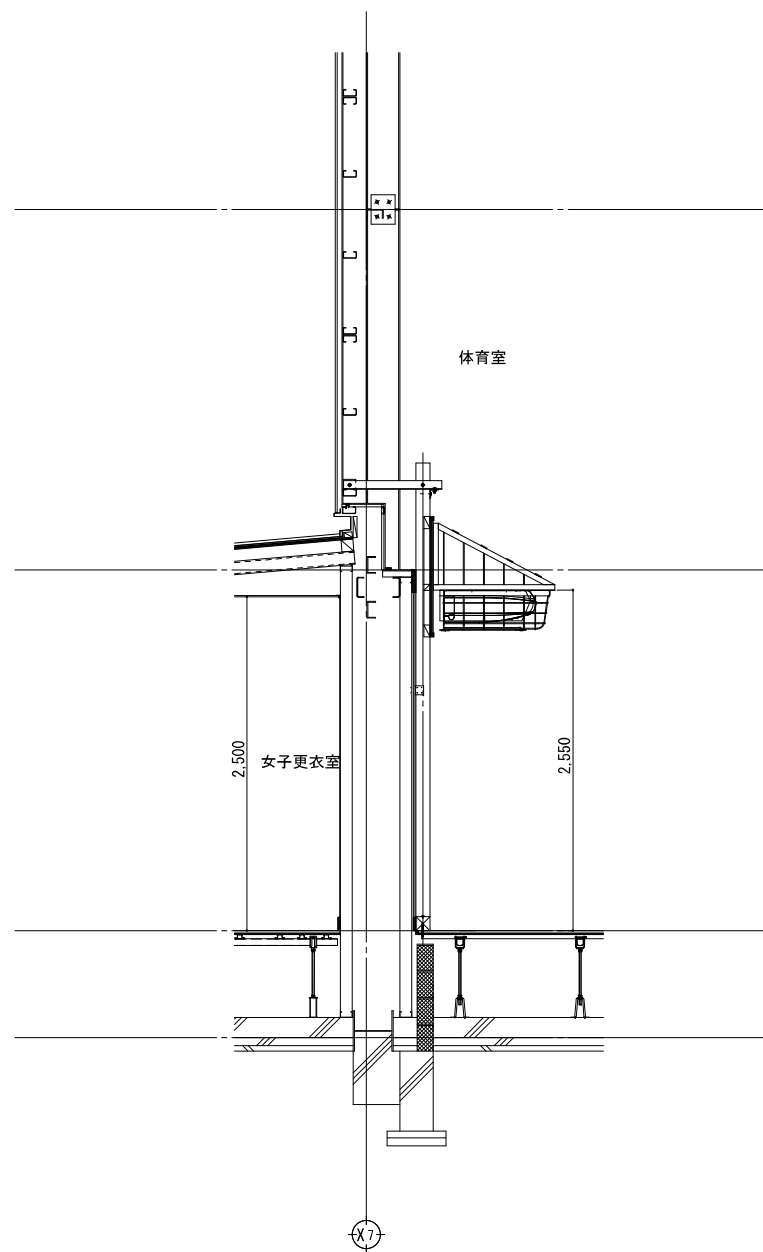
上部網詳細図



防球ガード用ブラケット架台参考図

仕様	
材質	SS400
主部材	L-40x40x5
製品質量	約60 (kg)
表面処理	ポリエステル粉体塗装 (塗装色:マンセル 2.5Y9/1半ツヤ)

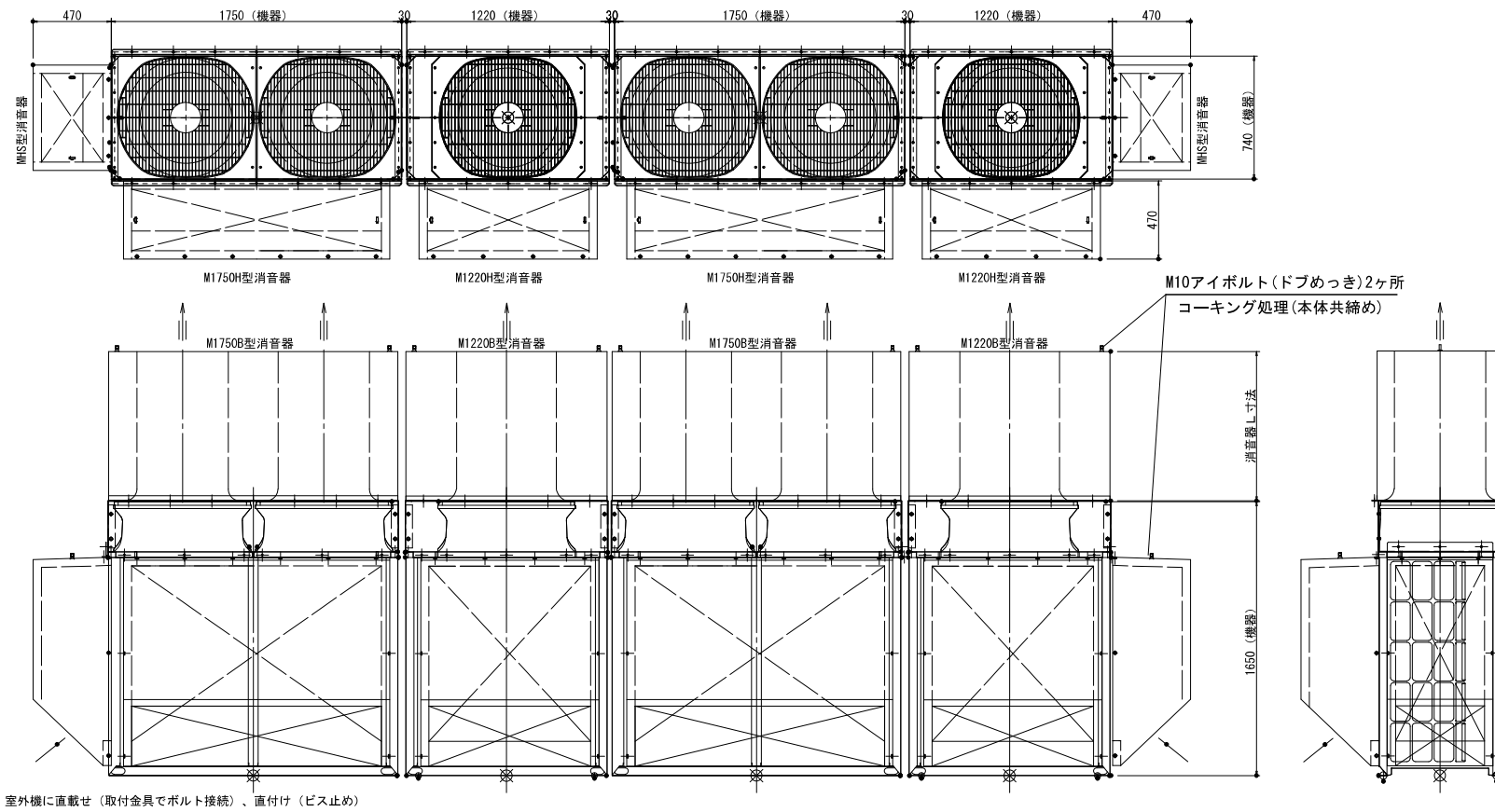
付属品	
室内機取付けボルト	SUS304
M10×50L (2N, 1W)	5組
防球ガード取付けボルト	SUS304
M8×40L (2N, 2W)	7組
上部網取付けボルト	SUS304
M8×40L (1N, 1W)	9組



摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/40	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	防球ガード詳細図-2	M-09

EHP
1

EHP
2



消音器重量(架台含む)

MB型	900L
M1220B	87kg
M1750B	132kg

MH型	
M1220H	50kg
M1750H	75kg
MHS	35kg

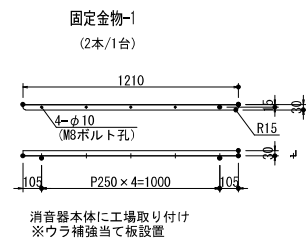
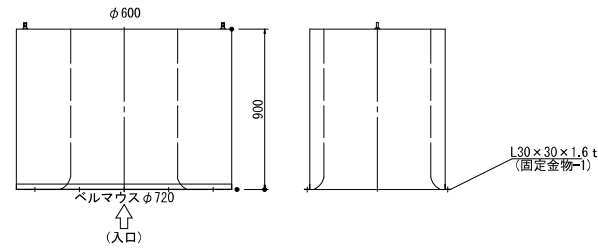
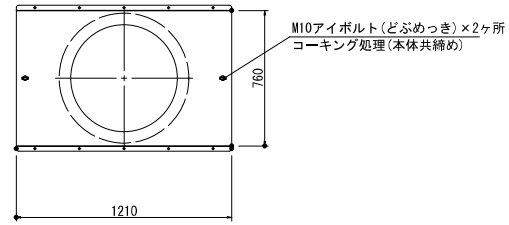
室外機に直載せ(取付金具でボルト接続)、直付け(ビス止め)

◆特記事項
空番は参考とする

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t	鋼材	-
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t	吊	図示
吸音材	撥水性グラスウール-50tx32k.50tx16k	付属品	ボルト・ナット・ワッシャー・ビス・取付金具

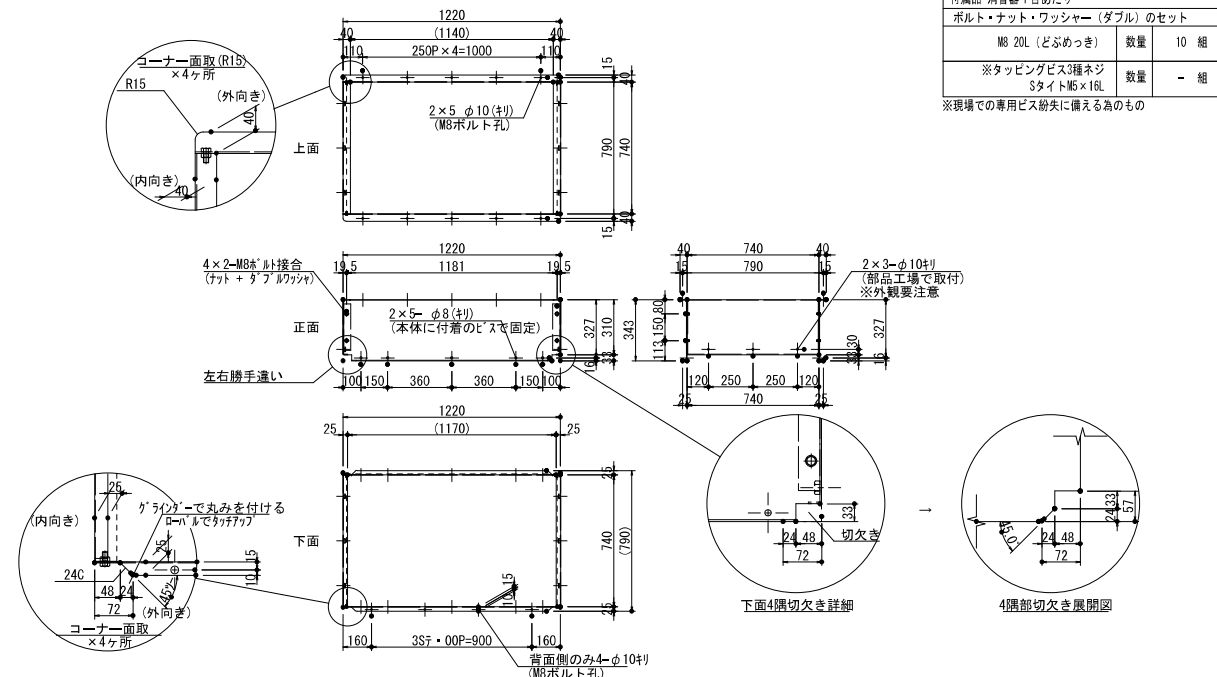
描 要	設計年月日	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号
		A2:S=1/30	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	屋外機用消音器参考図-1	M-10

吐出消音器



外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx32k.50tx16k

取付枠

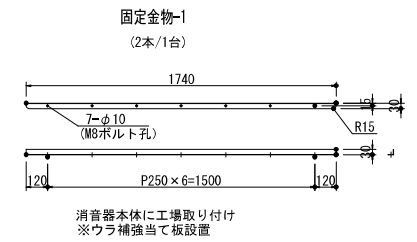
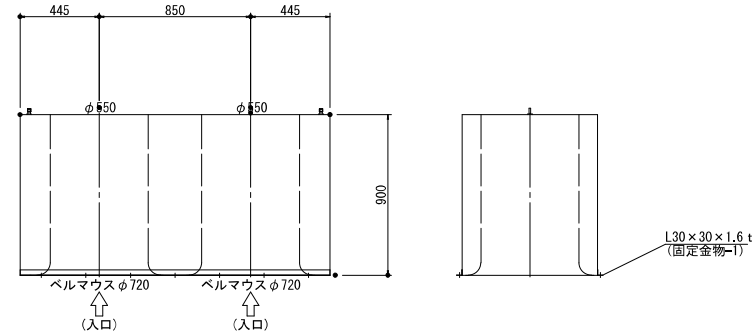
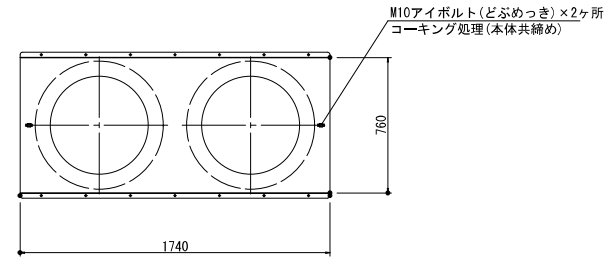


付属品-消音器1台あたり			
ボルト・ナット・ワッシャー (ダブル) のセット			
M8 20L (どぶめっき)	数量	10 組	
※タッピングビス3種ネジ Sサイズ16x16L	数量	- 組	

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx32k.50tx16k

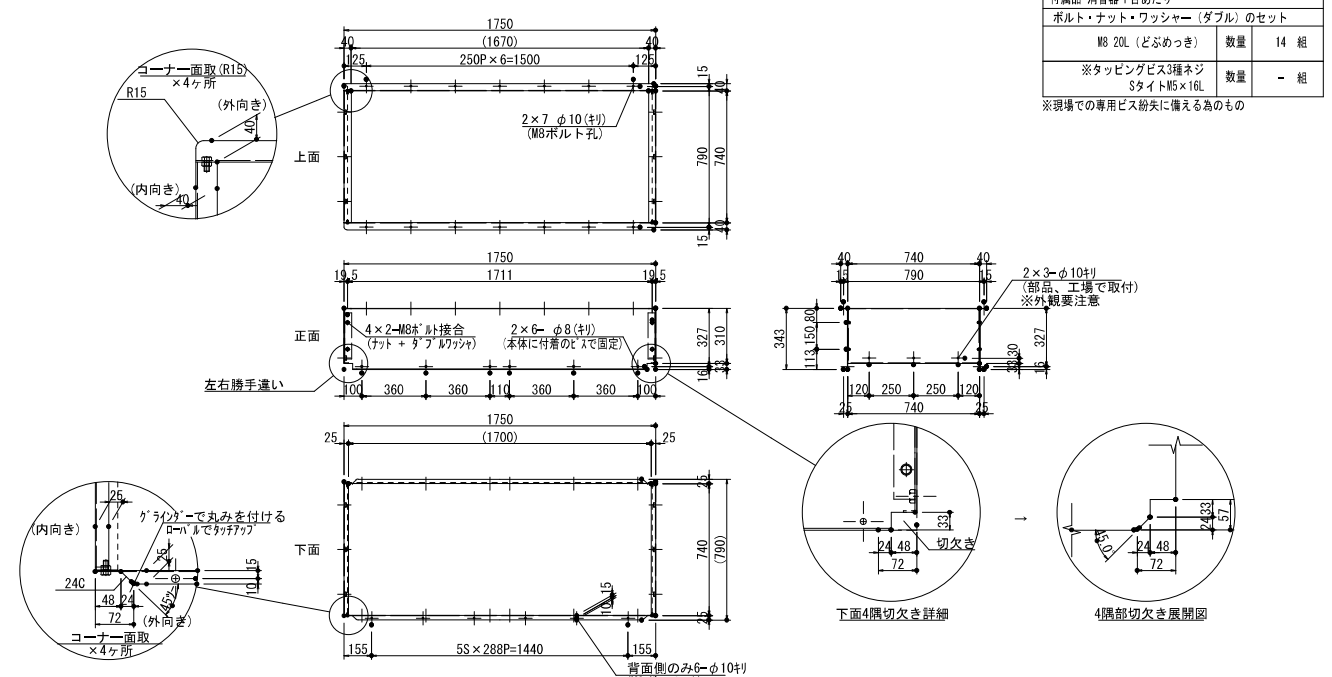
取付用架台：高耐食性めっき鋼板(曲げ材) [-343×40×25×1.6t] [-310×40×25×1.6t] 各2枚/台

吐出消音器



外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx32k.50tx16k

取付枠



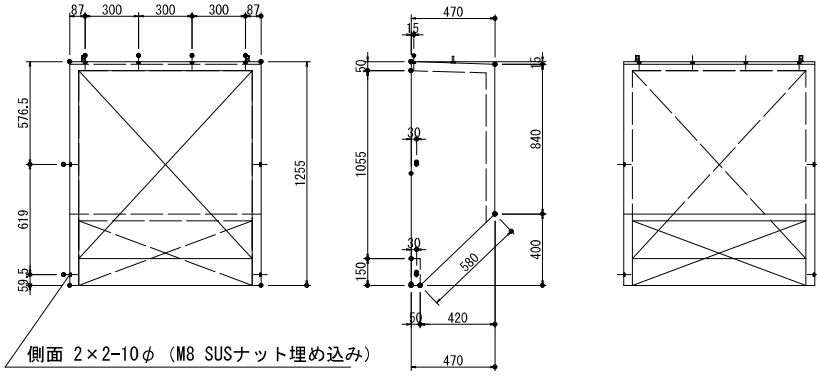
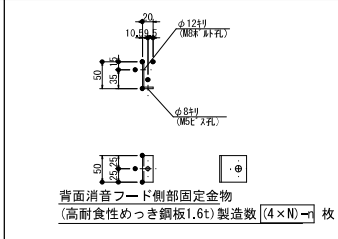
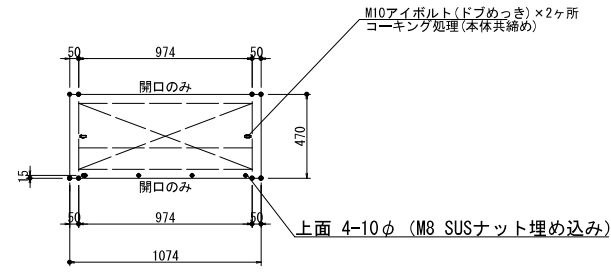
付属品-消音器1台あたり			
ボルト・ナット・ワッシャー (ダブル) のセット			
M8 20L (どぶめっき)	数量	14 組	
※タッピングビス3種ネジ Sサイズ16x16L	数量	- 組	

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx32k.50tx16k

取付用架台：高耐食性めっき鋼板(曲げ材) [-343×40×25×1.6t] [-310×40×25×1.6t] 各2枚/台

縮尺	A2:S=1/30
工事名称	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)
図名	屋外機用消音器参考図-2
図面番号	M-11

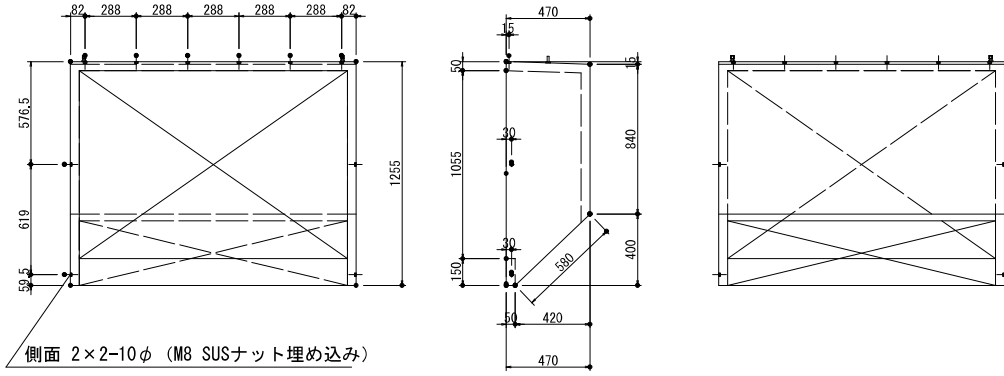
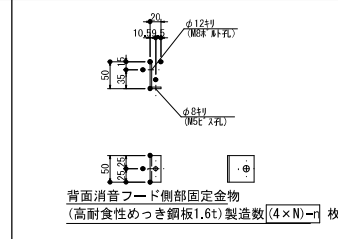
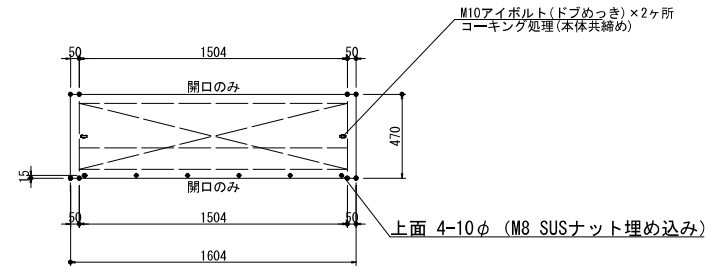
吸込消音器



付属品-消音器1台あたり			
ボルト・ナット・ワッシャー(ダブル)のセット			
M8 20L (SUS)	数量	8 組	
ドリルスクリュー HEX-5×16S (SUS410)	数量	4 本	

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx32k,50tx16k

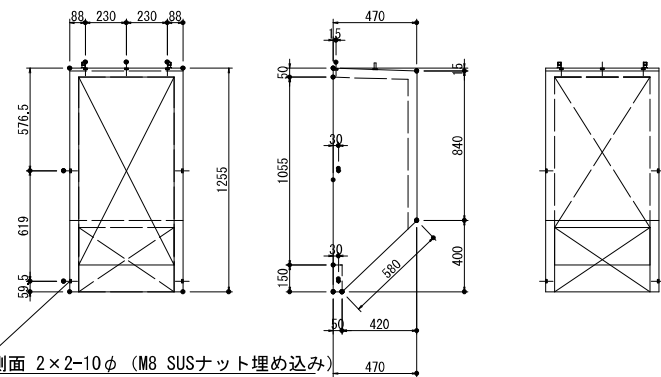
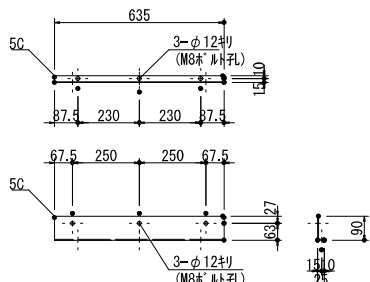
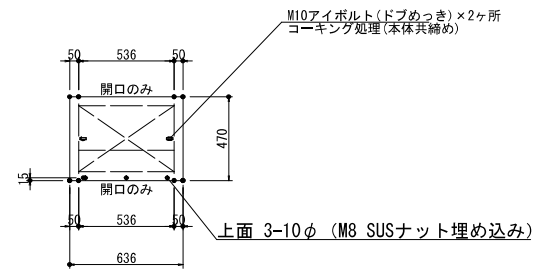
吸込消音器



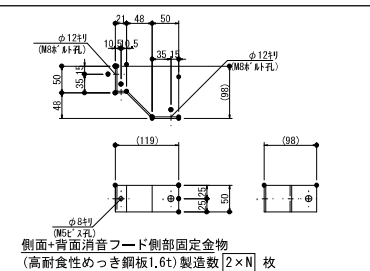
付属品-消音器1台あたり			
ボルト・ナット・ワッシャー(ダブル)のセット			
M8 20L (SUS)	数量	10 組	
ドリルスクリュー HEX-5×16S (SUS410)	数量	4 本	

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx32k,50tx16k

吸込消音器

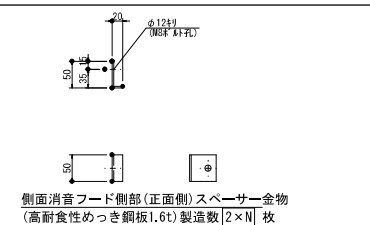


側面消音フード上部固定金物
(高耐食性めっき鋼板1.6t)製造数 $[N]$ 枚



付属品-消音器1台あたり			
ボルト・ナット・ワッシャー(ダブル)のセット			
M8 20L (SUS)	数量	10 組	
ドリルスクリュー HEX-5×16S (SUS410)	数量	4 本	

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx32k,50tx16k



概要	設計年月日

縮尺	工事名称	図名	図面番号
A2:S=1/30	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	屋外用消音器参考図-3	M-12

5 建具 改修 工事	1 改修工法 [5.1.3]	<p>建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所</p> <p>・7に1に製造建具 - - - 適用箇所</p> <p>・樹脂製建具 - - - 適用箇所</p> <p>・鋼製建具 ・外部 - - - 適用箇所</p> <p>・鋼製軽量建具 - - - 適用箇所</p> <p>・ステンレス製建具 - - - 適用箇所</p> <p>・木製建具 - - - 適用箇所</p> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p>	10 ステンレス製建具 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]	<p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級(・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L</p> <p>形状及び仕上げ 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※☆☆☆☆</p> <p>・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放数量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板 [G]</td> <td>表面の樹種 ・板面の品質(※広葉樹1等 ・接着の程度(・1類・2類))</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 [G]</td> <td>樹種名() ・接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 [G]</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF [G]</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面板の厚さ ※[表5.7.6]による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する</p> <p>・かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法 ※36mm ・建具表による</p> <p>・ふすま 張りの種類(・I型・II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>・戸ぶすま 表面板の仕上 ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>枠及びくつずりの材料 ・建具表による</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 [G]	表面の樹種 ・板面の品質(※広葉樹1等 ・接着の程度(・1類・2類))		・天然木化粧合板 [G]	樹種名() ・接着の程度(・1類・2類)		・特殊加工化粧合板 [G]	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・接着の程度(・1類・2類)		・MDF [G]			11 木製建具 [5.7.2~4]	<p>性能値等 [5.2.2~5][表5.2.1、2]</p> <p>耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>気密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>水密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>70</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> <td>※図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L</p> <p>形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式</p> <p>工法 水切り板、ぜん板等 ※図示</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	A-3	W-4	70	※図示による	・B種	S-5	A-4	W-5	100	※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5	100	※図示による	12 建具用金物 [5.8.1~3]	<p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※[表5.8.1]及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.2]による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.3]による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.4]による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※[表5.8.5]による ・建具表による</p> <p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置 ・建具表による ・図示</p> <p>錠前類 シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠 クローザ類</p> <p>マスターキー ・製作する(・新規 ・既存マスター合わせ) ・製作しない [5.8.4] その他の鍵 ※各室3本1組(署名礼付き) ・無 ・有 錠箱</p>	13 鍵 [5.8.4]	14 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	<p>戸の開閉方式 ・建具表による</p> <p>性能値等 ・引き戸用駆動装置 ※改修標準仕様書表5.9.1による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・種類・開閉方式() ・耐電圧() ・温度上昇() ・耐久性(サイクル)() ・防錆() ・電源()</p> <p>・車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置 性能値等 ※改修標準仕様書表5.9.2による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・耐電圧() ・温度上昇() ・耐久性(サイクル)() ・防錆() ・電源()</p> <p>・引き戸用検出装置 性能値等 ※改修標準仕様書表5.9.3による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・耐電圧() ・防錆() ・防滴() ・電源()</p> <p>引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便所スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行方 ・行わない</p>	15 自閉式上り引戸装置 [5.10.3]	16 重量シャッター [5.11.2、3]	<p>シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度() Pa 開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・建具表による)</p>	17 軽量シャッター [5.12.2~4]	<p>管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板の材質 種類 ・JIS G 3302 (溶酸溶融めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (溶酸溶融めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いる スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>開閉形式の種類 ・電動式(手動併用) ※手動式 [5.12.2~4] 耐風圧強度() Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) スラットの材質の種類 ・JIS G 3312 (溶酸溶融めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G 3322 (溶酸溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※AZ90 スラットの形状 ・インターロック形 ・オーバerrラッピング形</p>	18 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]	<p>セクション材料 風圧力による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質</p> <p>※スチールタイプ ・125 ・スタリクス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ファイバークラスチックタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・50 ・バーチカル形</p> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 ・フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・型板ガラス 型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落下衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 破損の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種 ・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</p> <p>①アルミパネル交換 ②ガラス、アルミパネルの留め材及び溝の大きさ</p> <p>アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル ※図示による ③既存による</p> <p>鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・図示による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・図示による 樹脂製 ・グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による ・図示による</p>	19 ガラス [3.7][5.14.2~4]	<p>呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅(mm) 伸縮調整目地位置(mm) 防火性能</p> <p>・160×160 ・95 ・95 ・200×200 ・95</p> <p>壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 方骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はご形状補強及び単筋 化粧目地モルタルの色 ・白 ・グレー シーリングの種類 ・SR-1 ・PS-1 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 目地部の横方骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 ※施工箇所は建具表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">記号</th> <th rowspan="2">その他性能等</th> </tr> <tr> <th>内貼り用</th> <th>外貼り用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・日射調整フィルム [G]</td> <td>※SQ-1</td> <td>※SQ-2</td> <td>可視光透過率: 65%以上</td> </tr> <tr> <td>・低放射フィルム</td> <td>※LE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・衝撃破壊対応ガラス</td> <td>※GI-1</td> <td>※GI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・飛散防止フィルム</td> <td>※GD-1</td> <td>※GD-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・層間変位破壊対応ガラス</td> <td>※GD-1</td> <td>※GD-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・飛散防止フィルム</td> <td>※SF</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス貫通防止フィルム</td> <td>※SF</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>品質 JIS A 5759 による 熱割れ計算書 ※要 ・不要 第3者機関による性能測定データ ※要 ・不要</p>	種類	記号		その他性能等	内貼り用	外貼り用	・日射調整フィルム [G]	※SQ-1	※SQ-2	可視光透過率: 65%以上	・低放射フィルム	※LE			・衝撃破壊対応ガラス	※GI-1	※GI-2		・飛散防止フィルム	※GD-1	※GD-2		・層間変位破壊対応ガラス	※GD-1	※GD-2		・飛散防止フィルム	※SF			・ガラス貫通防止フィルム	※SF			20 ガラスブロック [5.14.5]	21 ガラス用フィルム	6 内装改修工事	<p>①改修範囲 [6.1.3] 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示</p> <p>②既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ビニルシート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目黒工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内</p> <p>③既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修(壁厚25mmを超える場合の処理 ※図示) ※[4.3.10]によるモルタル塗る</p> <p>④施工一般 [6.5.2] 材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(b)による</p> <p>⑤製材 [6.5.2] ・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※上小節</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>※A種・B種</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(造作材の場合 ※A種・B種)</td> <td>※A種・B種</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 0701以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 3079に基づく直交集成板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※2級	※A種・B種					※2級	※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※上小節	※A種・B種			見え掛り面		※小節以上	※A種・B種			見え掛り面以外			※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等	※10%以下 ・A種・B種					※1等	※10%以下 ・A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用			()	※A種・B種	・する ・しない				(造作材の場合 ※A種・B種)	※A種・B種	・する ・しない		施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※1等・2等							※1等・2等		施工箇所	品名	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用						※1等・2等		※1等・2等		・する ・しない		施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用						※15%以下								※15%以下			施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用						※15%以下									※15%以下				施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用					・する ・しない		施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用				※14%以下	・する ・しない					※14%以下	・する ・しない		施工箇所	品名	等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用									7 造作用単板積層材 [6.5.2]	<p>⑥改修範囲 [6.1.3] 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示</p> <p>⑦既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ビニルシート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目黒工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内</p> <p>⑧既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修(壁厚25mmを超える場合の処理 ※図示) ※[4.3.10]によるモルタル塗る</p> <p>⑨施工一般 [6.5.2] 材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(b)による</p> <p>⑩製材 [6.5.2] ・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※上小節</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>※A種・B種</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(造作材の場合 ※A種・B種)</td> <td>※A種・B種</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 0701以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 3079に基づく直交集成板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※2級	※A種・B種					※2級	※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※上小節	※A種・B種			見え掛り面		※小節以上	※A種・B種			見え掛り面以外			※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等	※10%以下 ・A種・B種					※1等	※10%以下 ・A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用			()	※A種・B種	・する ・しない				(造作材の場合 ※A種・B種)	※A種・B種	・する ・しない		施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※1等・2等							※1等・2等		施工箇所	品名	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用						※1等・2等		※1等・2等		・する ・しない		施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用						※15%以下		※15%以下		・する ・しない							※15%以下		※15%以下		・する ・しない		施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用					・する ・しない		施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用				※14%以下	・する ・しない					※14%以下	・する ・しない		施工箇所	品名	等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用									8 鋼製建具 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]	<p>性能値等 [5.2.2][5.3.2~5]</p> <p>耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>気密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>水密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-4</td> <td>W-4</td> <td>70</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> <td>※図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級(・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ 大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの) ※建具表による</p> <p>上記以外の鋼製建具 ※[表5.4.2]による ・建具表による 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	A-4	W-4	70	※図示による	・B種	S-5	A-4	W-5	100	※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5	100	※図示による	9 鋼製軽量建具 [5.2.2][5.5.2~4]	<p>性能値等 [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級(・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ヒコ被膜鋼板 ・H-鋼板 ・SPH鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L</p> <p>形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ 大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの) ※建具表による</p> <p>上記以外の鋼製軽量建具 ※[表5.5.1]による ・建具表による 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p>
	合板の種類	規格等	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・普通合板 [G]	表面の樹種 ・板面の品質(※広葉樹1等 ・接着の程度(・1類・2類))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・天然木化粧合板 [G]	樹種名() ・接着の程度(・1類・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・特殊加工化粧合板 [G]	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・接着の程度(・1類・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・MDF [G]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・A種	S-4	A-3	W-4	70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・B種	S-5	A-4	W-5	100	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・C種	S-6	A-4	W-5	100	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	記号		その他性能等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	内貼り用	外貼り用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・日射調整フィルム [G]	※SQ-1	※SQ-2	可視光透過率: 65%以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・低放射フィルム	※LE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・衝撃破壊対応ガラス	※GI-1	※GI-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・飛散防止フィルム	※GD-1	※GD-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・層間変位破壊対応ガラス	※GD-1	※GD-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・飛散防止フィルム	※SF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ガラス貫通防止フィルム	※SF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		※2級	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		※2級	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		※上小節	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
見え掛り面		※小節以上	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
見え掛り面以外			※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		※1等	※10%以下 ・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		※1等	※10%以下 ・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		()	※A種・B種	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		(造作材の場合 ※A種・B種)	※A種・B種	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
					※1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
					※1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	品名	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					※1等・2等		※1等・2等		・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
					※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
					※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
					※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			※14%以下	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			※14%以下	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	品名	等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		※2級	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		※2級	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		※上小節	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
見え掛り面		※小節以上	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
見え掛り面以外			※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		※1等	※10%以下 ・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		※1等	※10%以下 ・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		()	※A種・B種	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		(造作材の場合 ※A種・B種)	※A種・B種	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
					※1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
					※1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	品名	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					※1等・2等		※1等・2等		・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					※15%以下		※15%以下		・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					※15%以下		※15%以下		・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			※14%以下	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			※14%以下	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	品名	等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・A種	S-4	A-4	W-4	70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・B種	S-5	A-4	W-5	100	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・C種	S-6	A-4	W-5	100	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
構 要			設 計 年 月 日			縮 尺	工 事 名 称		図 名		図 面 番 号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
						A2:S=N.S	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)		特記仕様書(改修その3)		A-03																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

Table with 4 columns: ⑧ 合板等, ⑨ 接合具等, ⑩ 接着剤, ⑪ 防蟻・防蟻処理, ⑫ 内部間仕切軸組及び床組み, ⑬ 窓、出入口その他, ⑭ 軽量鉄骨天井下地. Includes detailed specifications for materials, construction methods, and safety standards.

Table with 4 columns: 15 軽量鉄骨壁下地, 16 ビニル床シート, 17 ビニル床タイル, 18 特殊機能床材, 19 ビニル幅木, 20 ゴム床タイル, 21 カーペット敷き, 22 合成樹脂塗床, ⑮ フローリング張り. Includes specifications for flooring materials, installation methods, and performance requirements.

Table with 4 columns: 24 墨敷き, ⑯ せつこうボード, 26 壁紙張り, 27 モルタル塗り, 28 タイル張り, 29 セルフレベリング材塗り, 30 フリーアクセスフロア, 31 可動間仕切, 32 移動間仕切, 33 トイレブース, 34 手すり. Includes specifications for wall treatments, tiles, leveling materials, movable partitions, and handrails.

Table with 4 columns: ⑰ 接合具等, ⑱ 接着剤, ⑲ 防蟻・防蟻処理, ⑳ 内部間仕切軸組及び床組み, ㉑ 窓、出入口その他, ㉒ 軽量鉄骨天井下地. Includes specifications for materials, construction methods, and safety standards.

Summary table with 4 columns: 縮尺 (Scale: A2:S=N.S), 工事名称 (Project Name: 小学校体育館空調設備設置工事 (八幡小学校)), 図名 (Drawing Name: 特記仕様書 (改修その4)), 図面番号 (Drawing Number: A-04).

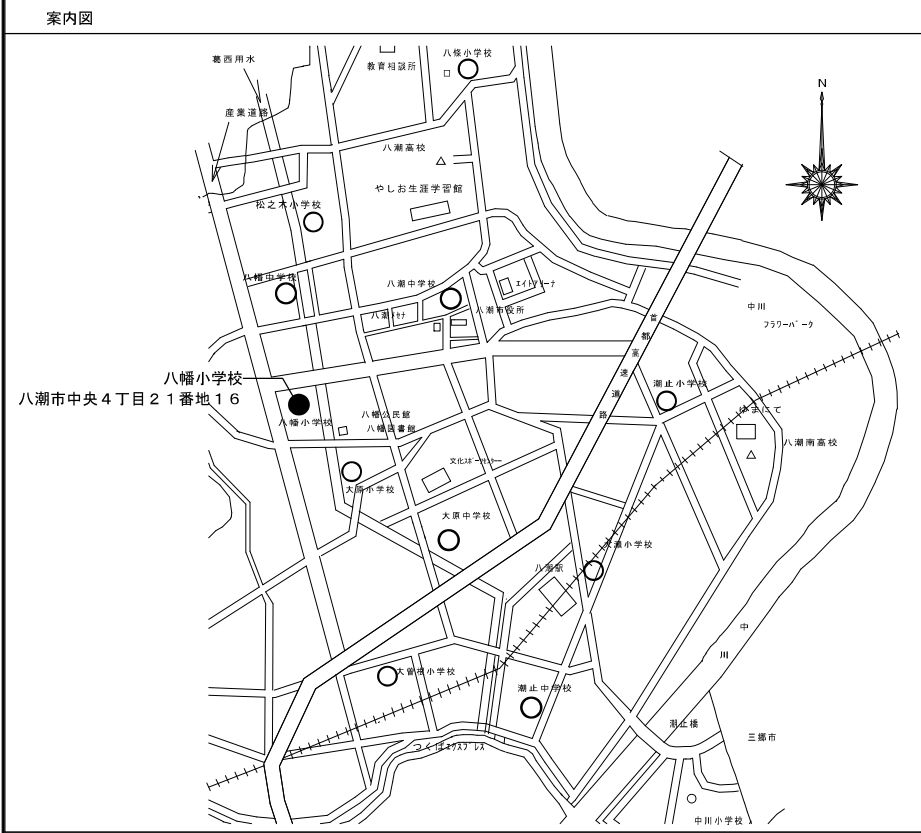
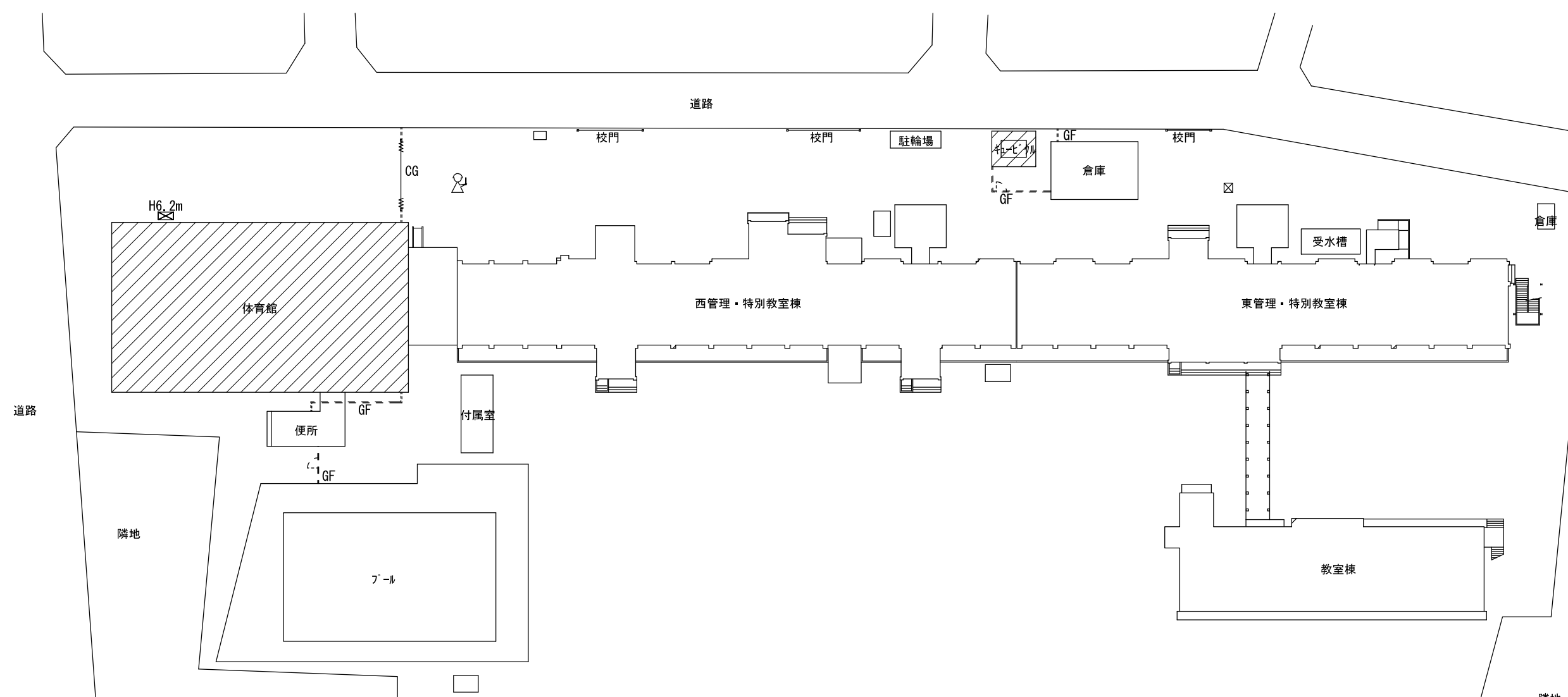
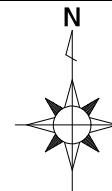
35 階段滑り止め
36 黒板及びホワイトボード
37 表示
38 タラップ
39 ブラインド
40 ロールスクリーン
(41) カーテン
(42) カーテンレール
43 ブラインドボックス及びカーテンボックス
44 天井点検口
45 床点検口
46 くつふきマット
47 流し台ユニット
48 鋼製書架及び物品棚

49 屋内掲示板
50 洗面カウンター
51 防煙垂れ壁
52 収納家具
7 塗装改修工事
(1) 材料
(2) 下地調整
(3) 素地ごしらえ
(4) 錆止め塗料塗り
(5) 塗装

8 耐震改修工事
9 環境配慮改修工事
10 透水性アスファルト舗装改修工事
11 舗装版切断時に発生する濁水の処理に関する濁水の処理に係る特記仕様書

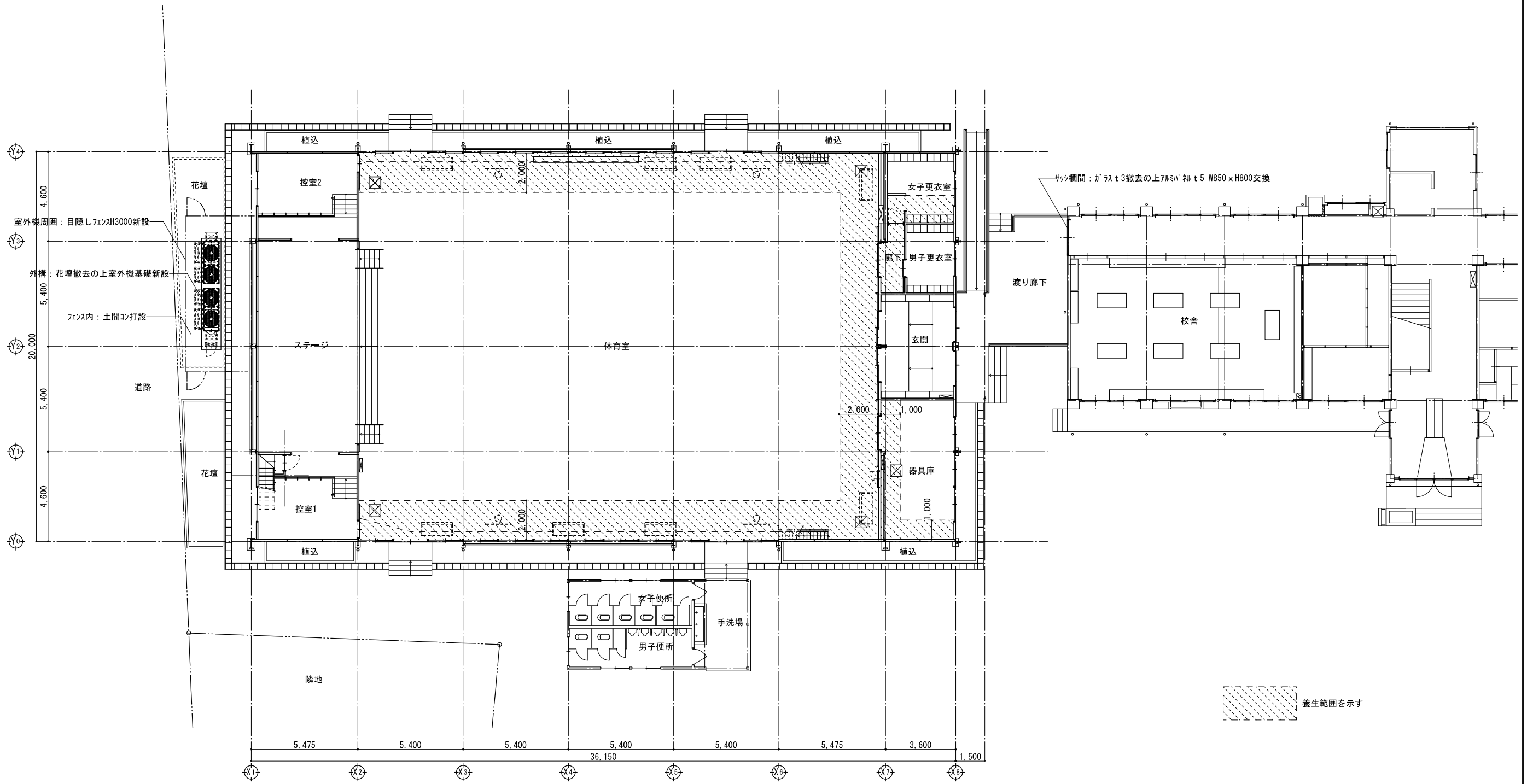
8 断熱・防露改修工事
9 屋上緑化改修工事
10 透水性アスファルト舗装改修工事
11 舗装版切断時に発生する濁水の処理に関する濁水の処理に係る特記仕様書

概要
設計年月日
縮尺
工事名称
図名
図面番号

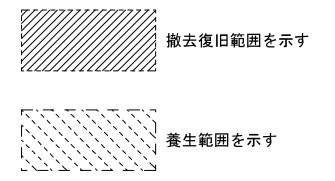
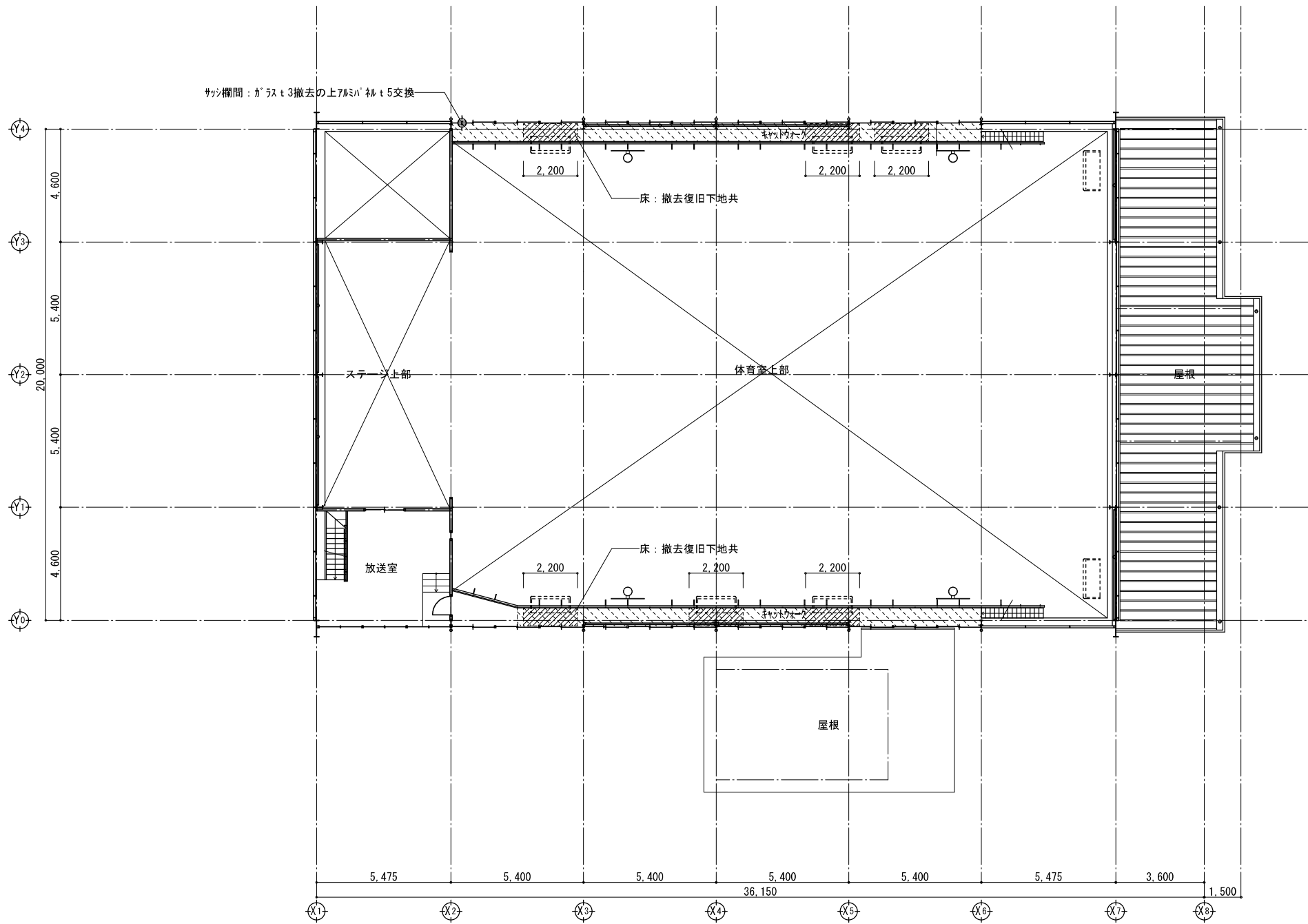


- 凡例
- ⋯ GF ⋯ : ガードフェンスH1.8mを表す
 - CG : キャスターゲートHW6.0xH2.0を表す
 - ⊗ : 手摺先行型枠組足場900x1700 ネット養生シート貼
 - ⊗ : 交通誘導員を表す
 - ⊗ : 斜線部が工事対象部

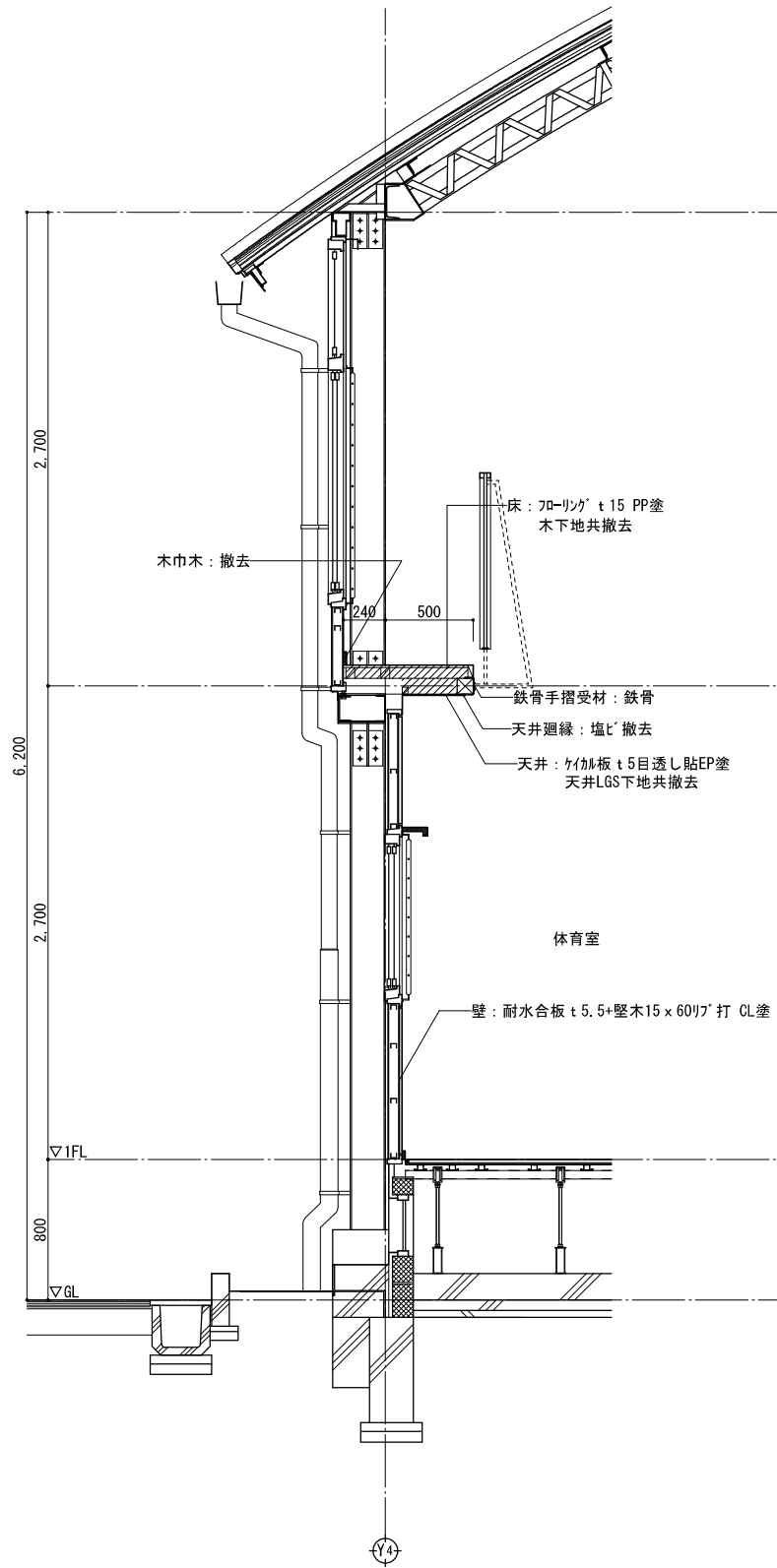
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/400	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	案内図、配置図兼参考仮設計画図	A-07



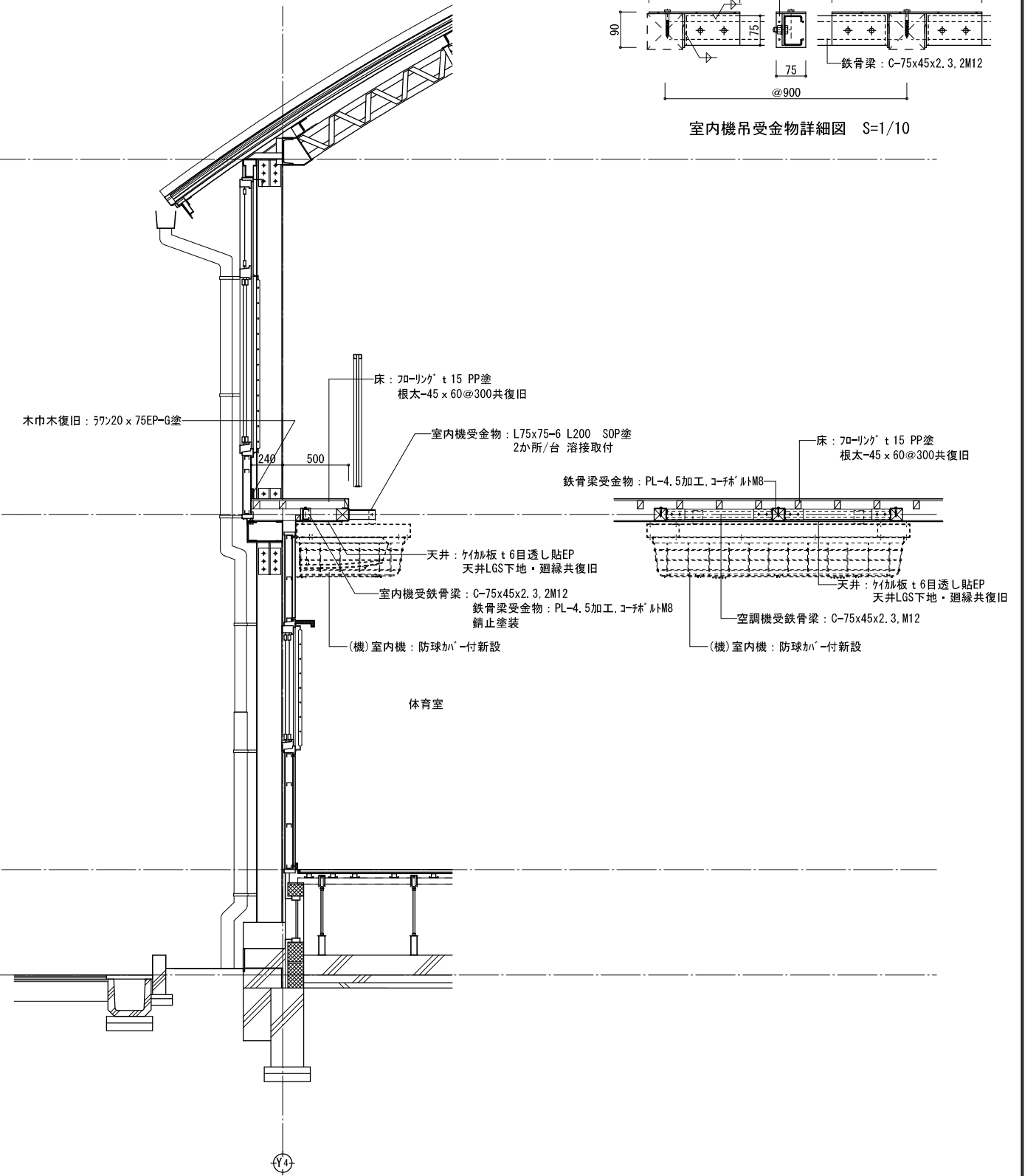
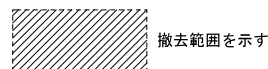
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	1階平面図	A-08



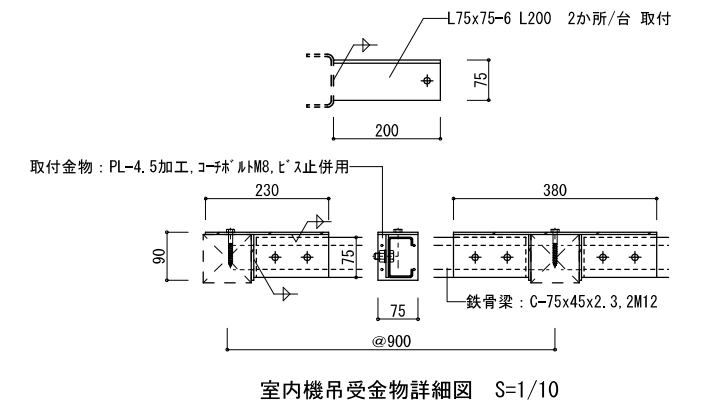
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	2階平面図	A-09



改修前 矩計図S=1/30

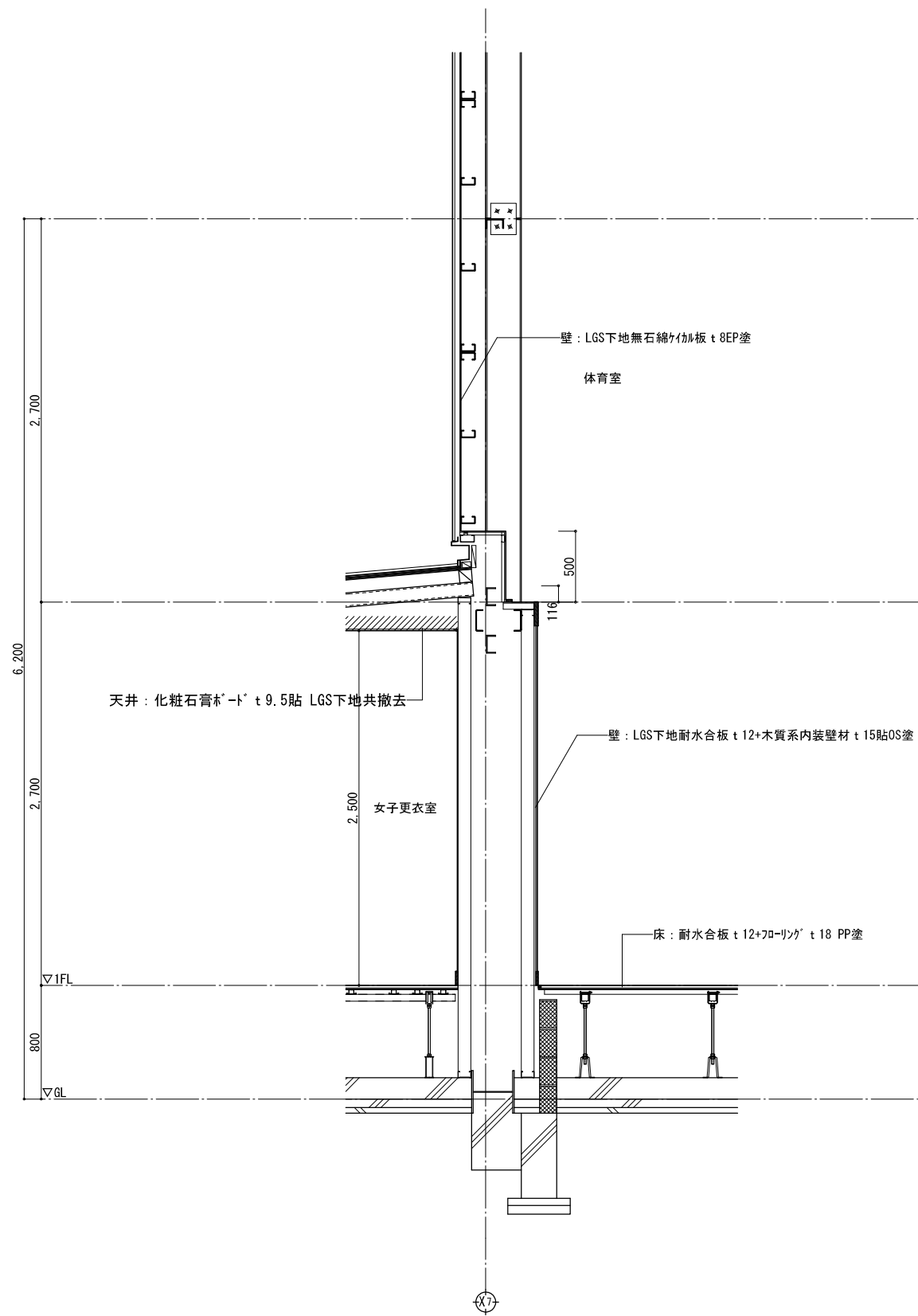


改修後 矩計図S=1/30

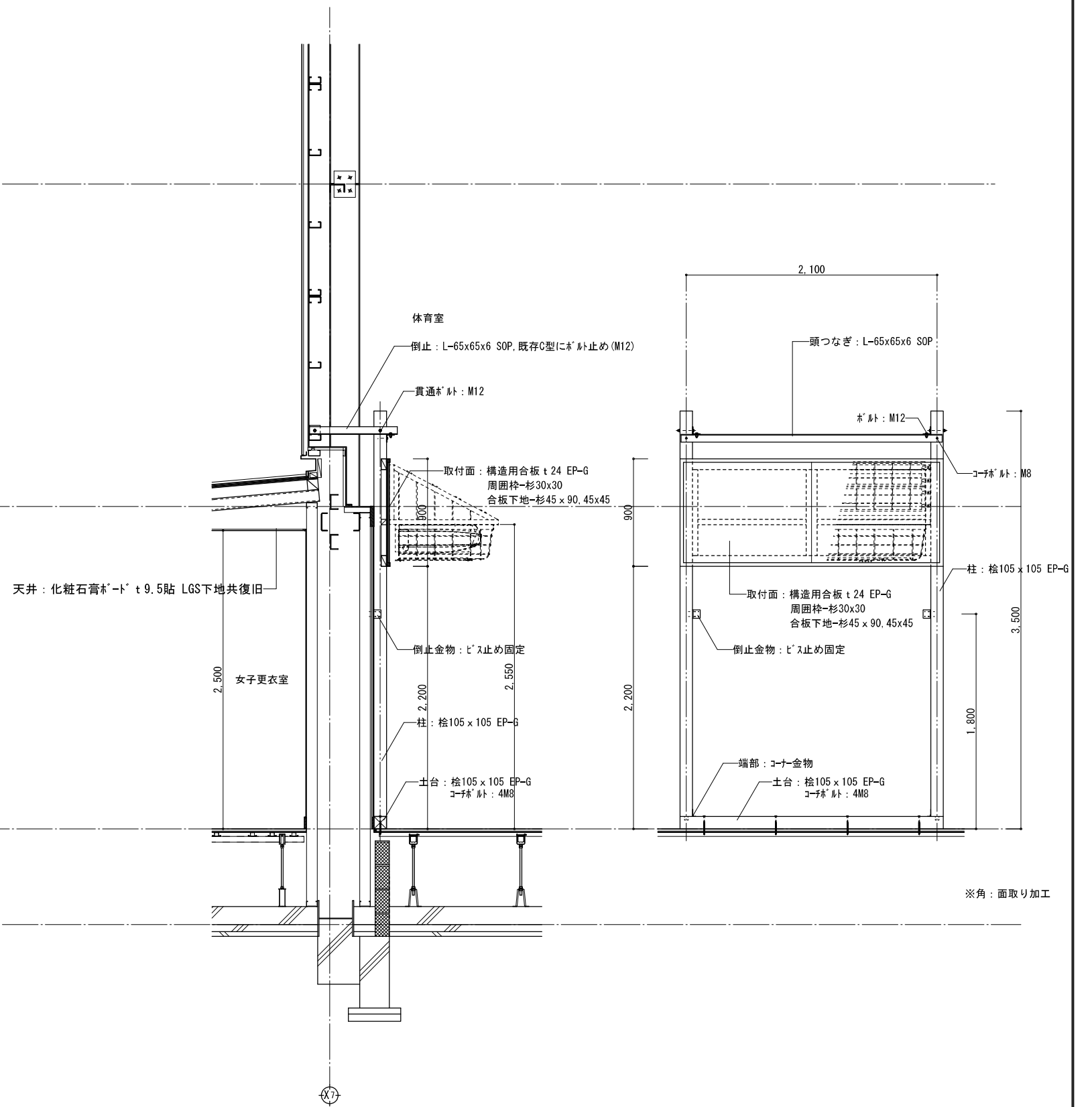
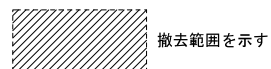


室内機吊受金物詳細図 S=1/10

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/30	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	矩計図1	A-10



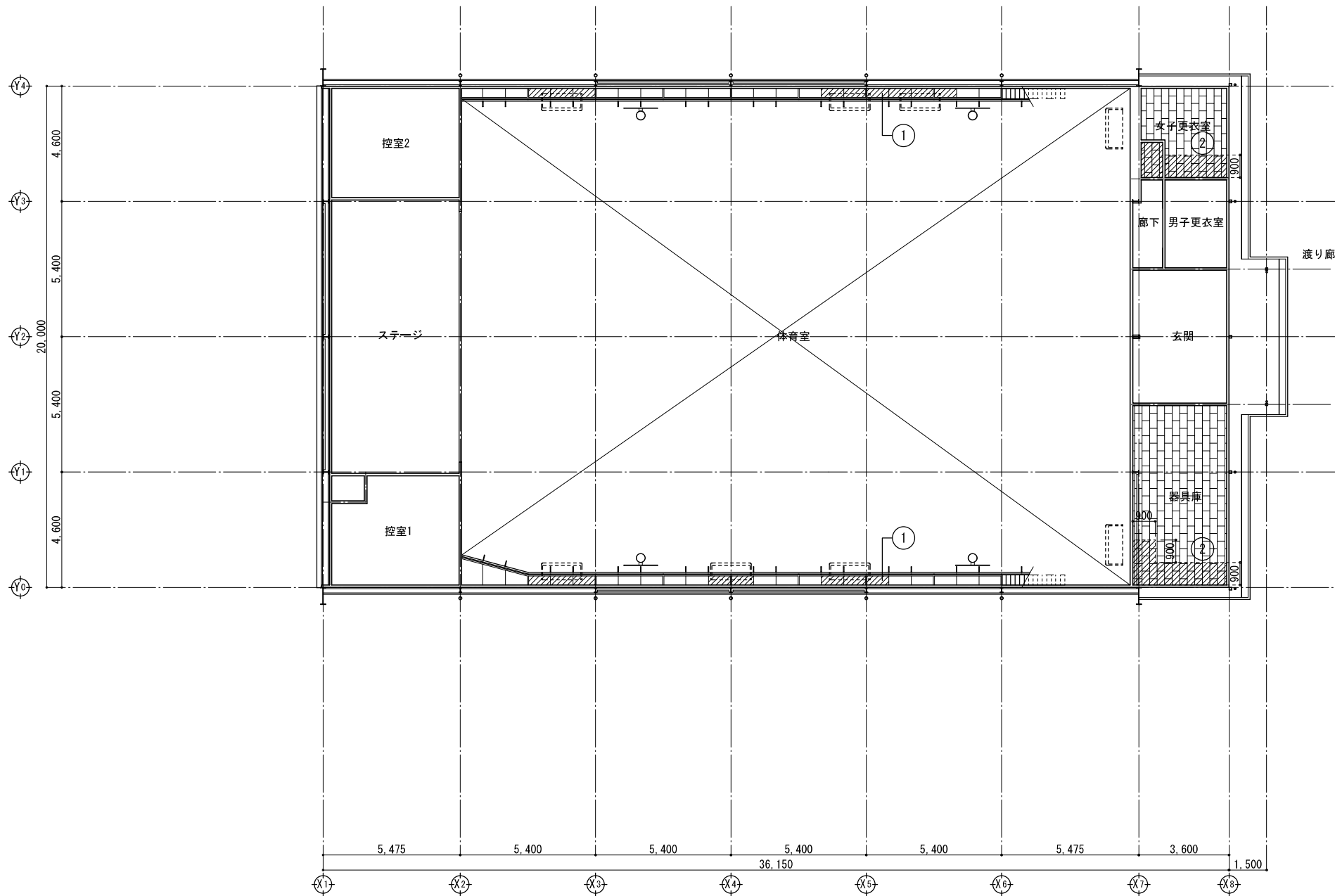
改修前 矩計図S=1/30




改修後 矩計図S=1/30

※角：面取り加工

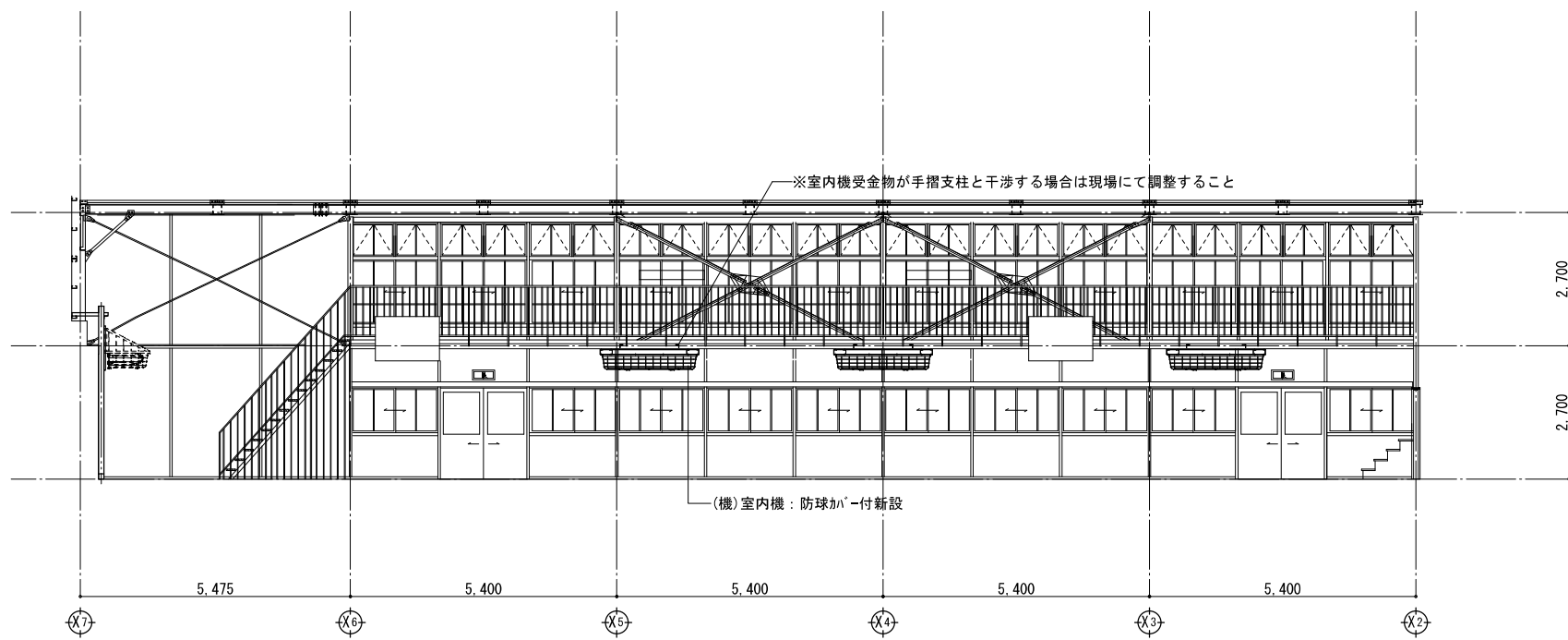
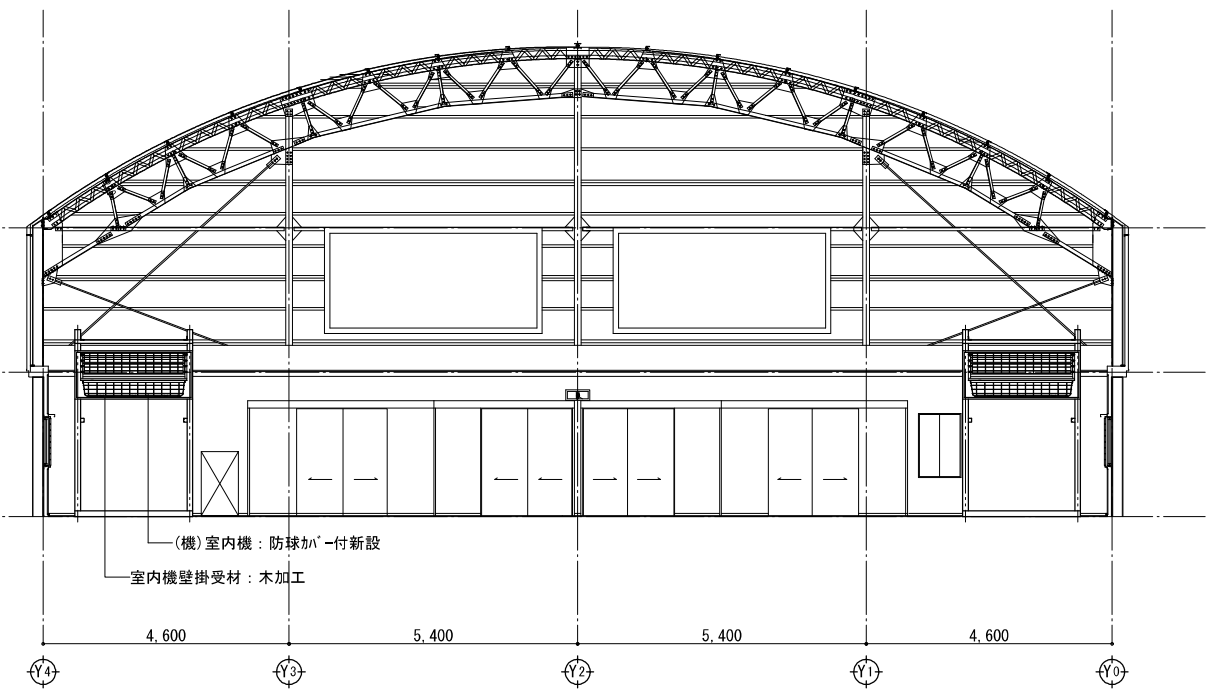
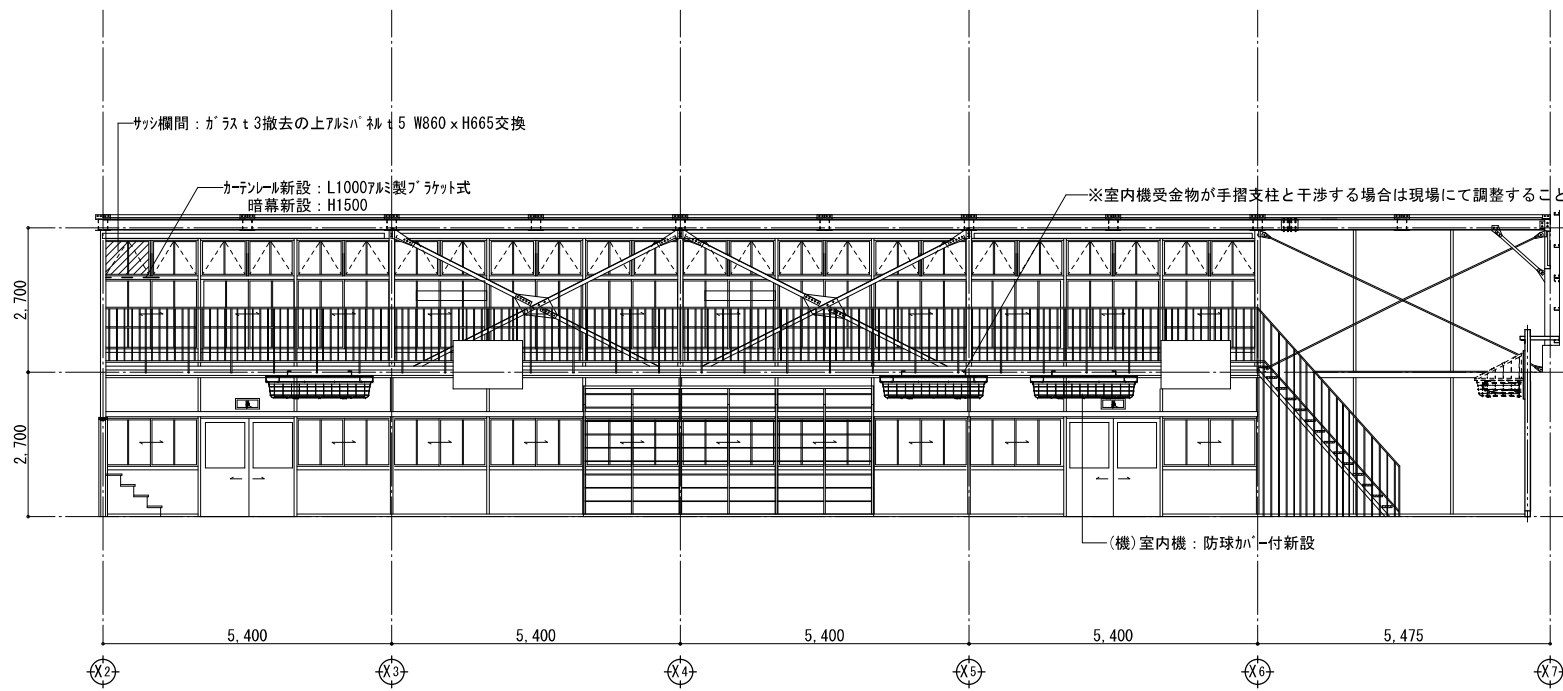
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/30	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	矩計図2	A-11



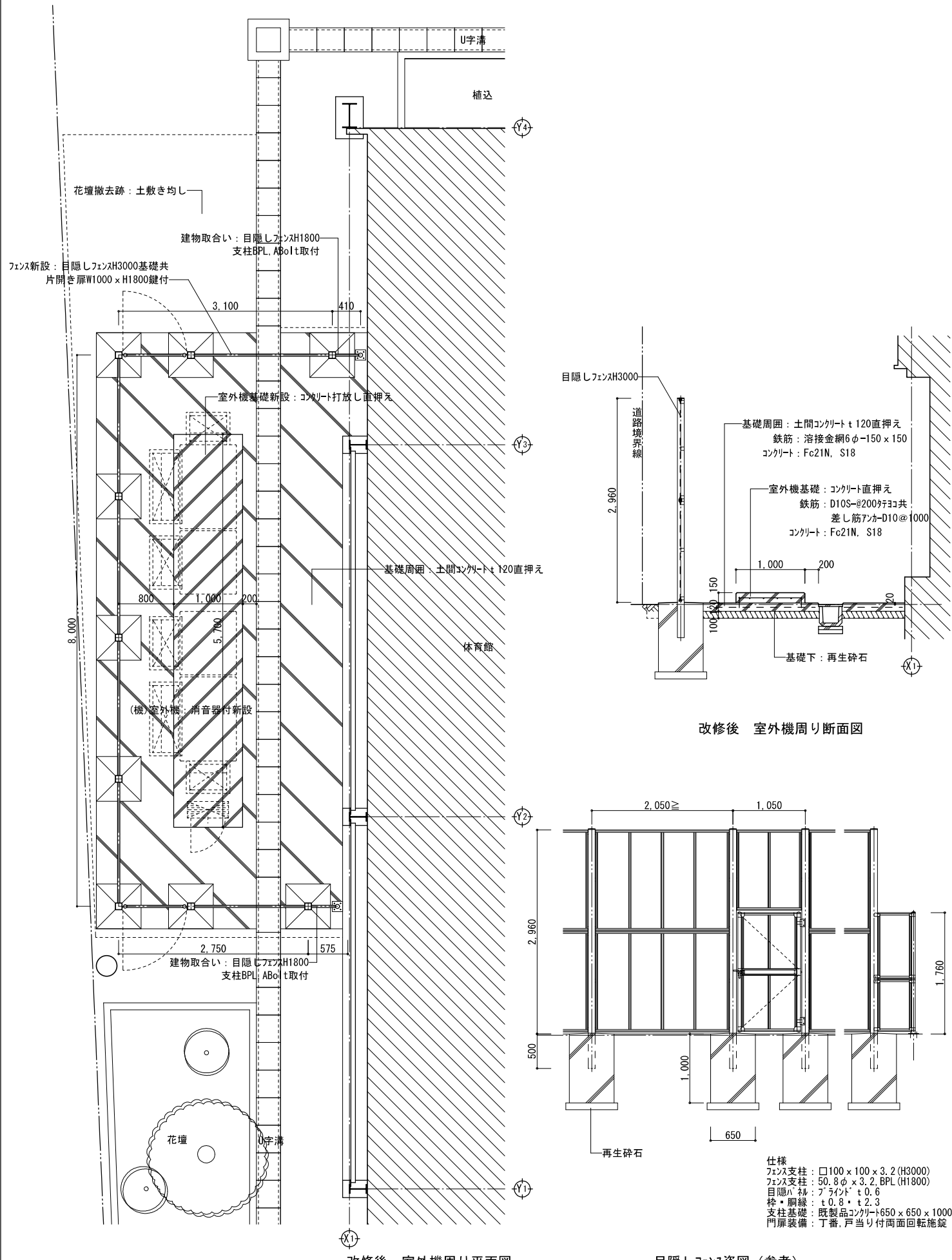
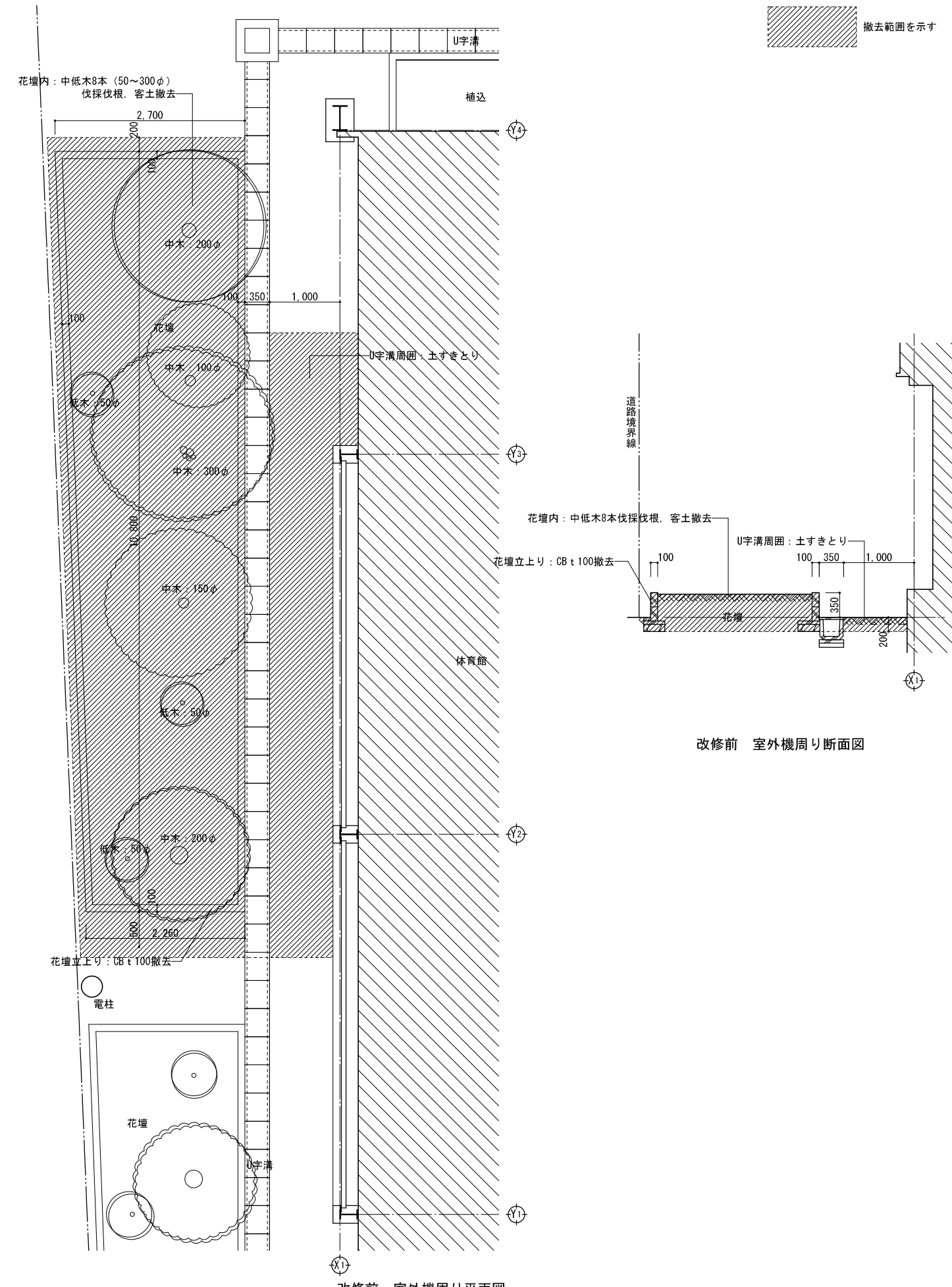
記号	下地	天井仕上	廻縁
①	LGS	ケガキ板 t6目透し貼 EP 下地共撤去・復旧	塩ビ
②	LGS	化粧石膏板 t9.5貼 下地共撤去・復旧	塩ビ

 撤去復旧範囲を示す

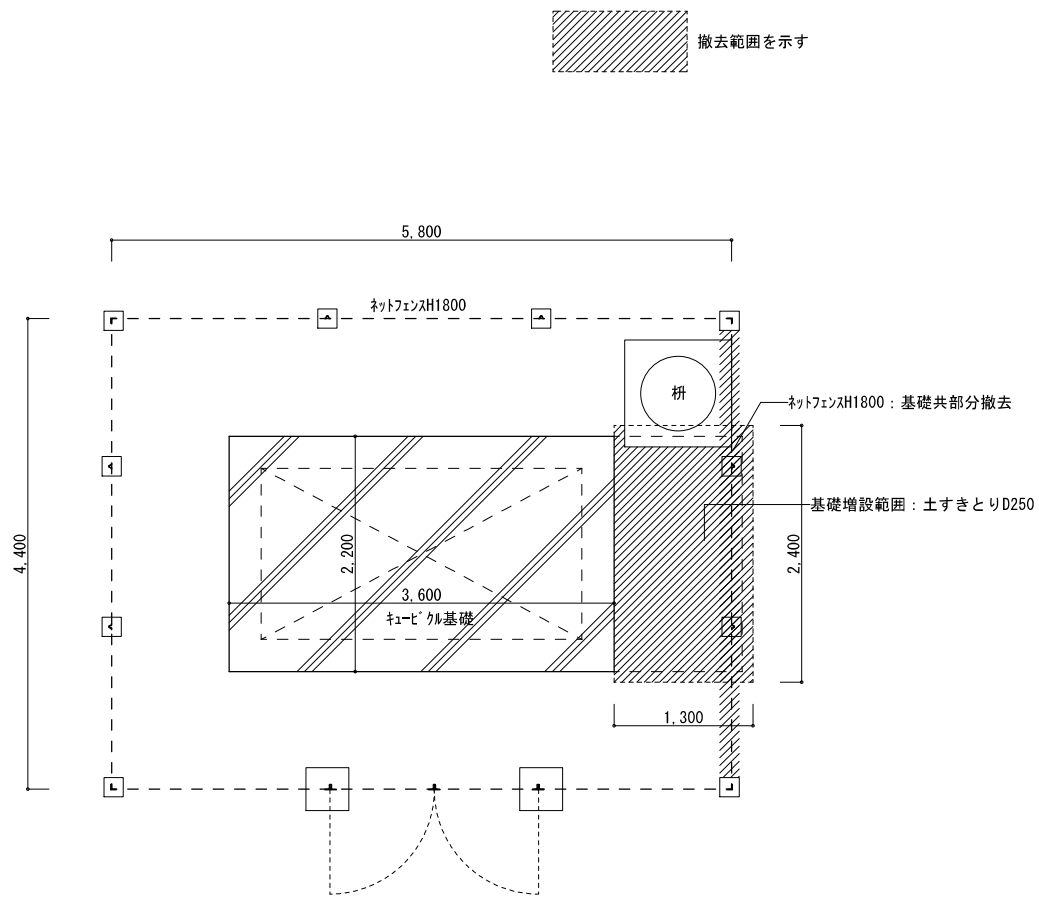
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	1階天井伏図	A-12



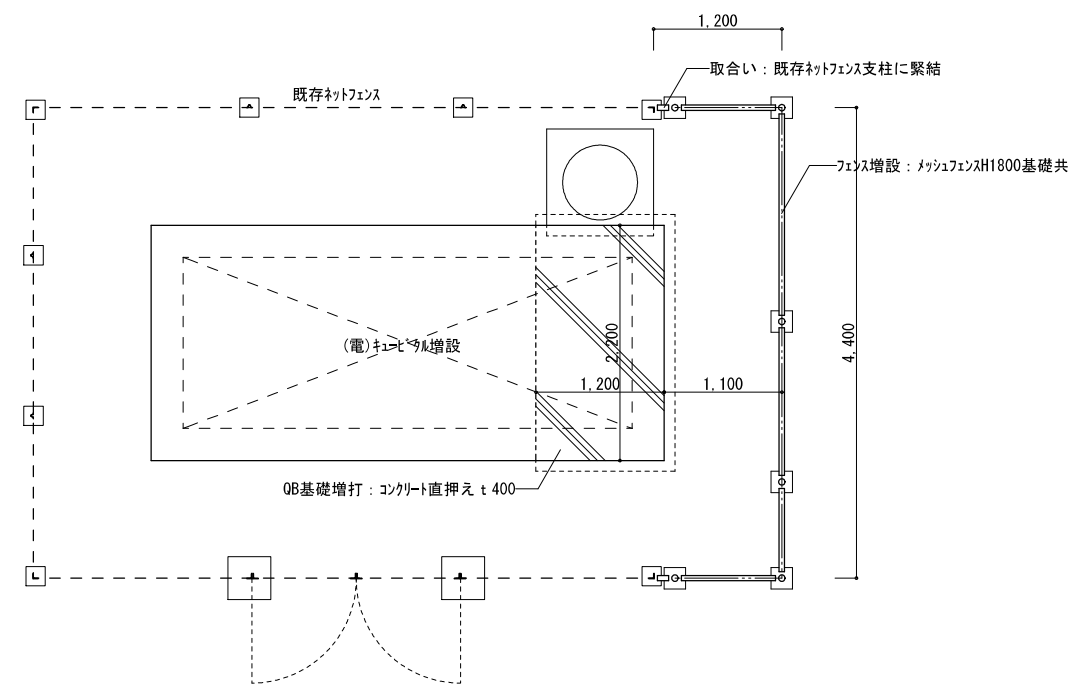
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/100	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	展開図	A-13



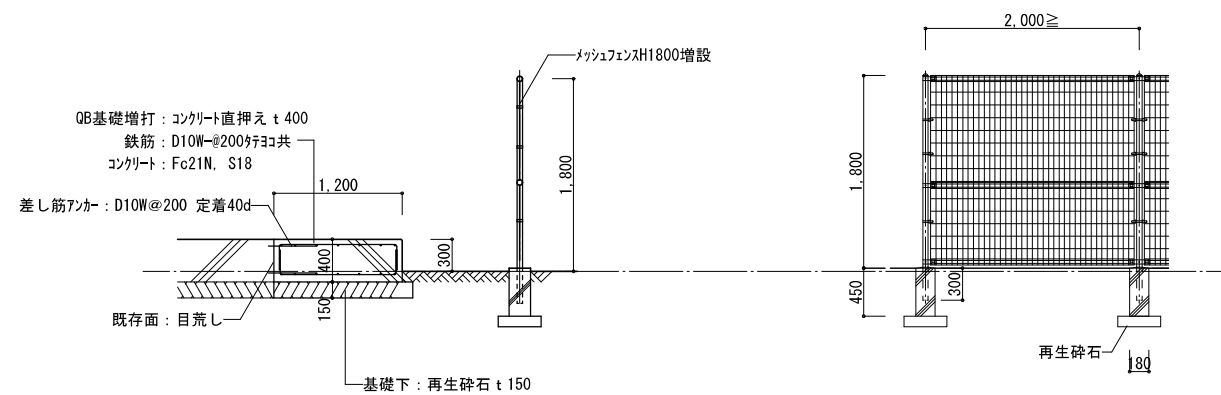
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/50	小学校体育館空調設備設置工事 (八幡小学校)	室外機基礎詳細図	A-14



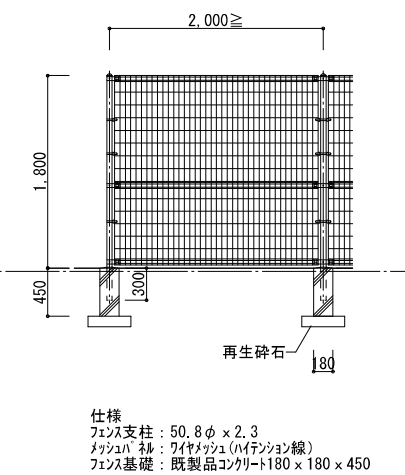
改修前 キュービクル基礎平面図



改修後 キュービクル基礎平面図



改修後 キュービクル基礎断面図



ネットフェンス姿図 (参考)

仕様
 フェンス支柱: 50.8φ x 2.3
 ネットフェンス: ワイヤメッシュ (ハイテンション線)
 フェンス基礎: 既製品コンクリート180 x 180 x 450

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/50	小学校体育館空調設備設置工事 (八幡小学校)	キュービクル基礎詳細図	A-15

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
 - 1.1 工事名 小学校体育館空調設備設置工事（八幡小学校）
 - 1.2 工事場所 八潮市中央4丁目2番地16
 - 1.3 工期 契約日から令和年月日まで
現場施工期間 令和年月日から令和年月日まで
現場施工期間、施設管理者との調整により変更することがある。
 - 1.4 工事科目（○印の付いたものを適用する）

<ul style="list-style-type: none"> ○ 電灯設備 ○ 動力設備 ● 電熱設備 ● 雷保護設備 ○ 受変電設備 ● 電力貯蔵設備 ● 発電設備 ● 構内情報通信網設備 ● 構内交換設備 ● 情報表示設備 ● 映像、音響設備 ● 拡声設備（非常放送設備） ● 誘導支援、呼出し設備 	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ共同受信設備 ● テレビ電波障害防除設備 ● 監視カメラ設備 ● 駐車場管制設備 ● 防犯、入退室管理設備 ● 自動火災報知設備 ● 自動閉鎖設備 ● ガス漏れ火災警報設備 ● 電話配管設備 ● 中央監視制御設備 ● 医療関係設備 ● 昇降機設備
--	---

- 1.5 指定部分 ○無 ・有（ 工期：令和年月日）
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
 - 1 専任期間の始期

請負契約締結の日から、（○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間 ・令和年月日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 - 2 専任期間の終期

工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 - 3 専任期間の中断

自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

- 1.7 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施工令別表第一
体育館	S造	2階建	76.8	7 (1)

- 1.8 工事概要
 - 1.9 同時発注の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事

- 2 工事仕様
 - 2.1 共通仕様
 - (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事情）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
 - (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
 - (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
 - 2.2 特記仕様（特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、●印のものは適用しない。
○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。）

項 目	特 記 事 項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外、上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③ 工食用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
④ 工食用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につることができる。
⑤ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
⑥ 監督員事務所	本工事で ・ 設ける（規模 ） ※設けない
⑦ 保 険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
⑧ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付ける。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する（契約金額による） ・ 適用しない
⑩ 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・ 適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A1二つ折り1部及びA3二つ折り3部とする。
⑪ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 （構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途） (1) 引渡しを要するもの（ ） (2) 買取処分を要するもの（銅屑・鉄屑 ） (3) 再生資源化を図るもの（蛍光管） 蛍光管等は再生資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

- ⑫ 金属電線管の塗装
- ⑬ 鍵
- ⑭ 地中電線路

(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管 種 別
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

- (2) 地中電線路には、ケーブル埋設槽及び横断シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の横断シートは図面特記による。
- (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種類、先行の表示を行う。

⑮ 回路の種類 先行の表示

⑯ 電線の接続

⑰ 電線管の接続

⑱ 接地工事

⑲ 残土処分

⑳ 再生砂・再生アスコン

① 湿度の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

② 屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚膜電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

③ 漏電遮断器で保護されている回路と保護されていない回路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑・黄又は緑・青帯で区別する。

④ 埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所に敷き均しとする。

⑤ 契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・ 使用できる。 ※使用できない。
再生砂使用に先立ち、1購入あたり11枚体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

⑥ 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
(1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	水 槽 類 ^(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類 ^(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】（※1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・ 配電盤 ・ 発電装置（防災用） ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 火災報知器受信機 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

② 機 器 ・ 配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会に資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
（原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。）
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

③ 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。

④ 本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種（枠組足場） ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

⑤ ※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による
・ 使用を要しない

26 アスベスト事前調査結果の報告

⑦ その他

- (1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
- (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作物を監督員に提出し、承諾後製作する。
- (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
- (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
- (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
- (6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
- (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
- (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
- (9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
- (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

⑧ 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する）

項 目	特 記 事 項
① 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は運用形とする。なお、2口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとす。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新築工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 経棒 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は経棒を使用する。ただし、ボード張り、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、経棒を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルころが配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
② 動力設備	(1) 動力制御盤及び閉閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はLR1とする。
④ 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端未処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 （端末処理 ・ 耐塩用 ・ 一般用 ） 交 流 3 相 3 線 式 6.6kV 50Hz 定 格 電 圧 7.2kV 定 格 電 流 A 受 電 電 圧 柱上高圧気中 負 荷 開 閉 器 (PAS) 主 進 断 装 置 変 圧 器 設 備 容 量 定 格 電 圧 7.2kV 定 格 断 断 電 流 kA 動 力 用 100kVA × 1台 電 灯 用 kVA × 台 高 圧 進 相 コ ン デ ン サ kVar × 台 直 列 リ ア ク ト ル ・ 6% ・ 1.3% kVar × 台
5 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を壁内等に収納する場合は、放熱、耐湿等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ (概要)
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱供給(コージェネレーション)発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)

項 目	特 記 事 項
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合壁内の接続は端子台を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事情）による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

- 2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	県営住宅
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300	1,200
”（身体障害者用）	”	1,100	1,000
”（人感センサー切換用）	”	2,000	2,000
コンセント、電話用70Vレド、直列コンセント	”（一般）	300	400
”（和室）	”	150	200
”（台上）	台上～中心	150	500
”（台上）	床上～中心	500	500
防水型コンセント	”	（上端1,900以下）1,500	（上端1,900以下）1,500
分電盤、制御盤、閉閉器箱	”	900	900
呼出ボタン（身体障害者用）	”	1,800	1,800
復帰ボタン（ ” ）	”	2,000	2,000
廊下表示灯（ ” ）	”	（上端1,900以下）1,500	2,000
端子盤	”	（上端1,900以下）1,500	2,000

- 3 その他
 - 3.1 他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
 - 3.2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、JIS A1版としたり縮尺とする。
 - 3.3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

- ・種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） ㎡3
- ・中間処理施設 市 地内、(株)
- ・処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融を含む）
・ 中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）

2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理業（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。

第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。

3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書

第1条 この特記仕様書は、昇降機設備工事（新設、増設又は更新）において、昇降機を常時適法な状態に維持できるよう必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」（平成28年2月19日付国土交通省住宅局建築指導課）による。

第2条 この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。

- 2 昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。
- 発注者とは、本工事の発注者をいう。
- 受注者とは、本工事の受注者をいう。
- 製造者とは、昇降機の製造者をいう。
- 管理者とは、昇降機の引渡しを受け、施設管理を行う者をいう。
- 保守点検受注者とは、管理者からの委託により、保守・点検業務を受注した者をいう。

第3条 製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。

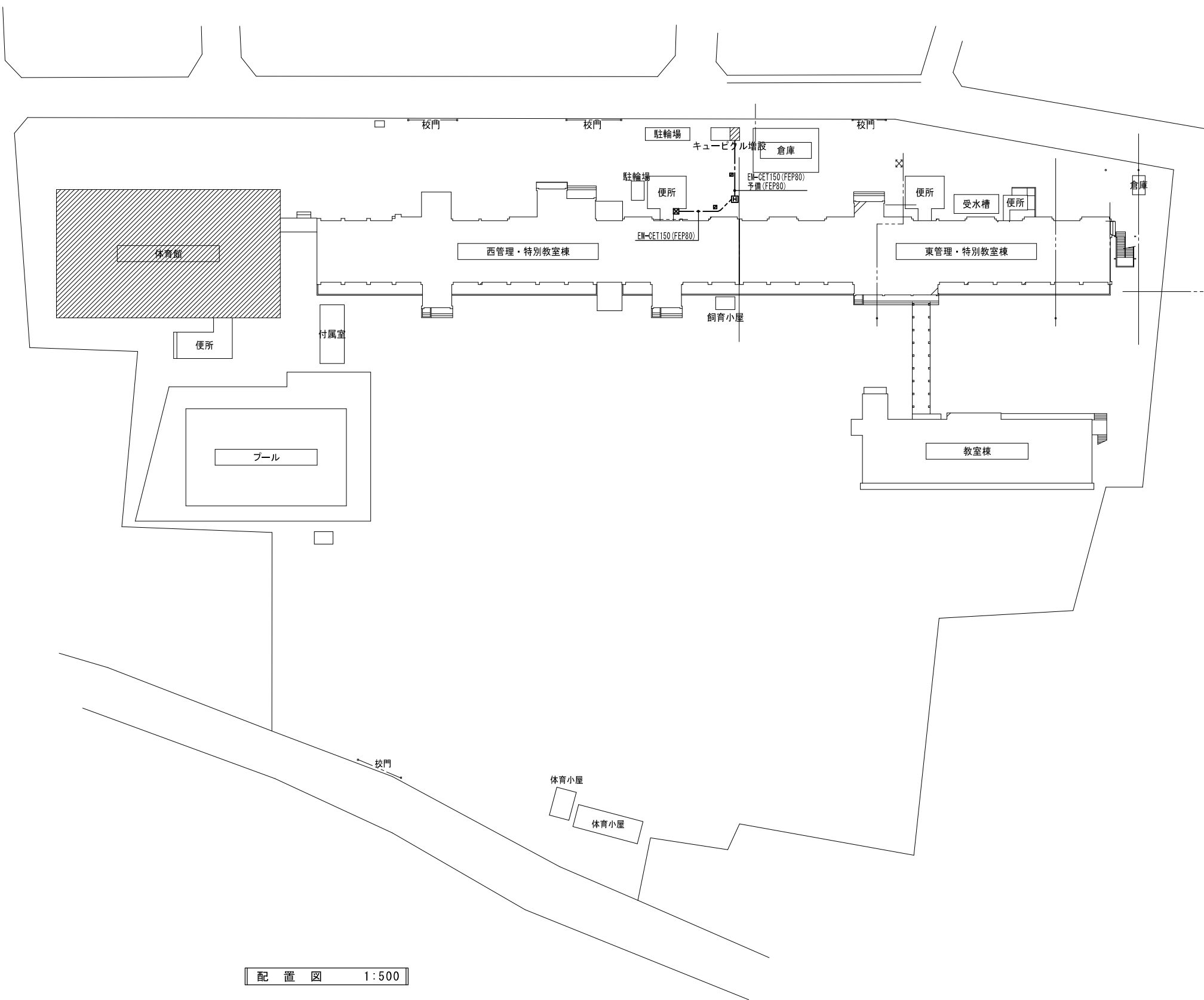
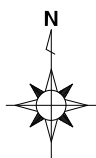
- 2 製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供給すること。
- 3 製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するとともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。
- 4 製造者は、保守点検受注者からの依頼に対し協力すること。

5 受注者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。

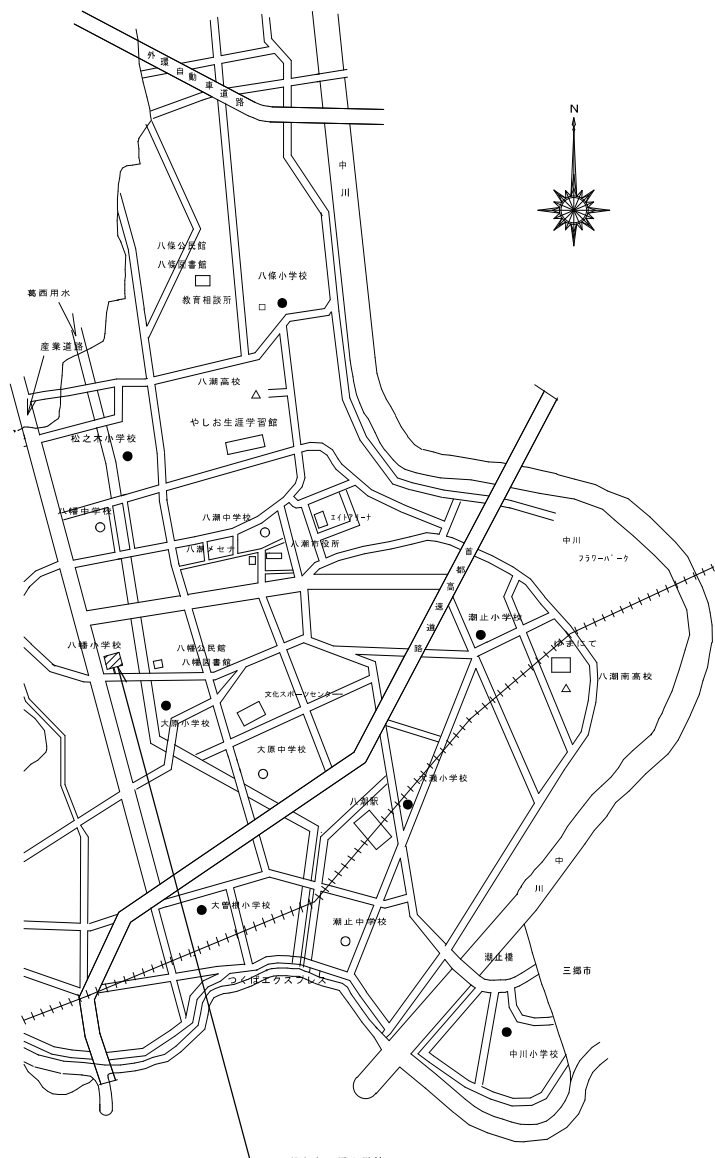
第4条 この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

官公庁等打ち合わせ相手 打ち合わせ担当者	建築 昇降機:
施設管理者:	
電力会社:	
電話会社:	
ケーブルテレビ会社:	
消防本部:	





編 号	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号
	A2:S=N.S	小学校体育館空調設備設置工事（八幡小学校）	電気設備工事特記仕様書	E-01



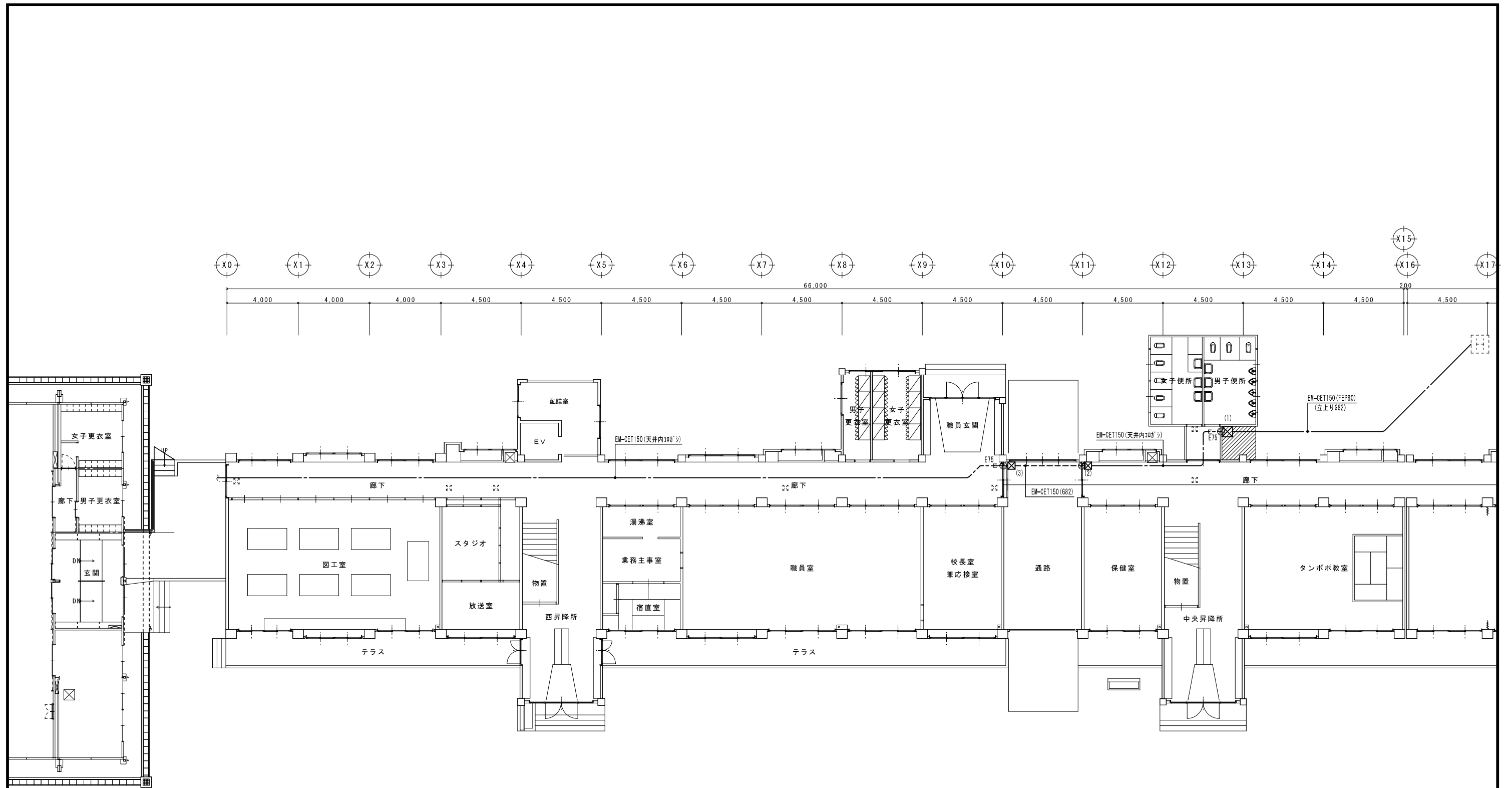
配置図 1:500



案内図 N.S

- ◆ 凡例
-  PB600×600×500 SUS,WP
 -  ホットパネル 600×600×900H (R2K-60)
 -  地中埋設標示を示す
 -  工事対象建物を示す

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/500	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	配置図・屋外配管図	E-02



(西管理・特別教室棟) 1階平面図 S=1/150

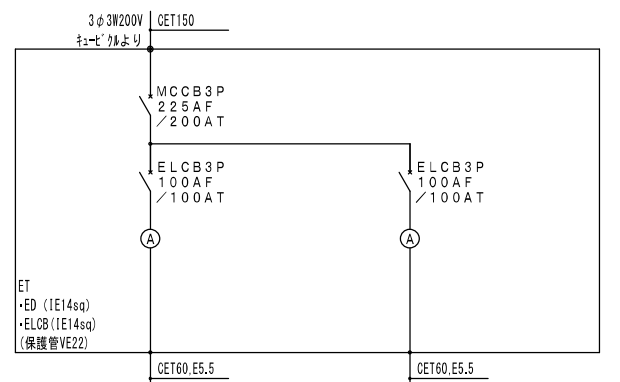
◆ 凡例

- ☒ (1) PB600×600×500 SUS.NP
- ☒ (2) PB400×400×300
- ☒ (3) PB400×400×300 SUS.NP
- ▨ 地中埋設標示を示す
- ▨ 7x7x7材舗装様式復旧を示す
- 壁はつり補修を示す
- ⊗ 既存点検口を示す

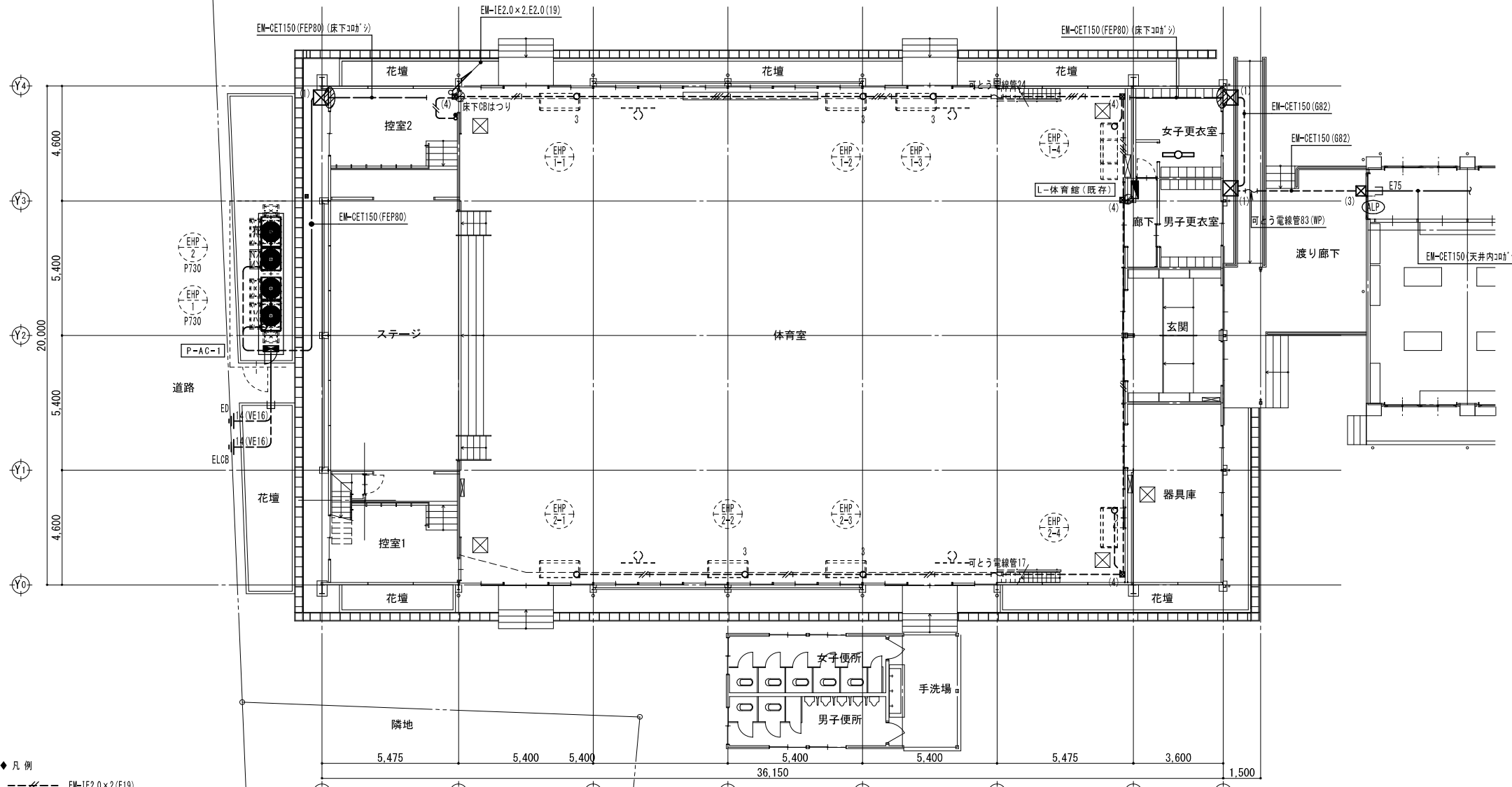
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	幹線設備 西管理・特別教室棟 1階平面図	E-04

記号	配線	配管	機器 接続部
EHP-1	EM-CET60sq,E5.5sq	G54	F2 50
EHP-2	EM-CET60sq,E5.5sq	G54	F2 50

女子更衣室
1A HF32W×1(直付) 取外し再取付



負荷名称	空調室外機	空調室外機
記号	EHP-1	EHP-2
負荷容量(KW)	19.73	19.73
(Comp)		
(Fan)		
最大電流(A)	94.7	94.7
始動方法		
操作制御方法		
操作制御スイッチ		
運動		
インボク		
	P730	P730
	新設	P-A-C-1 屋外銅板製露出自立型
		合計 (39.46)kW (189.4)A



- ◆ 凡例
- EM-IE2.0×2(E19)
 - EM-IE2.0×2,E2.0(E19)
 - EM-IE2.0×4,E2.0(E25)
 - (1) PB600×600×500 SUS.WP
 - (2) PB400×400×300
 - (3) PB400×400×300 SUS.WP
 - (4) PB150×150×100
 - 壁はつり補修を示す
 - 露出ボックス 2方出
 - 露出ボックス 3方出
 - コンセン 2P15A×1E(露出付)共
 - 1P15A×1(表示灯付)
 - 600×600×900H(R2K=60)
 - 地中埋設標示を示す
 - 既存床下点検口
 - 床下引貫通処理を示す

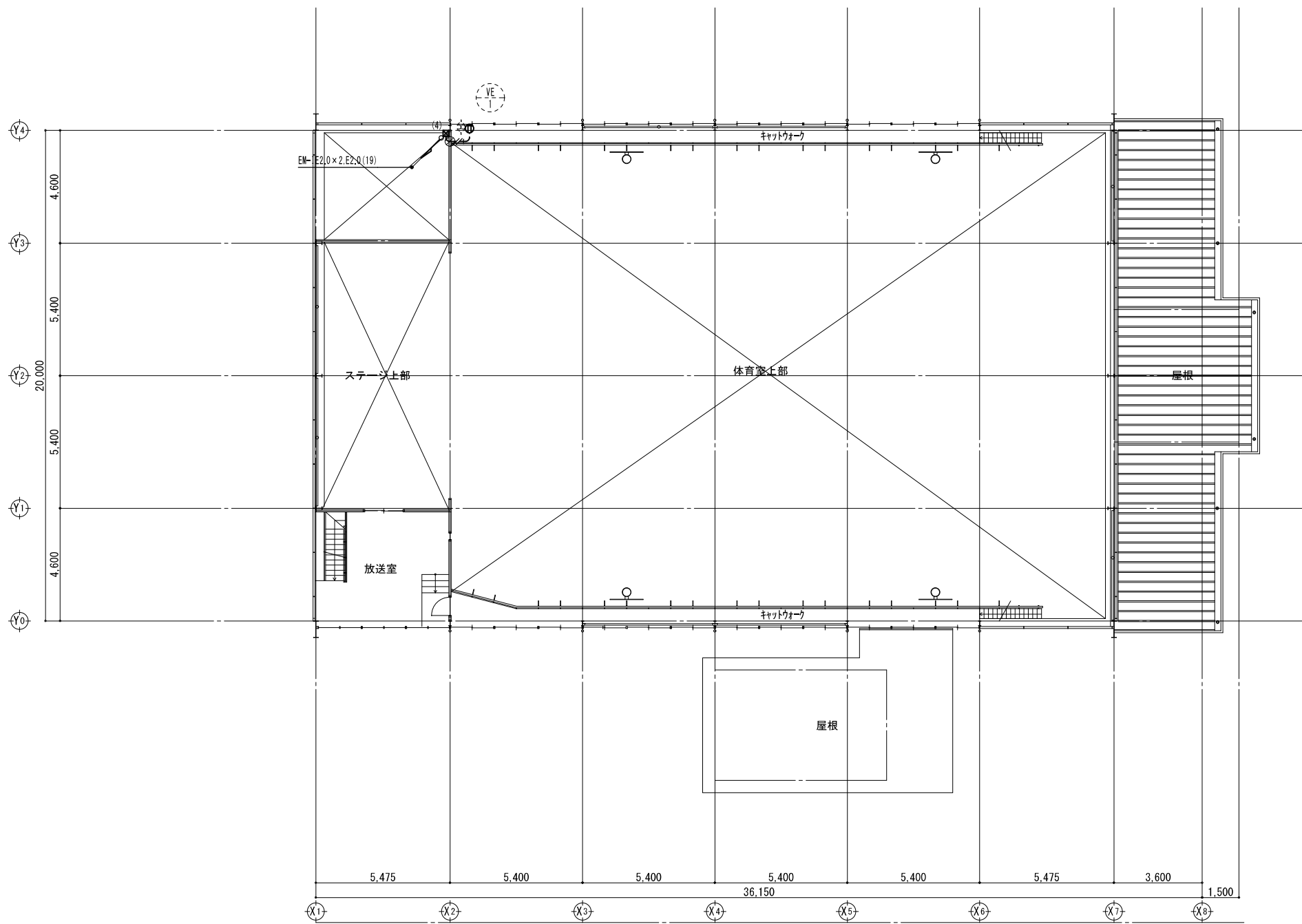
1階平面図 S=1/150

分電盤リスト	電気方式 スケルトン方式 主幹容量 合計負荷容量	回路		ブレーカー		室名	負荷名	容量	備考
		番号	電圧(V)	MCCB	ELCB				
L-体育館(既存)	AC 1φ200V 200/100W CET150sq	(A)	100V	1	1	2P 50AF/20AT	誘導灯		※赤字 ロック付
		(B)	100V	1	1	2P 50AF/20AT	予備		※赤字 ロック付
		(1)	200V	1	1	2P 50AF/20AT	計測・放送室	電灯	R1,R2
		(2)	200V	1	1	2P 50AF/20AT	室内機	空調	R9
		(3)	200V	1	1	2P 50AF/20AT	計測室	コンセント	
		(4)	100V	1	1	2P 50AF/20AT	放送室	コンセント	
		(5)	100V	1	1	2P 50AF/20AT	放送室	コンセント	
		(6)	100V	1	1	2P 50AF/20AT	放送室	コンセント	
		(7)	100V	1	1	2P 50AF/20AT	放送室	コンセント	
		(8)	100V	1	1	2P 50AF/20AT	放送室	コンセント	

MCCB撤去
ELCB新設
(R9切り離し)

予備回路 名称変更

概要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(八幡小学校)	幹線動力設備 1階平面図	E-05



2階平面図 S=1/150

- ◆ 凡例
- EM-1E2.0×2 (E19)
 - EM-1E2.0×2, E2.0 (E19)
 - EM-1E2.0×4, E2.0 (E25)
 - ☒ (1) PB600×600×500 SUS, WP
 - ☒ (2) PB400×400×300
 - ☒ (3) PB400×400×300 SUS, WP
 - ☒ (4) PB150×150×100
 - 壁はつり補修を示す
 - 2 露出ボックス 2方出
 - 3 露出ボックス 3方出
 - ⊕ コンセン 2P15A×1E (露出付) 7共
 - 1P15A×1 (表示灯付)
 - ← 接地極14φ×1,500mm (配線太さ、保護管は結線図による)

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2: S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事 (八幡小学校)	幹線動力設備 2階平面図	E-06

小学校体育館空調設備設置工事（大曾根小学校）

図 面 リ ス ト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
M- 00	表紙・図面リスト	—
M- 01	機械設備工事特記仕様書（1）	N.S
M- 02	機械設備工事特記仕様書（2）	N.S
M- 03	配置図・案内図	1/600
M- 04	機器表・系統図	N.S
M- 05	空調設備 1階平面図	1/150
M- 06	換気設備 2階平面図	1/150
M- 07	計装設備 1階平面図	1/150
M- 08	防球ガード詳細図	1/40
M- 09	屋外機用消音器参考図-1	1/30
M- 10	屋外機用消音器参考図-2	1/30
M- 11	屋外機用消音器参考図-3	1/30
M- 12	改修後 消火設備 1階平面図	1/150
M- 13	改修前 消火設備 1階平面図	1/150
A- 01	特記仕様書（改修その1）	N.S
A- 02	特記仕様書（改修その2）	N.S
A- 03	特記仕様書（改修その3）	N.S
A- 04	特記仕様書（改修その4）	N.S
A- 05	特記仕様書（改修その5）	N.S
A- 06	特記仕様書（改修その6）	N.S
A- 07	案内図,配置図兼参考仮設計計画図	1/400
A- 08	1階平面図	1/150
A- 09	2階平面図	1/150
A- 10	矩計図	1/30
A- 11	1階天井伏図	1/150
A- 12	展開図,防球ガード詳細図	1/10,30,100
A- 13	室外機基礎詳細図	1/50
E- 01	電気設備工事特記仕様書	N.S
E- 02	配置図・屋外配管図	1/500
E- 03	改修後 受変電設備単線結線図	N.S
E- 04	幹線動力設備 1階平面図	1/150
E- 05	幹線動力設備 2階平面図	1/150

令和 5 年 9 月

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要					
1	工事名称	小学校体育館空調設備設置工事(大曽根小学校)			
2	工事場所	八潮市坊527番地			
3	工期	契約日から令和年月日			
3	現場施工期間	令和年月日から令和年月日			
4	建物概要	現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。			

建物名称	構造	階数	延面積(m ²)	消防法施行令別表第一	備考
①	体育館	S造	2階建	767	
②					
③					
④					
⑤					

工事種目	工事種別					屋外
	①	②	③	④	⑤	
● 空気調和設備	一式					一式
● 換気設備	一式					
○ 排煙設備						
● 自動制御設備	一式					
○ 衛生器具設備						
○ 給水設備						
○ 排水設備						
○ 消火設備						
○ 厨房機器設備						
○ ガス設備						

6	指定部分	※無	・有	対象部分:	工期:令和年月日
7	主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合)	1 専任期間の始期 請負契約締結の日から、(○)現場施工に着手するまで(現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事が開始されるまで)の期間・令和年月日までの期間)については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。 2 専任期間の終期 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。 3 専任期間の中断 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。			
8	工事範囲	図示のとおり			
9	機械設備工事概要	体育館に空冷ヒートポンプマルチエアコンを導入する。 2階に換気扇を設置する。			

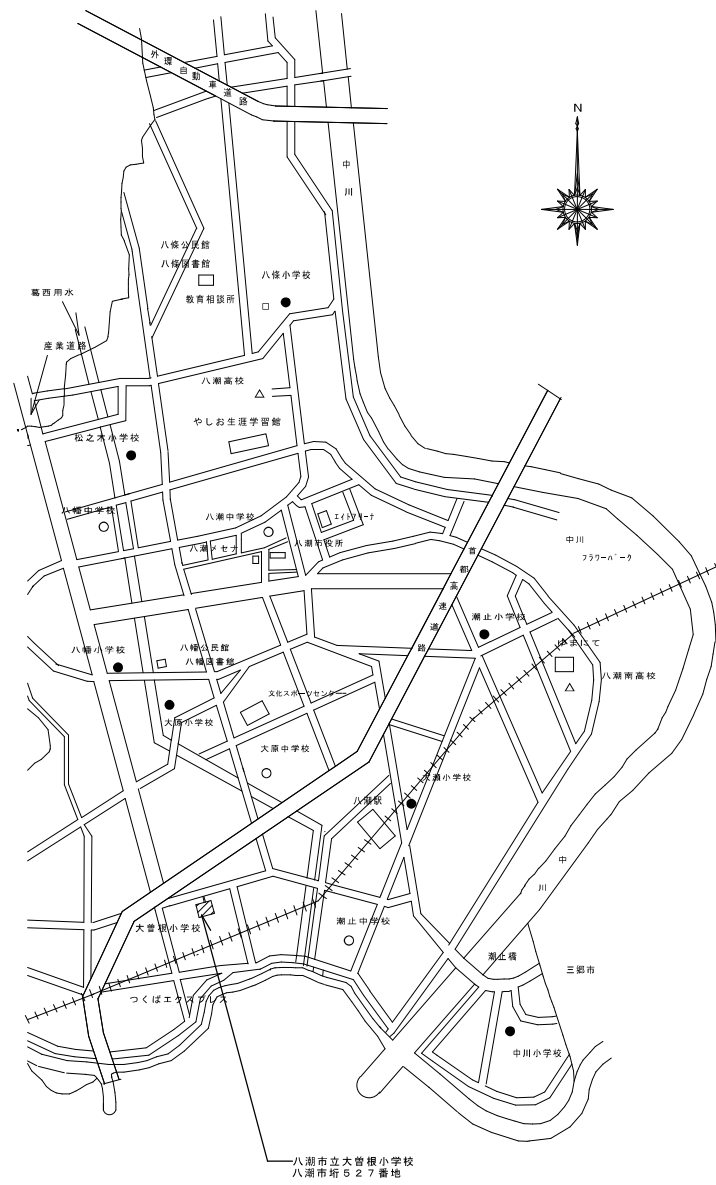
10	電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。	<p>・長寿命機材の選定(2-3-③) ・設備更新を踏まえた計画(2-3-④)</p> <p>・再生品の優先使用(2-3-⑥) ・有害物質の放放量が少ない材料の使用(2-4-②)</p> <p>・発生材の再資源化を推進(3-1-⑥) ・フロン等の回収・破壊を行う(4-1-①)</p> <p>(該当項目数:) ・代替フロンの使用抑制(4-1-②) ・断熱材の採用(4-1-③)</p> <p>・太陽熱利用システムの導入(5-1-②) ・高効率機器の採用(5-2-②)</p> <p>・ソーニングの工夫(5-3-①) ・外気冷房制御の導入(5-3-②)</p> <p>・搬送動力の低減(5-3-③) ・ヒートポンプの採用(5-3-④)</p> <p>・熱回収システムの導入(5-3-⑤) ・コージェネレーションの導入(5-4-①)</p> <p>・節水機器の採用(6-1-①) ・雨水利用(6-1-③) ・排水再利用(6-1-④)</p> <p>・アスコン廃材の再利用(6-3-②) ・再生塩ビ管の採用(6-3-③)</p>			
11	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事			

II 工事仕様	
1	共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(以下「標準仕様書等」という。))及び監督員の指示に従い施工する。	
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を採用する。	
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。	
2	特記仕様
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。	
(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものななければ、※印を適用し、●印のものは適用しない。○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。	

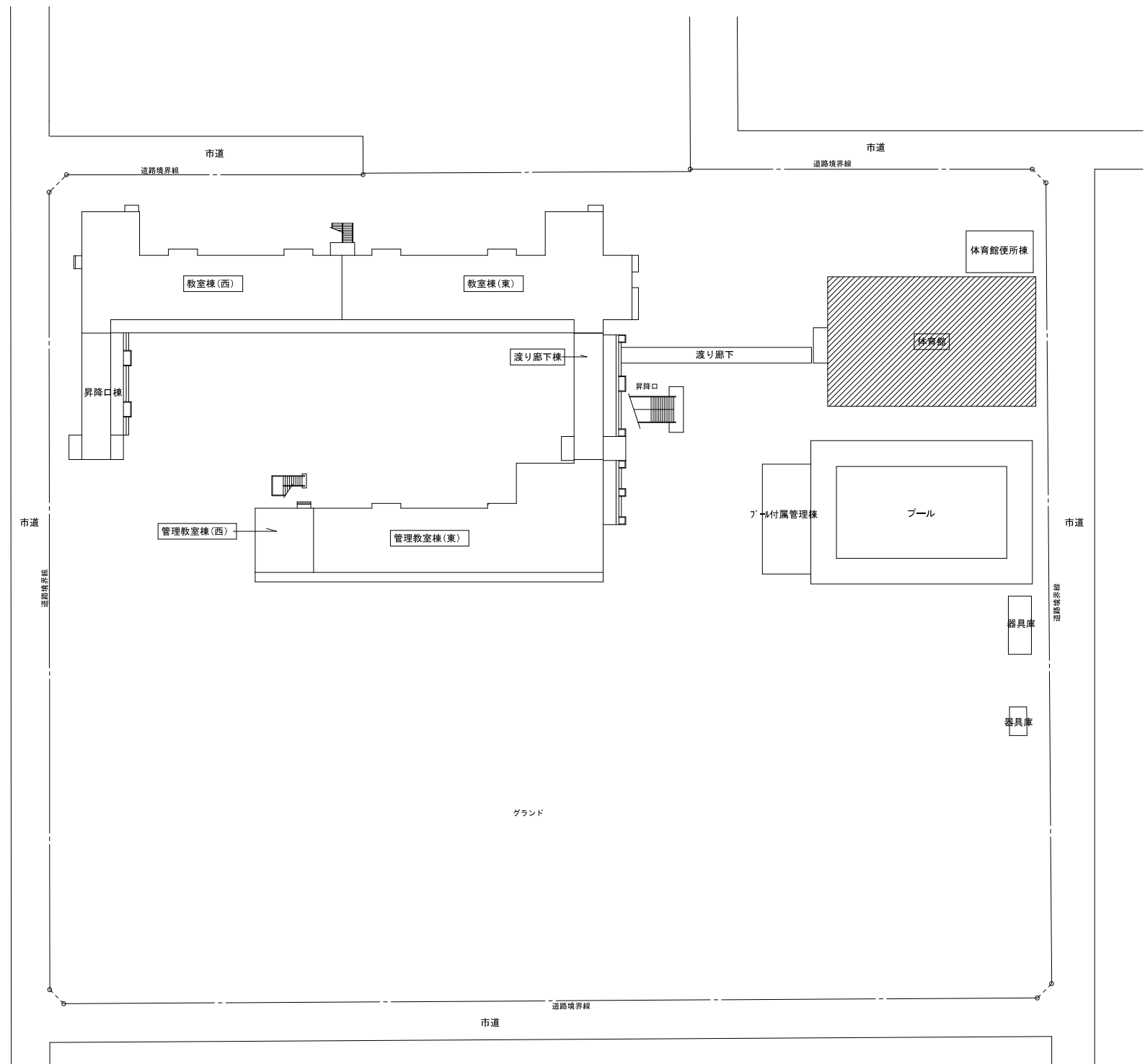
章	項目	特記事項																																																																	
①	機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7Aハを含むもの有無を確認し、7Aハを含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉産とするよう努めるものとする。 ・置く ※置かない																																																																	
②	電気保安技術者																																																																		
③	施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律(第91号)に定める行政機関の休日以外。 ○上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。																																																																	
4	技能士の適用	・配管施工(配管工事) ・建築板金施工(風道制作及び取付け) ・熱断熱施工(保温工事) ・冷凍空気調和機器施工(冷凍空調機器の据付)																																																																	
⑤	機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※取用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験として、公立の保健所、試験所又は認定の試験所(事前に監督員の承諾を得る)に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに(概ね3ヶ月以内)流入水・処理水の水質試験を行う。試験は上記の取用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。																																																																	
⑥	監督員事務所	本工事で ・設ける(規模) ※設けない																																																																	
⑦	官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。																																																																	
⑧	工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。																																																																	
⑨	工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない																																																																	
⑩	足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ◎本工事とする。																																																																	
11	残土処分	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。																																																																	
12	埋め戻し土・盛土	※根切土の中の良質土(但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・山砂の類																																																																	
13	再生砂・再生砕石・再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。																																																																	
14	発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 (構外搬出処理費は ※本工事 ・別途) (1) 引渡しを要するもの() (2) 買取処分をするもの() (3) 再生資源化を図るもの(・硬質塩化ビニル管 ・) (4) 特別管理産業廃棄物() ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。																																																																	
⑬	容量等の表示	(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。																																																																	
16	配管	(1) 地中埋設配管(排水管を除く) 1) 地中埋設機(コンクリート製) ※要(図示の箇所) ・不要 2) 地中埋設機(キャットアイ) ※要(舗装部の分岐、曲部) ・不要 3) 埋設表示テープ(2倍折込み) ※要 ・不要																																																																	
⑰	耐震施工	設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により行う。 ただし、設計用地震力(水平及び鉛直)は次の設計用水平地震力K _h 及び設計用鉛直地震力K _v (K _h /2)を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。																																																																	
設計用水平地震		<table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">上層階</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(1.5)</td></tr><tr><td rowspan="2">屋上及び塔屋</td><td><2.0></td><td><1.5></td><td><1.5></td><td>1.0</td></tr><tr><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="2">中間階</td><td>(1.5)</td><td>(1.5)</td><td>(1.5)</td><td>(1.0)</td></tr><tr><td><1.5></td><td><1.0></td><td><1.0></td><td><0.6></td></tr><tr><td rowspan="2">1階及び地下階</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(0.6)</td></tr><tr><td></td><td><1.5></td><td><1.0></td><td><1.0></td><td><0.6></td></tr></tbody></table> <p>(注) () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 < > 内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの(平屋建の場合は無し) 重要機器は次のものを示す。</p> <table border="1"><thead><tr><th>給水装置</th><th>排水装置</th><th>換気機器</th><th>空調機器</th><th>熱源機器</th></tr></thead><tbody><tr><td>防災設備</td><td>監視制御設備</td><td>危険物貯蔵装置</td><td></td><td></td></tr><tr><td>火を使用する設備</td><td></td><td>避難経路上に設置する機器</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	設置場所	耐震安全性の分類				重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	2.0	1.5	1.5	1.0	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)	屋上及び塔屋	<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0	1.5	1.0	1.0	0.6	中間階	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>	1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)		<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>	給水装置	排水装置	換気機器	空調機器	熱源機器	防災設備	監視制御設備	危険物貯蔵装置			火を使用する設備		避難経路上に設置する機器		
設置場所	耐震安全性の分類																																																																		
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																															
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0																																																															
	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)																																																															
屋上及び塔屋	<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0																																																															
	1.5	1.0	1.0	0.6																																																															
中間階	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)																																																															
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>																																																															
1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4																																																															
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)																																																															
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>																																																															
給水装置	排水装置	換気機器	空調機器	熱源機器																																																															
防災設備	監視制御設備	危険物貯蔵装置																																																																	
火を使用する設備		避難経路上に設置する機器																																																																	
⑱	あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、(一社)日本建築業あと施工アンカー協会に資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。) あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。																																																																	

18	防露保温工事	標準仕様書第2編によるほか下記による。 空気調和設備工事の保温の種類 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">ドレン管</td><td>屋内露出(一般居室、廊下)</td><td>a1・(ハ)・Ⅶ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(ハ)・Ⅶ</td></tr><tr><td>天井内、PS内及び空隙壁中 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td><td>c2・(ロ)・Ⅶ e3・(ハ)・Ⅶ</td></tr><tr><td rowspan="3">蒸気管</td><td>屋内露出(一般居室、廊下)</td><td>A1・(イ)・Ⅱ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(イ)・Ⅱ</td></tr><tr><td>天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)</td><td>C2・(ロ)・Ⅱ D・(ロ)・Ⅱ</td></tr><tr><td rowspan="3">冷水・冷温水管(膨張管、空気抜き管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)</td><td>屋内露出(一般居室、廊下)</td><td>A1・(ハ)・Ⅲ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(ハ)・Ⅲ</td></tr><tr><td>天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)</td><td>C1・(イ)・Ⅲ D・(ハ)・Ⅲ</td></tr><tr><td rowspan="3">温水管(膨張管を含む。)</td><td>屋内露出(一般居室、廊下)</td><td>A1・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)</td><td>C2・(ロ)・Ⅰ D・(ロ)・Ⅰ</td></tr><tr><td rowspan="3">排水管(厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。))</td><td>屋内露出(一般居室、廊下)</td><td>A1・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)</td><td>C2・(ロ)・Ⅰ D・(ロ)・Ⅰ</td></tr></tbody></table> <p>(注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆鋼管を使用し、外装は下記による。 屋内露出部 ※保温化粧カバー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製) 屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング ・保温化粧カバー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)</p> <p>2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。 3. 機器類の保温材の種類は、(※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材)とする。</p> <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">長方形ダクト</td><td>屋内露出(一般居室、廊下)</td><td>J1・(イ)・X1</td></tr><tr><td>屋内露出(機械室、書庫、倉庫)</td><td>I・(イ)・X1</td></tr><tr><td>屋内隠ぺい、DS内</td><td>I・(ロ)・X1</td></tr><tr><td rowspan="3">円形ダクト</td><td>屋内露出(一般居室、廊下)</td><td>O1・(イ)・X1</td></tr><tr><td>屋内露出(機械室、書庫、倉庫)</td><td>N・(イ)・X1</td></tr><tr><td>屋内隠ぺい、DS内</td><td>N・(ロ)・X1</td></tr><tr><td rowspan="3">消音内貼り</td><td>屋内露出(バルコニー、開放廊下を含む。)</td><td>P3・(イ)・X1</td></tr><tr><td>及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td><td></td></tr><tr><td>サブライチャンバー 消音チャンバー・消音エルボ</td><td>M・(ロ)・IX L・(ロ)・Ⅸ</td></tr></tbody></table> <p>給排水衛生設備工事の保温の種類 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">給水管</td><td>屋内露出(一般居室、廊下)</td><td>a1・(ハ)・Ⅶ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(ハ)・Ⅶ</td></tr><tr><td>天井内 PS内及び空隙壁中 県営住宅PS内 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td><td>c2・(ロ)・Ⅶ —</td></tr><tr><td rowspan="3">排水及び通気管</td><td>屋内露出(一般居室、廊下)</td><td>—</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>—</td></tr><tr><td>天井内 PS内及び空隙壁中 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td><td>c2・(ロ)・Ⅶ e3・(ハ)・Ⅶ</td></tr><tr><td rowspan="3">給湯管(膨張管、空気抜き管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)</td><td>屋内露出(一般居室、廊下)</td><td>a1・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(イ)・Ⅰ</td></tr><tr><td>天井内 PS内及び空隙壁中 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)</td><td>c2・(ロ)・Ⅰ d・(ロ)・Ⅰ</td></tr></tbody></table><p>(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかきり部には塗装を施す。 2. 排水管の管理が耐火二層管、耐火V.Pの場合は、保温を要しない。 3. 施工種別bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。 4. 機器類の保温材の種類は、(※グラスウール ・ロックウール)とする。 5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・Ⅶとする。 6. 便所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。 7. 空調設備を要する便所(特別支援学校等)以外の便所を高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によらず保温を要しない。 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放放量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。</p><p>19 防凍保温</p><p>・屋外露出給水管(呼び径20以下のみ)は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。 ※図示の屋外露出部(給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。)は下記仕様により防凍保温を行う。 ※保温仕様は保温厚を呼び径32以下は50mm、呼び径40以上は40mmとする。 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。</p><p>20 塗装</p><p>下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ※機械室、書庫、倉庫 ・ 下記の金属電線管は塗装を行う。 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出(※見えかきり部)</p><p>21 電線</p><p>特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。</p><p>22 はつり及びあと施工アンカー打設</p><p>既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。</p></p>	区分	施工箇所	保温種別	ドレン管	屋内露出(一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ	天井内、PS内及び空隙壁中 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	c2・(ロ)・Ⅶ e3・(ハ)・Ⅶ	蒸気管	屋内露出(一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅱ	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅱ	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	C2・(ロ)・Ⅱ D・(ロ)・Ⅱ	冷水・冷温水管(膨張管、空気抜き管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	A1・(ハ)・Ⅲ	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅲ	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	C1・(イ)・Ⅲ D・(ハ)・Ⅲ	温水管(膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	C2・(ロ)・Ⅰ D・(ロ)・Ⅰ	排水管(厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。))	屋内露出(一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	C2・(ロ)・Ⅰ D・(ロ)・Ⅰ	区分	施工箇所	保温種別	長方形ダクト	屋内露出(一般居室、廊下)	J1・(イ)・X1	屋内露出(機械室、書庫、倉庫)	I・(イ)・X1	屋内隠ぺい、DS内	I・(ロ)・X1	円形ダクト	屋内露出(一般居室、廊下)	O1・(イ)・X1	屋内露出(機械室、書庫、倉庫)	N・(イ)・X1	屋内隠ぺい、DS内	N・(ロ)・X1	消音内貼り	屋内露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	P3・(イ)・X1	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)		サブライチャンバー 消音チャンバー・消音エルボ	M・(ロ)・IX L・(ロ)・Ⅸ	区分	施工箇所	保温種別	給水管	屋内露出(一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ	天井内 PS内及び空隙壁中 県営住宅PS内 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	c2・(ロ)・Ⅶ —	排水及び通気管	屋内露出(一般居室、廊下)	—	機械室、書庫、倉庫	—	天井内 PS内及び空隙壁中 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	c2・(ロ)・Ⅶ e3・(ハ)・Ⅶ	給湯管(膨張管、空気抜き管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ	天井内 PS内及び空隙壁中 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	c2・(ロ)・Ⅰ d・(ロ)・Ⅰ
区分	施工箇所	保温種別																																																																																						
ドレン管	屋内露出(一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ																																																																																						
	天井内、PS内及び空隙壁中 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	c2・(ロ)・Ⅶ e3・(ハ)・Ⅶ																																																																																						
蒸気管	屋内露出(一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅱ																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅱ																																																																																						
	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	C2・(ロ)・Ⅱ D・(ロ)・Ⅱ																																																																																						
冷水・冷温水管(膨張管、空気抜き管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	A1・(ハ)・Ⅲ																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅲ																																																																																						
	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	C1・(イ)・Ⅲ D・(ハ)・Ⅲ																																																																																						
温水管(膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ																																																																																						
	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	C2・(ロ)・Ⅰ D・(ロ)・Ⅰ																																																																																						
排水管(厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。))	屋内露出(一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ																																																																																						
	天井内、PS内及び空隙壁中 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。) 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	C2・(ロ)・Ⅰ D・(ロ)・Ⅰ																																																																																						
区分	施工箇所	保温種別																																																																																						
長方形ダクト	屋内露出(一般居室、廊下)	J1・(イ)・X1																																																																																						
	屋内露出(機械室、書庫、倉庫)	I・(イ)・X1																																																																																						
	屋内隠ぺい、DS内	I・(ロ)・X1																																																																																						
円形ダクト	屋内露出(一般居室、廊下)	O1・(イ)・X1																																																																																						
	屋内露出(機械室、書庫、倉庫)	N・(イ)・X1																																																																																						
	屋内隠ぺい、DS内	N・(ロ)・X1																																																																																						
消音内貼り	屋内露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	P3・(イ)・X1																																																																																						
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)																																																																																							
	サブライチャンバー 消音チャンバー・消音エルボ	M・(ロ)・IX L・(ロ)・Ⅸ																																																																																						
区分	施工箇所	保温種別																																																																																						
給水管	屋内露出(一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ																																																																																						
	天井内 PS内及び空隙壁中 県営住宅PS内 床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	c2・(ロ)・Ⅶ —																																																																																						
排水及び通気管	屋内露出(一般居室、廊下)	—																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫	—																																																																																						
	天井内 PS内及び空隙壁中 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	c2・(ロ)・Ⅶ e3・(ハ)・Ⅶ																																																																																						
給湯管(膨張管、空気抜き管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ																																																																																						
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ																																																																																						
	天井内 PS内及び空隙壁中 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	c2・(ロ)・Ⅰ d・(ロ)・Ⅰ																																																																																						
23	管の埋設深さ	(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 (2) 構内車両道路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。 (3) その他の場所では、地表面(舗装する部分では路盤材下面)から管の上端まで300mmとする。																																																																																						
24	既設管分岐・接続	既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。																																																																																						
25	絶縁継手の設置・種別	※コンクリートの建築物に入り入りする箇所の付近の露出部配管 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以外は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ																																																																																						
26	天井仕上げ区分	() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。																																																																																						
27	他工事との取合区分	スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさを明示し、監督員と打合わせる。																																																																																						
⑳	施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。																																																																																						
㉑	保険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている積立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。																																																																																						
㉒	配管識別	配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。																																																																																						
㉓	遮断制止用器具(フルハーネス型)	※使用を要する 遮断制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け発第0622第2号)による ・使用を要しない																																																																																						
32	誘導電動機	三相誘導電動機はJIS C 4 2 1 3 (IE3) トップランナーモーターとする。																																																																																						
33	完成図書の子納品	完成図書の電子納品運用ガイドライン ※適用する ・適用しない 完成図書の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等)を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A1二つ折り1部及びA3二つ折り3部とする。																																																																																						
㉔	その他	工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又は、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。																																																																																						
①	共通事項	改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。																																																																																						
②	改修部分の足場	本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場 ※ 脚立足場 ・ 枠組足場 ・ (2) 外部足場 ※ A種(枠組足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び噴木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の(2)の手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行うものとする。																																																																																						
③	既存部分養生・既存家具等養生	(1) 関係受注業者と共用部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ◎本工事で負担とする。(種別は(2)による。)																																																																																						
④	備品等の移動	(2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※ビニールシート ・ 合板 ・ ・別途工事 ・ 本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事																																																																																						
5	仮設間仕切り	(1) 関係係負業者と共用部分 ※別契約の関係係負業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)																																																																																						
6	撤去後機材の扱い	(2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ※A種 単管下地全面シート張り																																																																																						
7	支持金物の再使用	(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。 (2) 撤去後再使用する指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。																																																																																						
⑤	あと施工アンカーの種類	(1) インサート金物 ・ インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品 (2) 形鋼支持金物等 ・ 再使用できる ※新品																																																																																						
9	フロン回収	金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。																																																																																						
⑩	総合調整	金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。																																																																																						
11	既設基礎等の解体はつり	冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊プラント搬入 ・ フロン再生後引き渡し ・ 未再生引き渡し 「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき処理すること。 ・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整																																																																																						
12	アスベスト事前調査結果の報告	建設機械は、原則として、排ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。 現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。																																																																																						
13	その他	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。																																																																																						

<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>⑬ 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針に掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 耐火二層炭素鋼管又は耐火VFP ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注1) 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。 (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (2) ビストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VFP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用隠蔽部ダクト 仕様はN・（ロ）・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）</p>	<p>12 振音装置</p> <p>13 その他</p>	<p>1 配管材料</p> <p>配管材料は、※下記 ・ 図面指示（図面指示が不足する箇所は下記）による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管種別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（水道直結部分）</td> <td>※H1VP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>異層住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シnder内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWIA G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部（・圧縮 ※グアブ以 ・ 拡管）便所 ・ 廊下流し廻り露出配管（※拡管）とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（PE100）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p> <p>2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水栓 ※給湯用栓を除き大きさは呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・ 水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐凍水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量水器 ※観メーター（※買品 ・ ） ・ 子メーター（※買取り ・ ）</p> <p>5 量水器機 ※水道事業者指定品 ・ 標準図M C形</p> <p>6 弁類 規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水栓柱 ・ 防寒コンクリート水栓柱（1200L） ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施工4（ ・ （a） ・ （b） ・ （c））</p> <p>9 検計方法 水道事業者の集住宅に関する戸別検計規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金 水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。</p> <p>11 本管取出し 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	施工箇所	管種別	床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部（水道直結部分）	※H1VP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）	地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）	異層住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）	便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）	便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	<p>2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・ 満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用 別紙樹表による。</p>																																																																	
施工箇所	管種別																																																																																																											
床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																																																																																											
地中埋設部（水道直結部分）	※H1VP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）																																																																																																											
地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）																																																																																																											
異層住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）																																																																																																											
便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																																																																																											
便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																																																																																											
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																																											
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																																																																																											
地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）																																																																																																											
便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																																																																																											
便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																																																																																											
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																																											
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
<p>① 設計温湿度</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">一 般 系 統</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>50%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>40%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>		外 気		一 般 系 統				屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	50%	℃	%	℃	%	℃	%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	40%	℃	%	℃	%	℃	%	<p>② 総合試運転調整</p> <p>※本工事 ・ 別途</p> <p>風量調整 ※する ・ しない</p> <p>水量調整 ※する ・ しない</p> <p>騒音の測定 ※する ・ しない</p> <p>室内外空気の温湿度の測定 ※する ・ しない</p> <p>室内気流及びじんあいの測定 ・ する ※しない</p> <p>初期運転状態の記録 ※する ・ しない</p> <p>工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・ しない</p>	<p>● 換気設備</p> <p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 耐火二層炭素鋼管又は耐火VFP ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注1) 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (2) ビストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VFP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用隠蔽部ダクト 仕様はN・（ロ）・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>配管材料は、※下記 ・ 図面指示（図面指示が不足する箇所は下記）による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管種別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（水道直結部分）</td> <td>※H1VP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>異層住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シnder内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWIA G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部（・圧縮 ※グアブ以 ・ 拡管）便所 ・ 廊下流し廻り露出配管（※拡管）とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（PE100）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p> <p>2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水栓 ※給湯用栓を除き大きさは呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・ 水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐凍水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量水器 ※観メーター（※買品 ・ ） ・ 子メーター（※買取り ・ ）</p> <p>5 量水器機 ※水道事業者指定品 ・ 標準図M C形</p> <p>6 弁類 規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水栓柱 ・ 防寒コンクリート水栓柱（1200L） ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施工4（ ・ （a） ・ （b） ・ （c））</p> <p>9 検計方法 水道事業者の集住宅に関する戸別検計規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金 水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。</p> <p>11 本管取出し 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	施工箇所	管種別	床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部（水道直結部分）	※H1VP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）	地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）	異層住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）	便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）	便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	<p>○ 排水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>配管材料は、※下記 ・ 図面指示（図面指示が不足する箇所は下記）による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管種別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）</td> <td>※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の湿排水</td> <td>※SGP（白） ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）</td> <td>※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ 排水用/ハルホ球 形塗装鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管（ゴム輪接合） ・ REP-VU（軽重量の場合） ・ RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVFP又はRF-VFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルVFP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VFP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は排水配管の材料種別による。 3. 原則として排水配管、汚水配管の管接合部はY4.5度で行う。</p>	施工箇所	管種別	床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP	厨房等の湿排水	※SGP（白） ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）	その他の部分	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ 排水用/ハルホ球 形塗装鋼管	その他の部分	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管（ゴム輪接合） ・ REP-VU（軽重量の場合） ・ RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）	その他の部分	※リサイクルVFP又はRF-VFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>○ 給湯設備</p> <p>1 配管材料 ・ 露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管（M鋼管） ・ 一般配管用ステンレス鋼管 ・ ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）</p> <p>2 絶縁フランジ 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁類 (1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器 ※屋外設置の潜熱回収型 ・ PS扉内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器 飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p>
		外 気		一 般 系 統				屋 内																																																																																																				
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																																																		
夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	50%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																		
冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	40%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																		
施工箇所	管種別																																																																																																											
床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																																																																																											
地中埋設部（水道直結部分）	※H1VP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）																																																																																																											
地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）																																																																																																											
異層住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）																																																																																																											
便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																																																																																											
便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																																																																																											
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																																											
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
湿潤シnder内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																																																																																											
地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水ポリエチレン管（PE）																																																																																																											
便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																																																																																											
便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																																																																																											
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																																											
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																																																											
施工箇所	管種別																																																																																																											
床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP																																																																																																											
厨房等の湿排水	※SGP（白） ・																																																																																																											
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）																																																																																																											
その他の部分	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																											
床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP																																																																																																											
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ 排水用/ハルホ球 形塗装鋼管																																																																																																											
その他の部分	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																											
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管（ゴム輪接合） ・ REP-VU（軽重量の場合） ・ RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP																																																																																																											
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）																																																																																																											
その他の部分	※リサイクルVFP又はRF-VFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																											
<p>3 煙道 (1) 鉄板厚（※3.2mm ・ 4.5mm） (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・ 設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は80φとする） ・ 設けない</p> <p>4 煙突 ※別途 ・ 本工事</p> <p>5 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>6 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 換気用耐火二層管（大径認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空調機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス ※亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製</p> <p>10 ダンパー (1) 防塵ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p>	<p>○ 換気設備</p> <p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 換気用耐火二層管（大径認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空調機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (2) ビストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VFP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用隠蔽部ダクト 仕様はN・（ロ）・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）</p>	<p>○ 換気設備</p> <p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 換気用耐火二層管（大径認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空調機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (2) ビストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VFP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用隠蔽部ダクト 仕様はN・（ロ）・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水栓 ※給湯用栓を除き大きさは呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・ 水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐凍水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量水器 ※観メーター（※買品 ・ ） ・ 子メーター（※買取り ・ ）</p> <p>5 量水器機 ※水道事業者指定品 ・ 標準図M C形</p> <p>6 弁類 規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水栓柱 ・ 防寒コンクリート水栓柱（1200L） ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施工4（ ・ （a） ・ （b） ・ （c））</p> <p>9 検計方法 水道事業者の集住宅に関する戸別検計規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金 水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。</p> <p>11 本管取出し 水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	<p>○ 排水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>配管材料は、※下記 ・ 図面指示（図面指示が不足する箇所は下記）による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管種別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）</td> <td>※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の湿排水</td> <td>※SGP（白） ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）</td> <td>※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ 排水用/ハルホ球 形塗装鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管（ゴム輪接合） ・ REP-VU（軽重量の場合） ・ RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVFP又はRF-VFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルVFP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VFP、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は排水配管の材料種別による。 3. 原則として排水配管、汚水配管の管接合部はY4.5度で行う。</p>	施工箇所	管種別	床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP	厨房等の湿排水	※SGP（白） ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）	その他の部分	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ 排水用/ハルホ球 形塗装鋼管	その他の部分	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管（ゴム輪接合） ・ REP-VU（軽重量の場合） ・ RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）	その他の部分	※リサイクルVFP又はRF-VFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>○ 給湯設備</p> <p>1 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP（白） ・ STPG370（白） Sch40 地中埋設※SGP-VS ・ H1VP 消火用 一般配管※SGP（白） ・ STPG370（白） Sch40 地中埋設※SGP-VS ・ H1VP 不活性ガス消火用 ※STPG370（白） Sch40 ・ STPG370（白） Sch80</p> <p>2 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施工4（ ・ （a） ・ （b） ・ （c））</p>																																																																																	
施工箇所	管種別																																																																																																											
床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP																																																																																																											
厨房等の湿排水	※SGP（白） ・																																																																																																											
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）																																																																																																											
その他の部分	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																											
床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。）	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP																																																																																																											
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ 排水用/ハルホ球 形塗装鋼管																																																																																																											
その他の部分	※RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																											
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管（ゴム輪接合） ・ REP-VU（軽重量の場合） ・ RF-VFP又はリサイクルVFP ・ VP																																																																																																											
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VFP（FDPS-1）又は耐火VFP ・ SGP（白）																																																																																																											
その他の部分	※リサイクルVFP又はRF-VFP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																																											
<p>① 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・</p> <p>(3) フライング管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・</p> <p>(4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・ 10以上 液管 ・ 20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.5mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。</p> <p>(5) ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼管（白） ○硬質塩化ビニル管VFP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（ADN/ACI/IN/IA7 相当品） ・ 耐火二層管VFP（FDPS-1） ・ 配管用炭素鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管VFP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管（黒） ・</p> <p>運 管 ※圧力配管用炭素鋼管（黒） Sch40 ・ ステンレス鋼管</p> <p>(8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりポリマー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管（白） ・</p>	<p>○ 換気設備</p> <p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 換気用耐火二層管（大径認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空調機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (2) ビストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VFP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用隠蔽部ダクト 仕様はN・（ロ）・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）</p>	<p>○ 換気設備</p> <p>1 長方形ダクト ※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・ 高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・ 塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）</p> <p>2 円形ダクト ※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 換気用耐火二層管（大径認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注) 1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口 取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>4 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空調機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>5 ダンパー (2) ビストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）</p> <p>6 多湿箇所の排気ダクト (1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU）（防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VFP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保温 下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用隠蔽部ダクト 仕様はN・（ロ）・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽部ダクト（仕様はh・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>2 一体形タンク 一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水栓 ※給湯用栓を除き大きさは呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・ 水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐凍水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量水器 ※観メーター</p>																																																																																																									



案内図 N.S



配置図 1:600

◆ 凡例
 // 工事対象建物を示す

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/600	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	配置図・案内図	M-03

冷媒用保温付被覆銅管

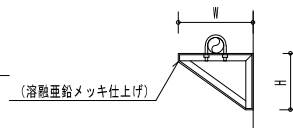
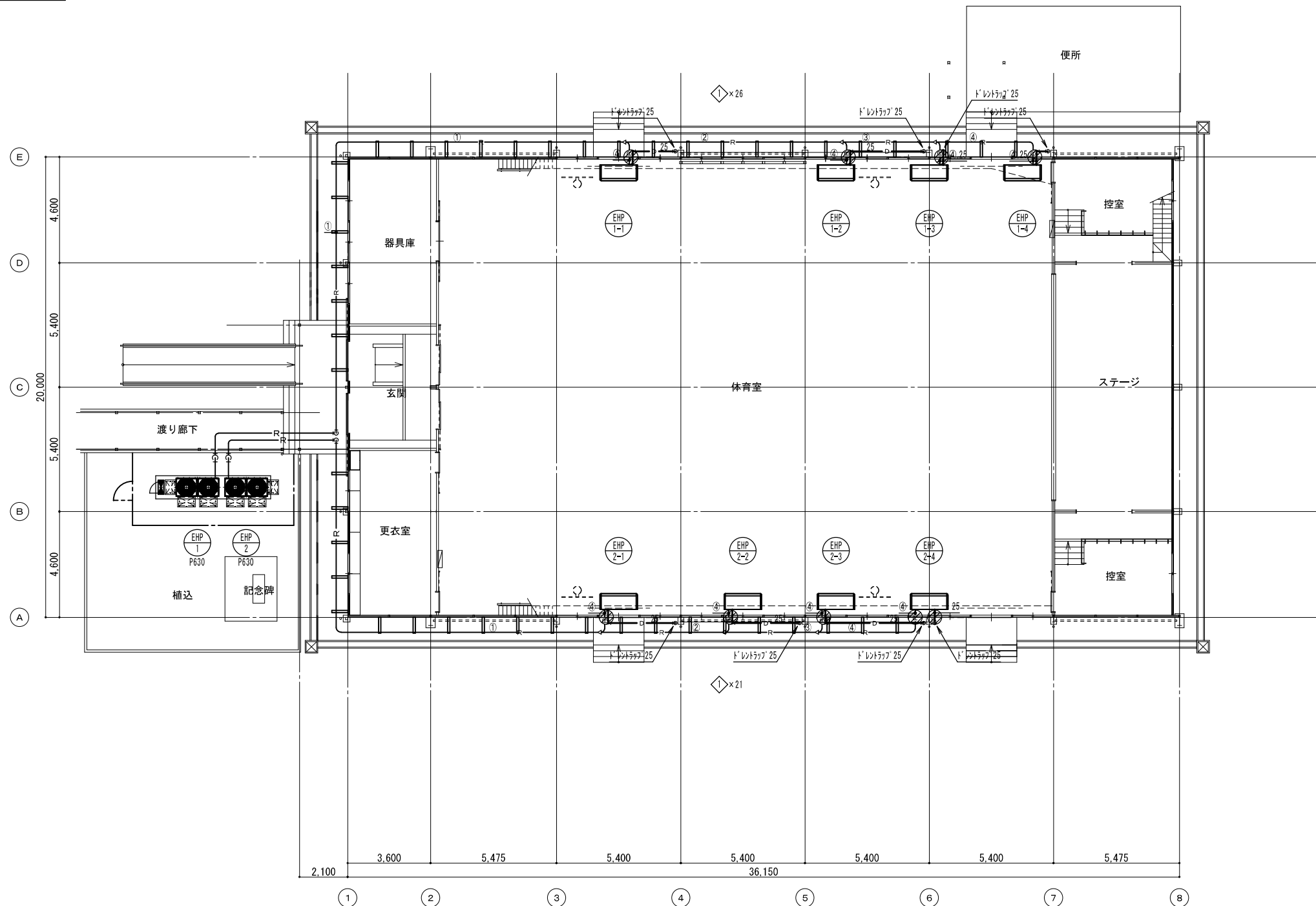
	ガス	液	番号線
①	28.58 φ	15.88 φ	CEES1.25-2C
②	25.4 φ	12.7 φ	CEES1.25-2C
③	22.2 φ	9.52 φ	CEES1.25-2C
④	15.88 φ	9.52 φ	CEES1.25-2C

◆特記事項

記載無きドレン管径は25Aとする
 記載無き冷媒管は屋外露出配管とする

◆凡例

① 壁掛けを示す



配管支持金物リスト

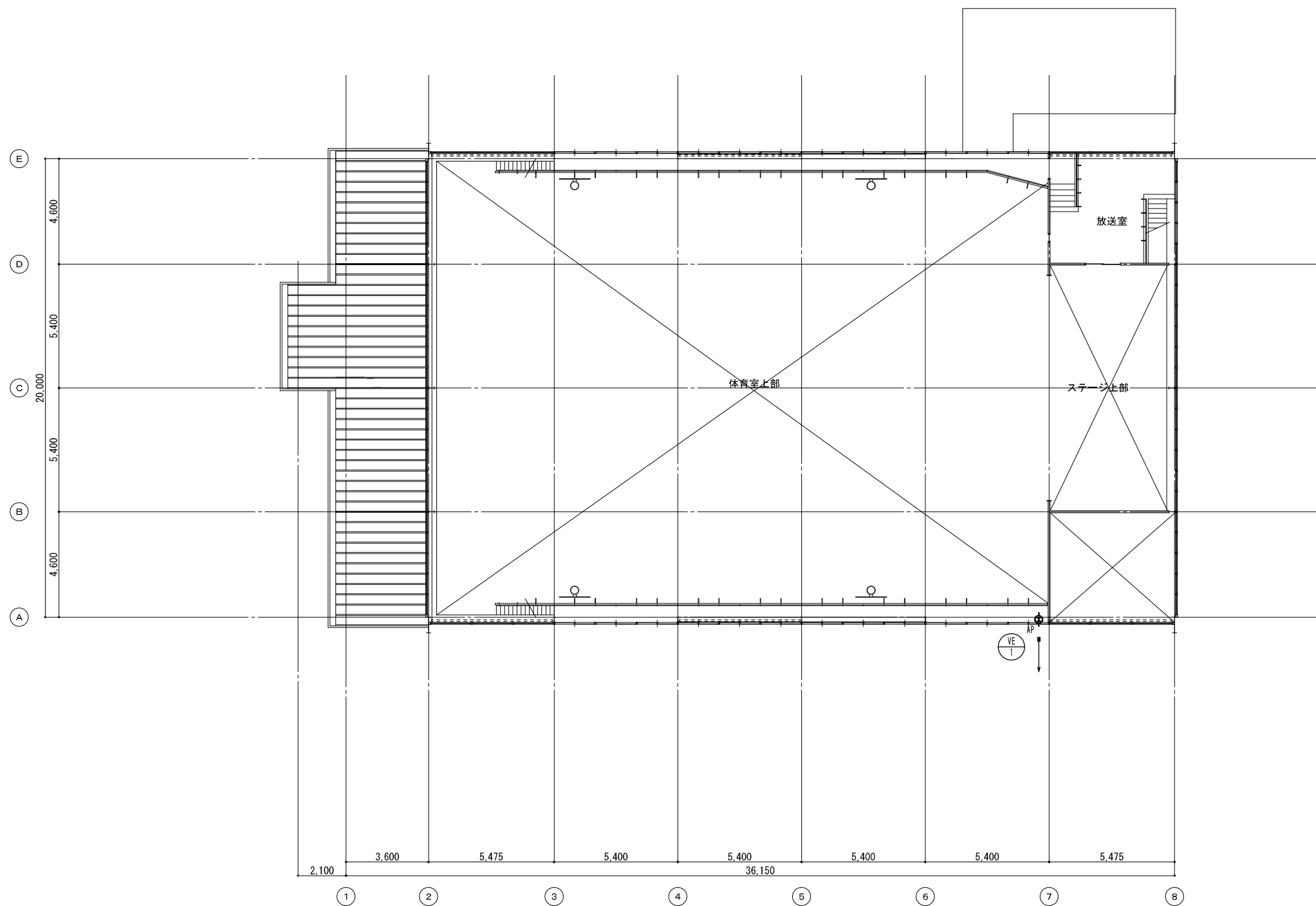
記号	W	H	個数	仕様
◇	700	300	47	L40-40-3 t
◇	900	300		L40-40-5 t
◇	1100	300		L40-40-6 t

※支持間隔は1.5mとする。

配管支持金物 N.S

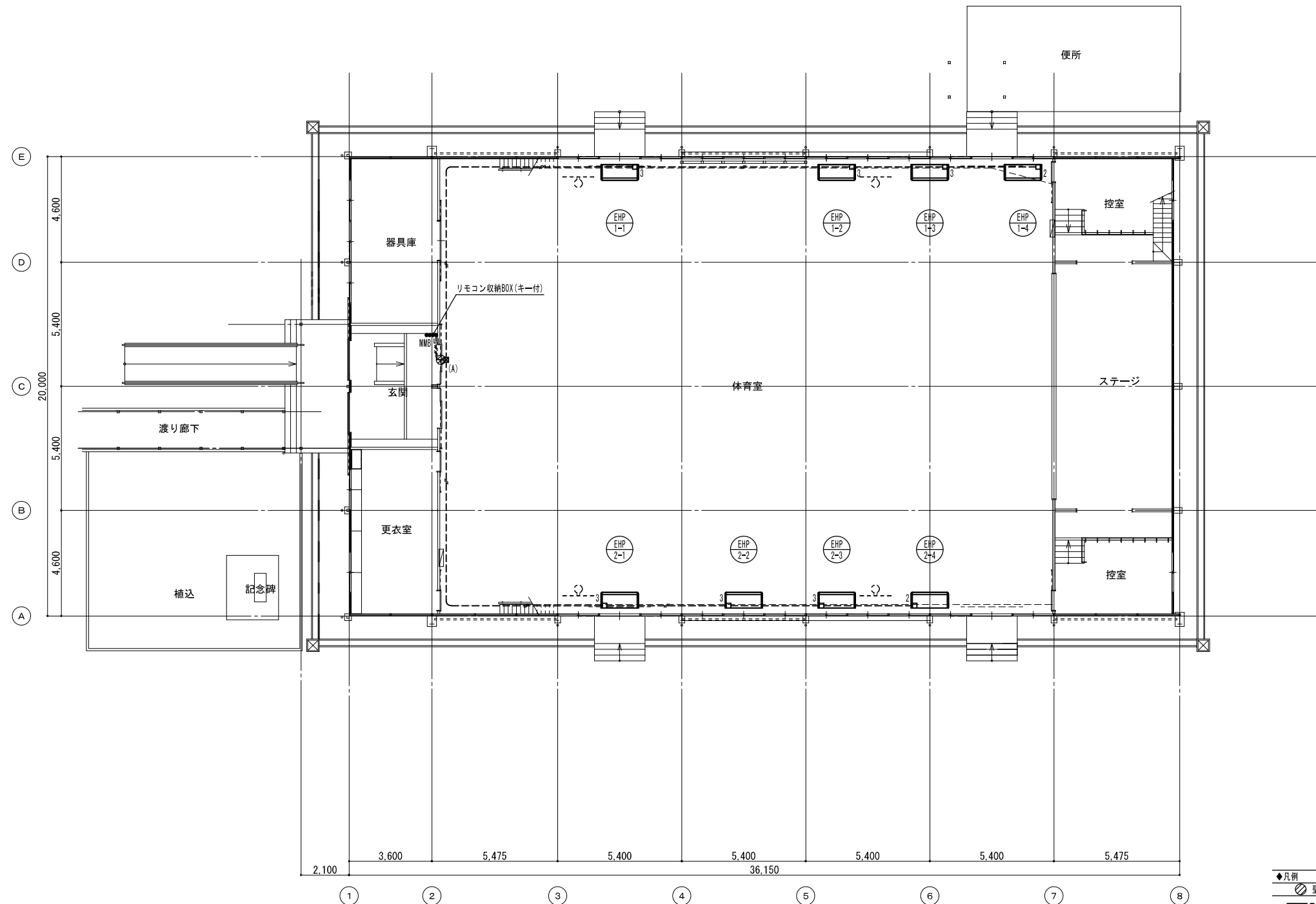
1 階平面図 S=1/150

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2: S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事 (大曾根小学校)	空調設備 1階平面図	M-05



2階平面図 S=1/150

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2: S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	換気設備 2階平面図	M-06

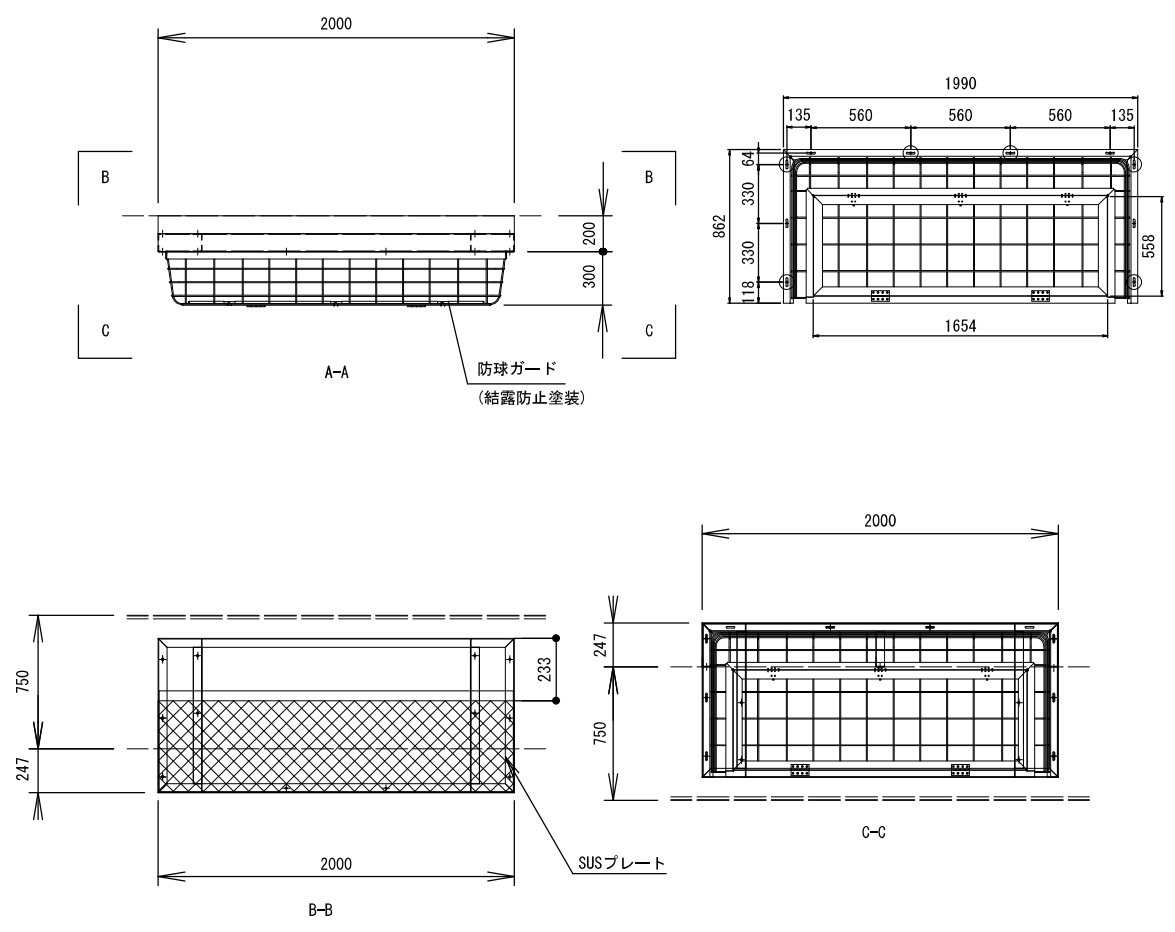


1 階平面図 S=1/150

- ◆凡例
- 壁37抜きを示す
 - 〇EES1.25-20×4 (30h²)
 - 〇EES1.25-20 (E19塗装)
 - - - 〇EES1.25-20×2 (E25塗装)
 - リモコン付×4面 (銅製露出BOX 鍵付)
 - 2 丸型露出ボックス 2方出
 - 3 丸型露出ボックス 3方出
 - ⊗ (A) PB200×200×200 (塗装)

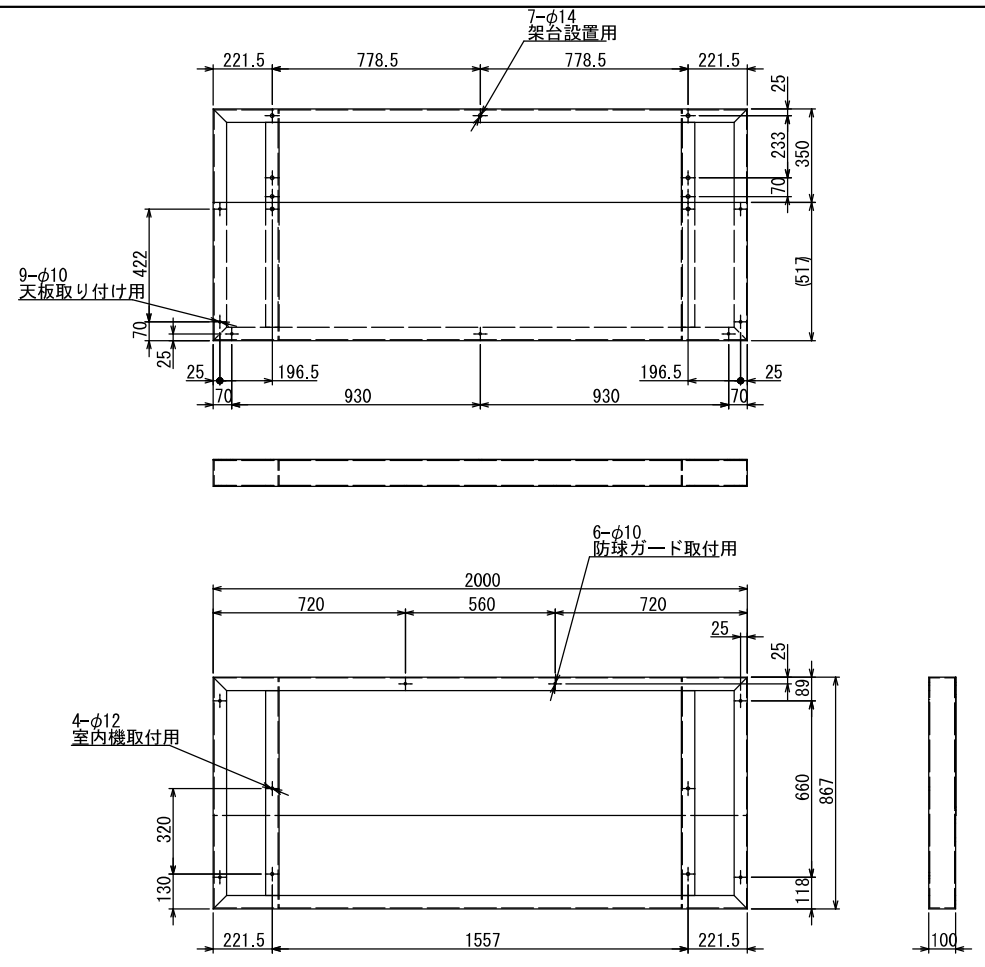
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2: S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事 (大曾根小学校)	計装設備 1階平面図	M-07

防球ガード参考図

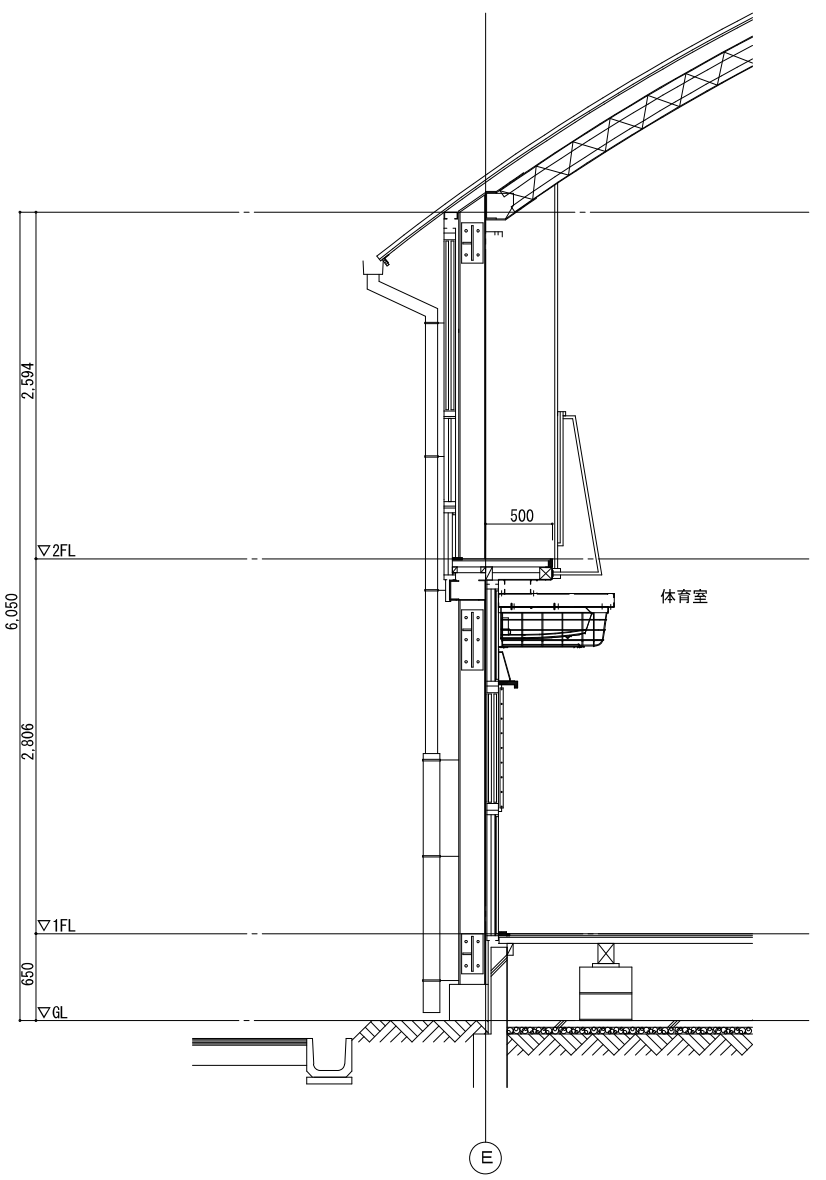


材質	SWM-B (鉄線)
	φ6
製品質量	約23.5(kg)
表面処理	ポリエステル粉体塗装 (塗装色:マンセル 2.5Y9/1半ツヤ)

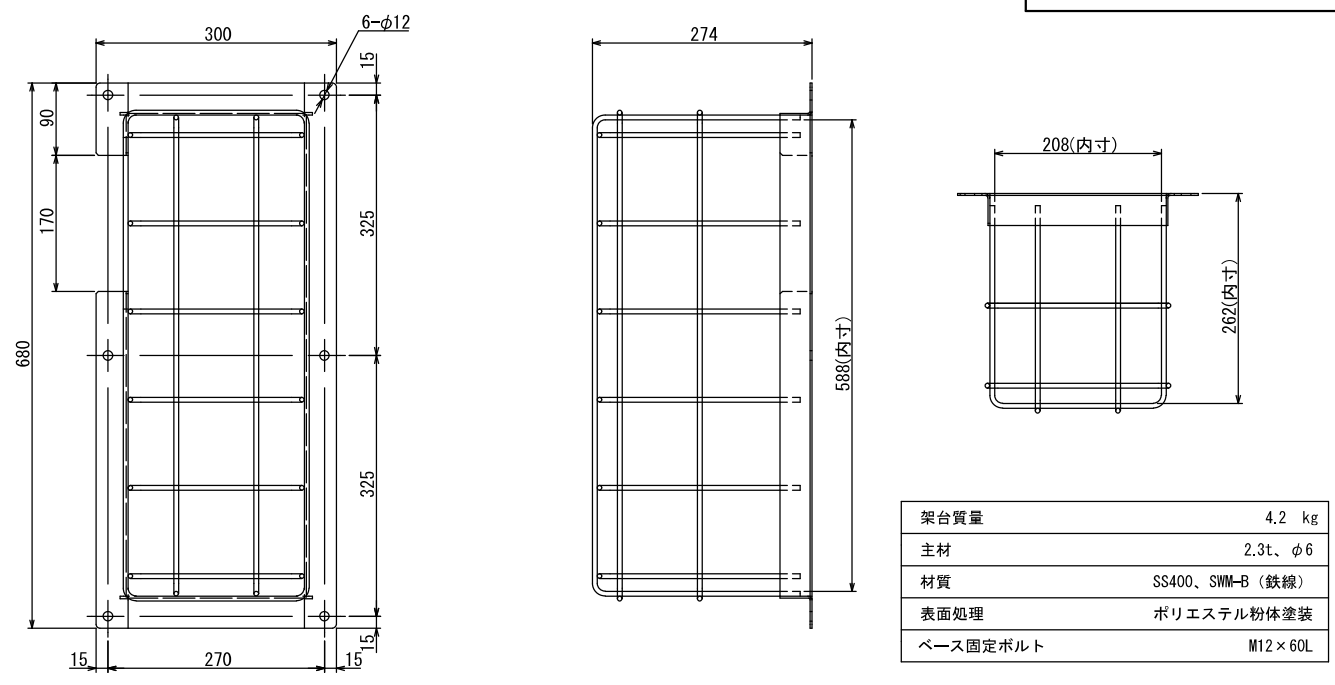
防球ガード架台参考図



仕様	
材質	SS400相当
主部材	[100 x 50 x t 2.3
製品質量	①:約31(kg)
表面処理	ポリエステル粉体塗装 (塗装色:マンセル 2.5Y9/1半ツヤ)
付属品	
室内機・架台取付けボルト	SUS304
M10 x 50L (2N,1W)	5組
防球ガード取付けボルト	SUS304
M8 x 40L (2N,2W)	7組
天板取付けボルト	
M8 x 25L (1W)	10組



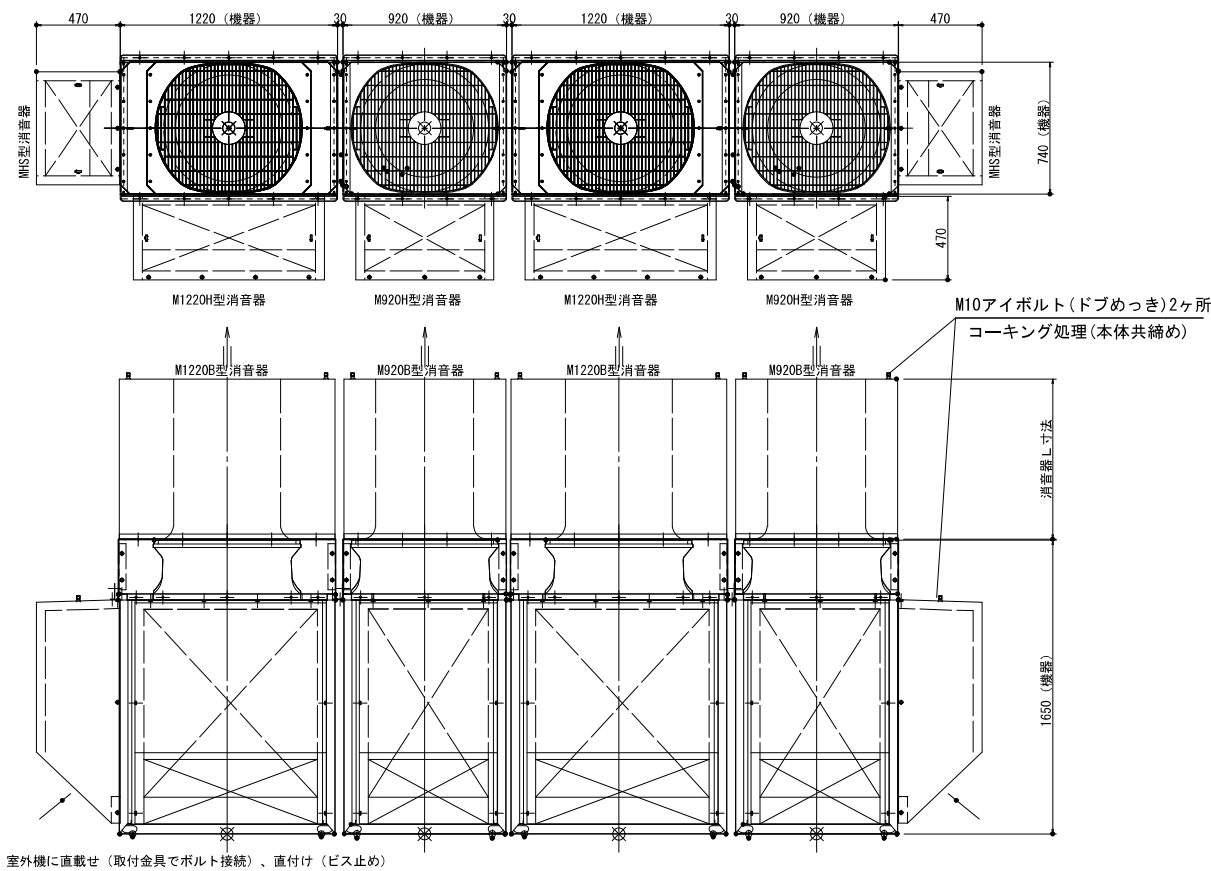
配管ガード参考図



摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/40	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	防球ガード詳細図	M-08

EHP
1

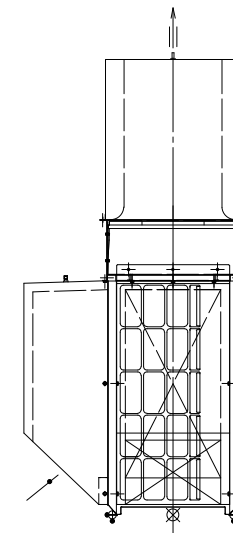
EHP
2



消音器重量 (架台含む)

MB型	900L
M920B	70kg
M1220B	87kg

MH型	
M920H	40kg
M1220H	50kg
MHS	35kg

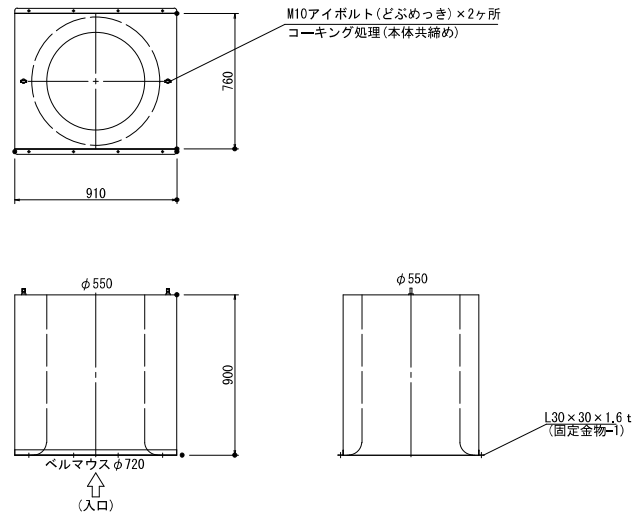


外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t	鋼材	-
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t	吊	図示
吸音材	撥水性グラスウール-50tx16k	付属品	ボルト・ナット・ワッシャー

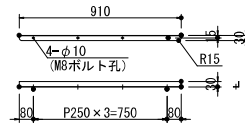
◆特記事項
 型番は参考とする

描 要	設計年月日	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号
		A2:S=1/30	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	屋外用消音器参考図-1	M-09

吐出消音器



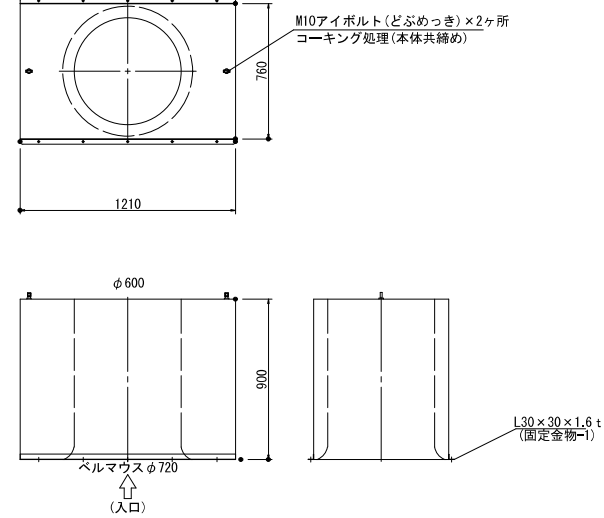
固定金物
(2本/1台)



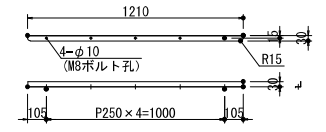
消音器本体に工場取り付け
※ウラ補強当て板設置

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx16k

吐出消音器



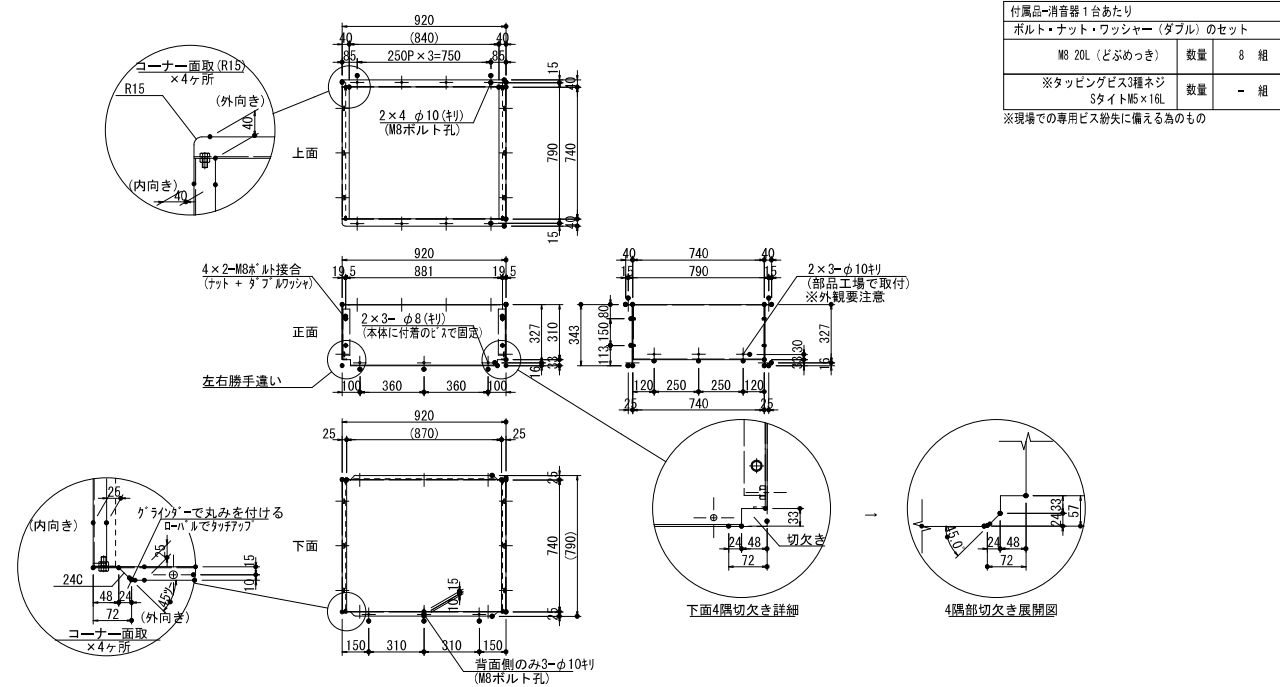
固定金物-1
(2本/1台)



消音器本体に工場取り付け
※ウラ補強当て板設置

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx16k

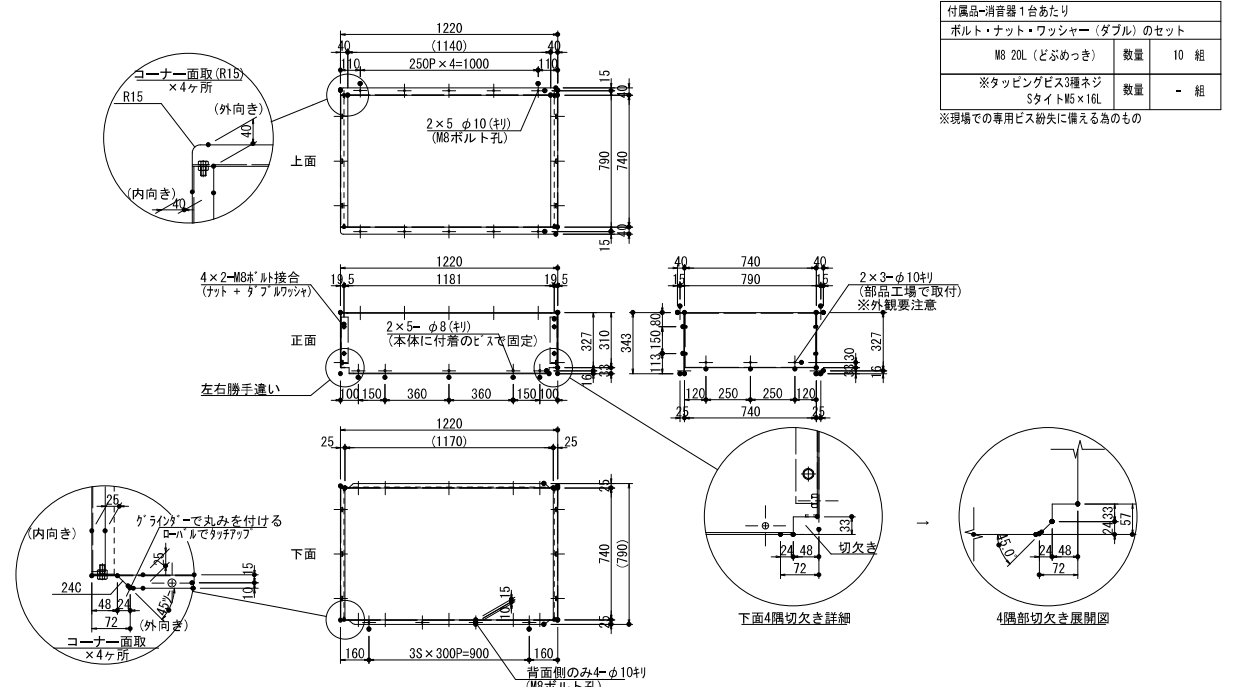
取付枠



取付用架台：高耐食性めっき鋼板(曲げ材) [-343×40×25×1.6t
[-310×40×25×1.6t] 各2枚/台

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx16k

取付枠

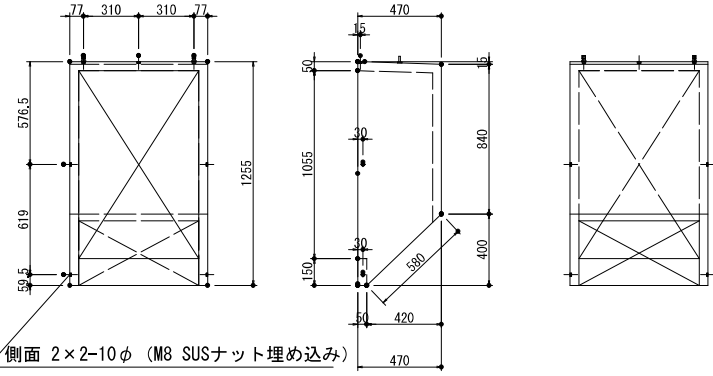
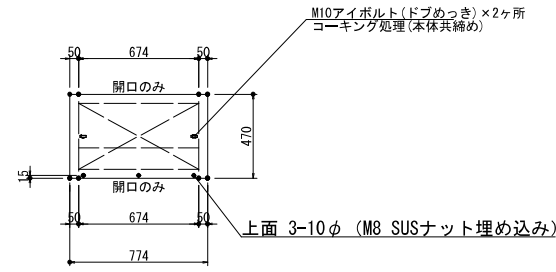


取付用架台：高耐食性めっき鋼板(曲げ材) [-343×40×25×1.6t
[-310×40×25×1.6t] 各2枚/台

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx16k

縮尺	A2:S=1/30	工事名称	小学校体育館空調設備設置工事(大曽根小学校)	図名	屋外機用消音器参考図-2	図面番号	M-10
----	-----------	------	------------------------	----	--------------	------	------

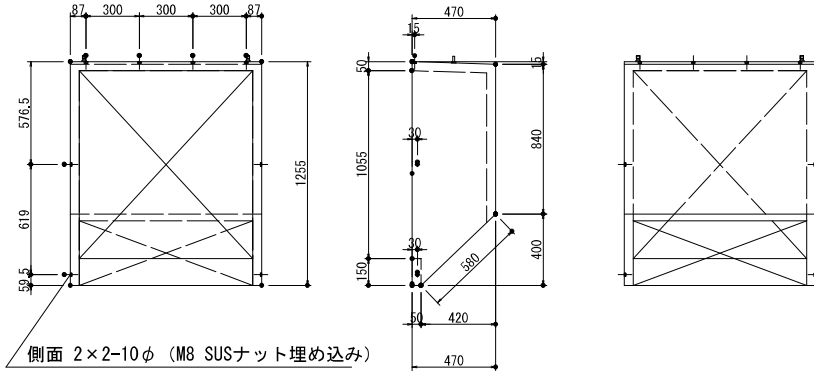
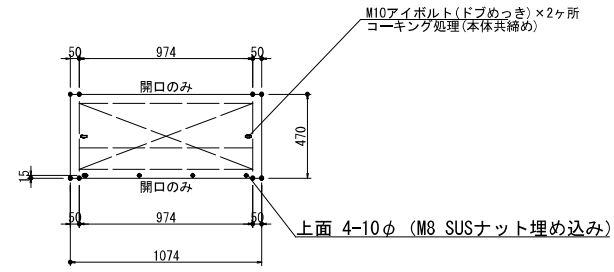
吸込消音器



付属品-消音器1台あたり			
ボルト・ナット・ワッシャー(ダブル)のセット			
M8 20L (SUS)	数量	7 組	
ドリルスクリュー HEX-5×16S (SUS410)	数量	4 本	

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx16k

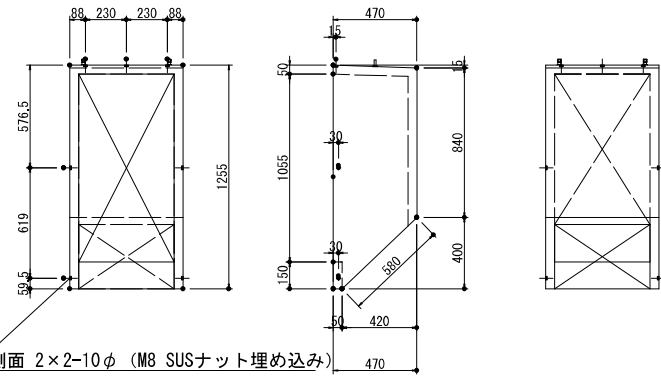
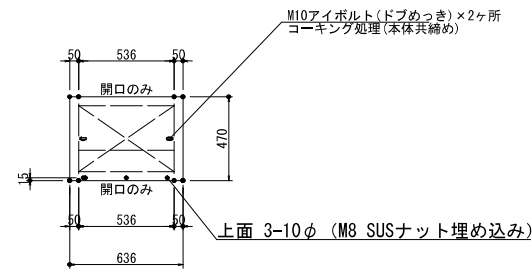
吸込消音器



付属品-消音器1台あたり			
ボルト・ナット・ワッシャー(ダブル)のセット			
M8 20L (SUS)	数量	8 組	
ドリルスクリュー HEX-5×16S (SUS410)	数量	4 本	

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx16k

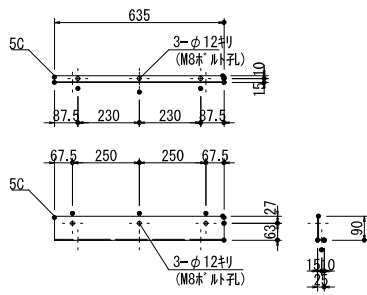
吸込消音器



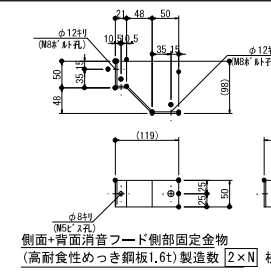
付属品-消音器1台あたり			
ボルト・ナット・ワッシャー(ダブル)のセット			
M8 20L (SUS)	数量	10 組	
ドリルスクリュー HEX-5×16S (SUS410)	数量	4 本	

外板	高耐食性めっき鋼板-0.8t
内面	高耐食性めっき鋼板パンチング-0.6t
吸音材	撥水性グラスウール-50tx16k

概要		設計年月日	



側面消音フード上部固定金物
(高耐食性めっき鋼板1.6t) 製造数 N 枚

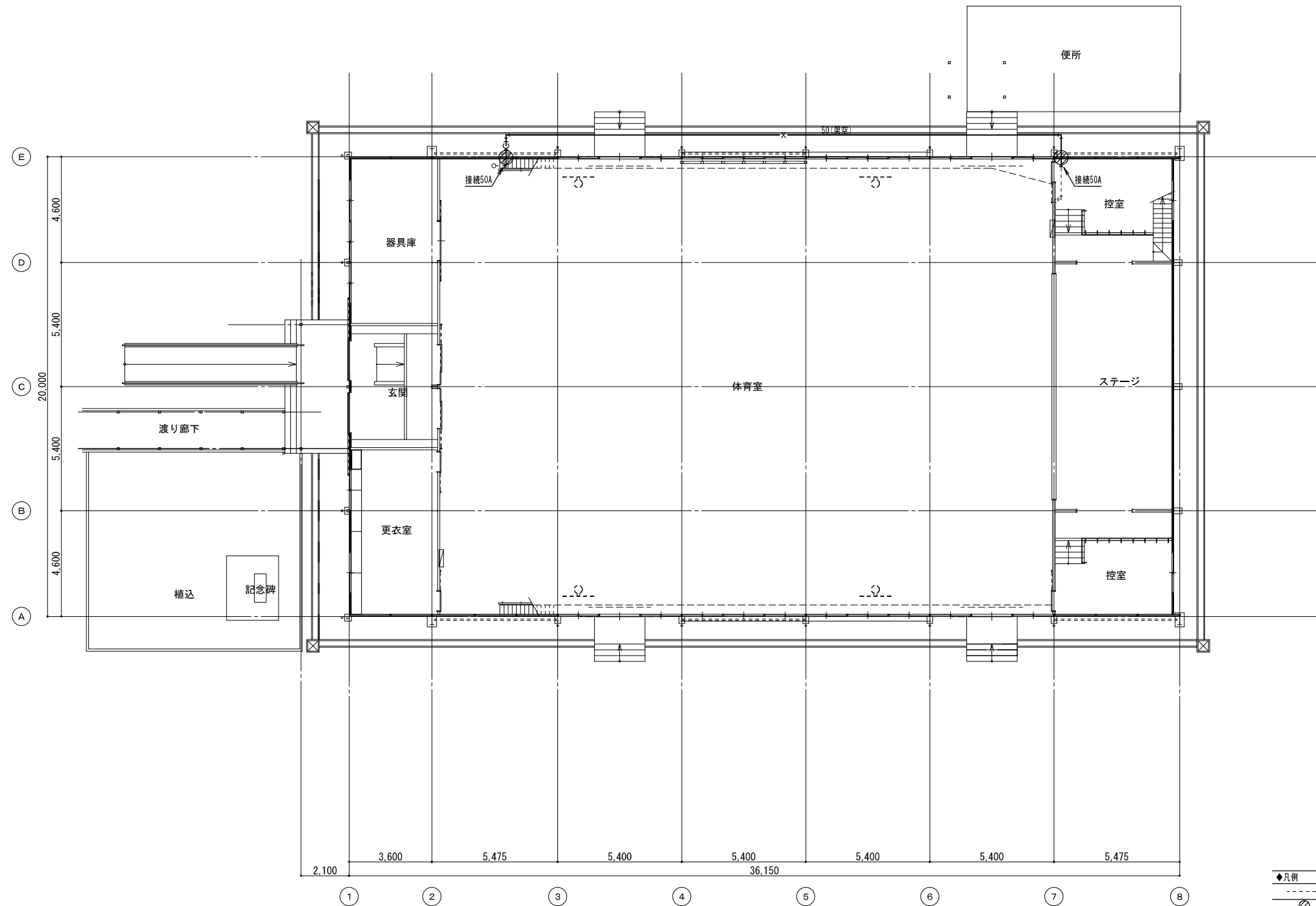


側面・背面消音フード側部固定金物
(高耐食性めっき鋼板1.6t) 製造数 2×N 枚

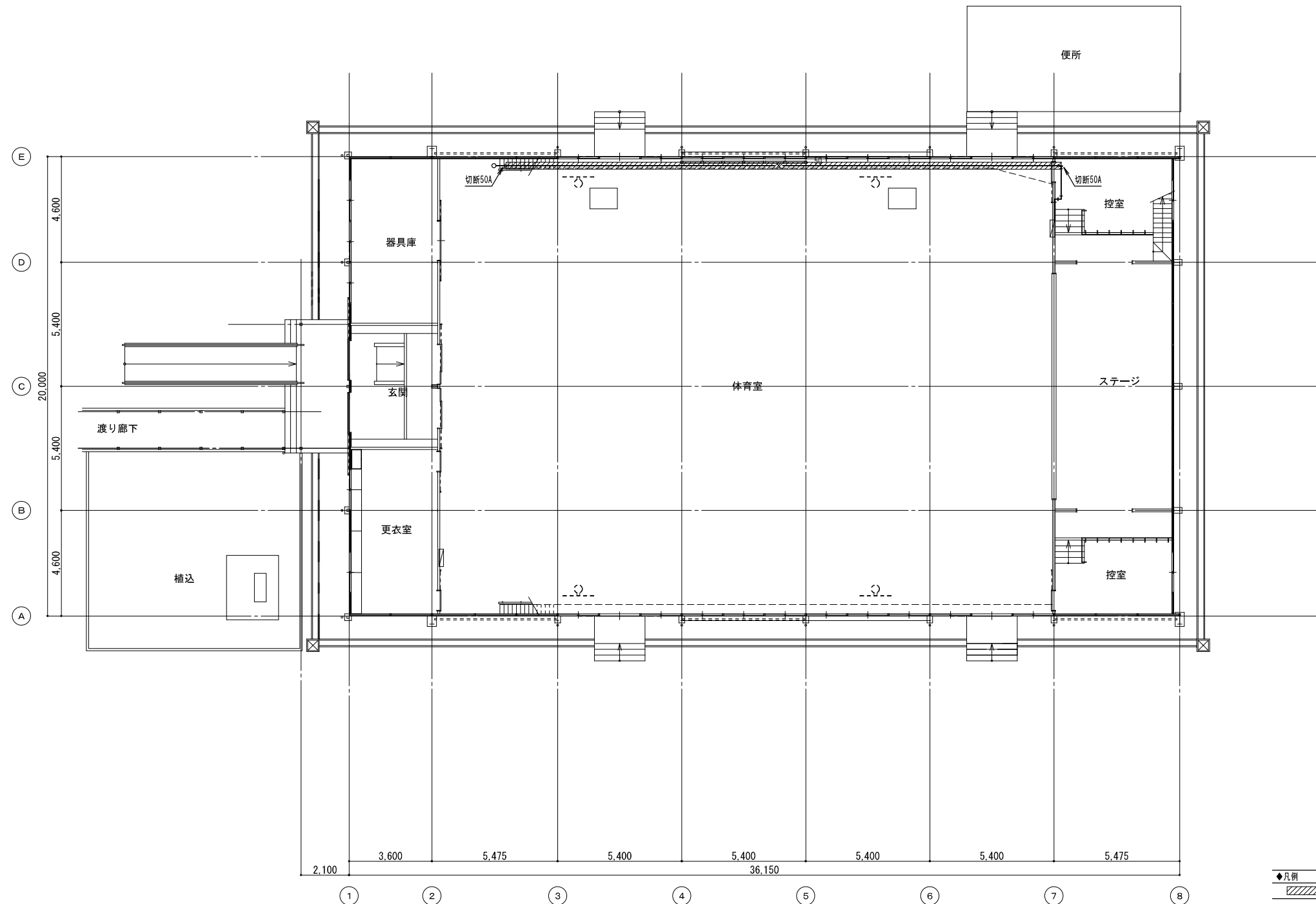


側面消音フード側部(正面側)スペーサー金物
(高耐食性めっき鋼板1.6t) 製造数 2×N 枚

縮尺	工事名称	図名	図面番号
A2:S=1/30	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	屋外機用消音器参考図-3	M-11



摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	改修後 消火設備 1階平面図	M-12



1階平面図 S=1/150

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2: S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	改修前 消火設備 1階平面図	M-13

Main project specification table with columns for work items (e.g., 6 改質アスファルトシート防水, 7 合成高分子系ルーフィングシート防水), materials, and methods. Includes detailed tables for waterproofing, insulation, and finishing work.

Summary table with columns: 概要 (Summary), 設計年月日 (Design Date), 縮尺 (Scale), 工事名称 (Project Name), 図名 (Drawing Name), 図面番号 (Drawing Number). Includes project details like '小学校体育館空調設備設置工事'.

5 建具 改修 工事	1 改修工法 [5.1.3]	<p>建具の種類 改修工法 撤去工法 適用箇所</p> <p>・7に1に製造建具 ー ー ・建具表による</p> <p>・樹脂製建具 ー ー ・建具表による</p> <p>・鋼製建具 ・外部 ー ー ・建具表による</p> <p>・内部 ー ー ・建具表による</p> <p>・鋼製軽量建具 ー ー ・建具表による</p> <p>・ステンレス製建具 ー ー ・建具表による</p> <p>・木製建具 ー ー ・建具表による</p> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p>	10 ステンレス製建具 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]	<p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追従性の等級(・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※☆☆☆☆</p> <p>・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放数量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板 [G]</td> <td>表面の樹種 ・板面の品質(※広葉樹1等 ・接着の程度(・1類・2類))</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 [G]</td> <td>樹種名() ・接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 [G]</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF [G]</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表面板の厚さ ※[表5.7.6]による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する</p> <p>・かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法 ※36mm ・建具表による</p> <p>・ふすま 張りの種類(・I型・II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクイヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>・戸ぶすま 表面板の仕上げ ・建具表による 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>枠及びくつずりの材料 ・建具表による</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 [G]	表面の樹種 ・板面の品質(※広葉樹1等 ・接着の程度(・1類・2類))		・天然木化粧合板 [G]	樹種名() ・接着の程度(・1類・2類)		・特殊加工化粧合板 [G]	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・接着の程度(・1類・2類)		・MDF [G]			11 木製建具 [5.7.2~4]	<p>性能値等 [5.2.2~5][表5.2.1、2]</p> <p>耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>気密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>水密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>70</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>100</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> <td>※図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式</p> <p>工法 水切り板、ぜん板等 ※図示</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	A-3	W-4	70	※図示による	・B種	S-5	A-3	W-4	100	※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5	100	※図示による	12 建具用金物 [5.8.1~3]	<p>性能値等 [5.2.2][5.3.2~5]</p> <p>耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>気密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>水密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-4</td> <td>W-4</td> <td>70</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>70</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>70</td> <td>※図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ガラス ※複層ガラス ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色</p> <p>工法 水切り板、ぜん板 ※図示</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	A-4	W-4	70	※図示による	・B種	S-5	A-4	W-5	70	※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5	70	※図示による	13 鍵 [5.8.4]	<p>性能値等 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追従性の等級(・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ 大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの) ※建具表による</p> <p>上記以外の鋼製建具 ※[表5.4.2]による ・建具表による 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p>	14 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	<p>性能値等 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追従性の等級(・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ヒコ被膜鋼板 ・彩鋼板 ・スチール鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ 大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの) ※建具表による</p> <p>上記以外の鋼製軽量建具 ※[表5.5.1]による ・建具表による 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p>	15 自閉式上吊り引戸装置 [5.10.3]	<p>性能値等 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追従性の等級(・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ヒコ被膜鋼板 ・彩鋼板 ・スチール鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ 大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの) ※建具表による</p> <p>上記以外の鋼製軽量建具 ※[表5.5.1]による ・建具表による 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p>	16 重量シャッター [5.11.2、3]	<p>性能値等 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する(※建具表による) ・適用しない</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追従性の等級(・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ヒコ被膜鋼板 ・彩鋼板 ・スチール鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ 大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの) ※建具表による</p> <p>上記以外の鋼製軽量建具 ※[表5.5.1]による ・建具表による 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p>	17 軽量シャッター [5.12.2~4]	<p>管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板の材質 種類 ・JIS G 3302 (溶酸溶融めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (溶酸溶融めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はZ12 ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いる スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>開閉形式の種類 ・電動式(手動併用) ※手動式 [5.12.2~4]</p> <p>耐風圧強度() Pa</p> <p>安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>スラットの材質の種類 ・JIS G 3312 (溶酸溶融めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G 3322 (溶酸溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※AZ90</p> <p>スラットの形状 ・インターロック形 ・オーバerrラッピング形</p>	18 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]	<p>セクション材料 風圧力による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質</p> <p>※スチールタイプ ・125 ※バランス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ファイバークラスチックタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板 ・50 ・パーチカル形</p> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 ・フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>・型板ガラス 型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>・網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落下衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類</p> <p>・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称、破損の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類</p> <p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種</p> <p>・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</p>	19 ガラス [3.7][5.14.2~4]	<p>性能値等 [5.2.2][5.3.2~5]</p> <p>耐風圧性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>気密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>水密性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-4</td> <td>W-4</td> <td>70</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>70</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>70</td> <td>※図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ガラス ※複層ガラス ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色</p> <p>工法 水切り板、ぜん板 ※図示</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	A-4	W-4	70	※図示による	・B種	S-5	A-4	W-5	70	※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5	70	※図示による	20 ガラスブロック [5.14.5]	<p>呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅(mm) 伸縮調整目地位置(mm) 防火性能</p> <p>・160×160 ・95 ・白 ・10</p> <p>・200×200 ・95 ・白 ・10</p> <p>壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 方骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5,5mm 形状 ※はこ型形状及び単筋 化粧目地モルタルの色 ・白 ・グレー シーリングの種類 ・SR-1 ・PS-1 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 目地部の横方骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※施工箇所は建具表による</p>	21 ガラス用フィルム [5.14.5]	<p>壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 方骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5,5mm 形状 ※はこ型形状及び単筋 化粧目地モルタルの色 ・白 ・グレー シーリングの種類 ・SR-1 ・PS-1 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 目地部の横方骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※施工箇所は建具表による</p>	6 内装 改修 工事	<p>① 改修範囲 [6.1.3]</p> <p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示</p> <p>② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]</p> <p>ビニル床シートの除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目黒工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内</p> <p>③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修(塗厚25mmを超える場合の処理 ※図示) ※[4.3.10]によるモルタル塗る</p> <p>④ 施工一般 [6.5.2]</p> <p>材料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(5)(b)による</p>	<p>⑤ 製材 [6.5.2]</p> <p>・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※上小節</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(造作材の場合 ※A種・B種)</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板の樹種名</th> <th>芯材の樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 0701以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 3079に基づく直交集成板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※2級	※A種・B種					※2級	※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※上小節	※A種・B種			見え掛り面		※小節以上	※A種・B種			見え掛り面以外			※A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等	※10%以下 ・A種・B種					※1等	※10%以下 ・A種・B種			施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用			()	※A種 ・B種	・する ・しない				(造作材の場合 ※A種・B種)	※A種 ・B種	・する ・しない		施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※1等・2等							※1等・2等		施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法	見付け材面の品質	間伐材等の適用								※1等 ・2等									※1等 ・2等		施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					※15%以下						※15%以下		施工箇所	品名	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用								※15%以下									※15%以下		施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用					・する ・しない		施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用				※14%以下	・する ・しない					※14%以下	・する ・しない		施工箇所	品名	等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用									<p>縮 尺</p> <p>工 事 名 称</p> <p>図 名</p> <p>図 面 番 号</p>
	合板の種類	規格等	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・普通合板 [G]	表面の樹種 ・板面の品質(※広葉樹1等 ・接着の程度(・1類・2類))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・天然木化粧合板 [G]	樹種名() ・接着の程度(・1類・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・特殊加工化粧合板 [G]	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・接着の程度(・1類・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・MDF [G]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・A種	S-4	A-3	W-4	70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・B種	S-5	A-3	W-4	100	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・C種	S-6	A-4	W-5	100	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・A種	S-4	A-4	W-4	70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・B種	S-5	A-4	W-5	70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・C種	S-6	A-4	W-5	70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・A種	S-4	A-4	W-4	70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・B種	S-5	A-4	W-5	70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・C種	S-6	A-4	W-5	70	※図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		※2級	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※2級	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		※上小節	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
見え掛り面		※小節以上	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
見え掛り面以外			※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		※1等	※10%以下 ・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※1等	※10%以下 ・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		()	※A種 ・B種	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		(造作材の場合 ※A種・B種)	※A種 ・B種	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					※1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					※1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
							※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
							※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
							※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
							※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			※14%以下	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			※14%以下	・する ・しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>構 要</p>		<p>設 計 年 月 日</p>	<p>縮 尺</p> <p>A2:S=N.S</p>		<p>工 事 名 称</p> <p>小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)</p>		<p>図 名</p> <p>特記仕様書(改修その3)</p>		<p>図 面 番 号</p> <p>A-03</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

Table with 4 columns: ⑧ 合板等, ⑨ 接合具等, ⑩ 接着剤, ⑪ 防蟻・防蟻処理, ⑫ 内部間仕切軸組及び床組み, ⑬ 窓、出入口その他, ⑭ 軽量鉄骨天井下地. Includes detailed specifications for materials and construction methods.

Table with 4 columns: 15 軽量鉄骨壁下地, 16 ビニル床シート, 17 ビニル床タイル, 18 特殊機能床材, 19 ビニル幅木, 20 ゴム床タイル, 21 カーペット敷き, 22 合成樹脂塗床, ⑮ フローリング張り. Includes detailed specifications for flooring materials and installation methods.

Table with 4 columns: 24 墨敷き, ⑯ せっこうボード, 25 壁紙張り, 26 セッコウボード. Includes detailed specifications for wall treatments and board materials.

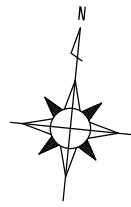
Table with 4 columns: 27 モルタル塗り, 28 タイル張り, 29 セルフレベリング材塗り, 30 フリーアクセスフロア, 31 可動間仕切, 32 移動間仕切, 33 トイレブース, 34 手すり. Includes detailed specifications for wall finishes, tiling, and safety features.

Summary table with 4 columns: 概要, 設計年月日, 縮尺, 工事名称, 図名, 図面番号. Contains project overview and identification information.

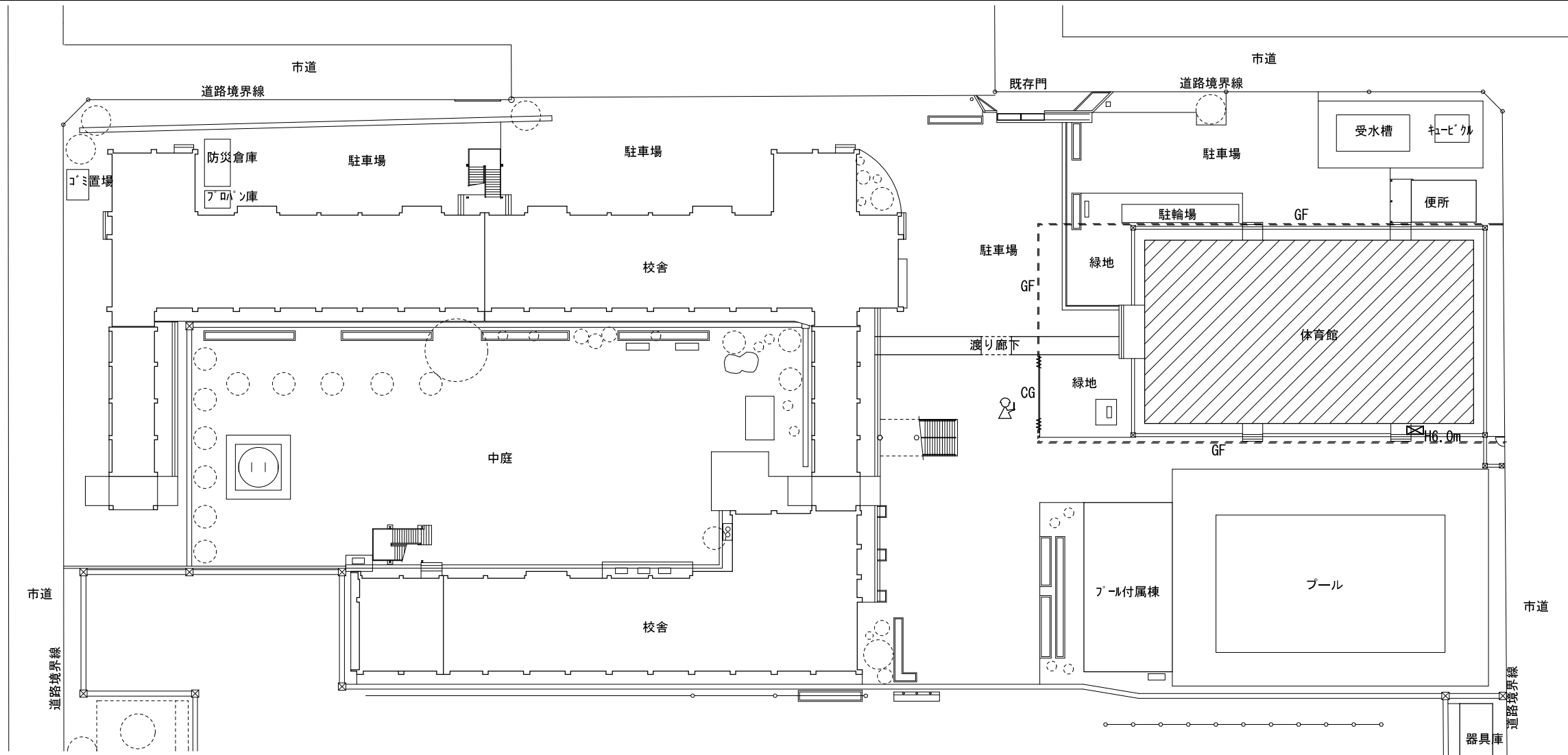
<p>35 階段滑り止め</p> <p>36 黒板及びホワイトボード</p> <p>37 表示</p> <p>38 タラップ</p> <p>39 ブラインド</p>	<p>材種 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 形状 ※タイヤ型(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等) ・タイヤレス製 端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし 材質 ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度 取付け方法 ※接着工法 ・埋め込み工法</p> <p>・黒板区分 ※焼成付付 種類 ・ほうろう ・銅製 色 ・黒 ・ホワイトボード()</p> <p>衝突防止表示 ・設置場所 ※図示による 形状・寸法(・30φ 材質 (・ステンレス製 ・塩ビシート) ・設置しない</p> <p>誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 ・案内板、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、 取付け形式等(案内用図記号はZ 8210による) ※図示による</p> <p>材質及び仕上げ (20.2.12) ・SUS304(スリッパ止め加工 ※あり ・なし) ・銅製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表 14.2.21による種別 ※C種 ・種)</p> <p>形式 操作 操作方法的種類 スラットの材質 スラット幅(mm) ヴァス・レールの材質 幅・高さ取付箇所</p> <p>・横形 ・手動 ※ギヤ式 ・コード式 ・電動 ※操作棒式</p> <p>・縦形 ・手動 ※2本操作棒式 ・1本操作棒式 ・電動</p> <p>縦型ブラインドのスラットの材質 アルミスラット 焼付塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする</p> <p>操作方法 (20.2.15) ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 幅、高さ、取付箇所 材質 品名等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による スクリーンの仕様 消防法で定める防火性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする</p> <p>形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付け箇所 備考</p> <p>・シングル・片引き ・ダブル・引分け ・電動</p> <p>・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・アレンひだ</p> <p>生地仕様 消防法で定める防火性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した場合は、Gとする 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p> <p>材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p> <p>溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材種 ・集材材(仕上げ) ・アルミニウム製 押出し型材(市販品) 種類 (標準仕様書表14.2.1) ・B0-1種 ・B0-2種 色合い ・標準色() ・特注色() ・銅製(仕上げ)</p> <p>材種 寸法 形式 外枠 内枠</p> <p>※アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・輪縁タイプ ・600×600 ・屋内用 ・目地タイプ</p> <p>・気密形</p> <p>材種 寸法 形式 備考</p> <p>・アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ・銀付き ・ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ・屋内用 ・銅製</p> <p>※密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。</p> <p>材種 受け枠 備考</p> <p>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製</p> <p>・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金</p> <p>材種 寸法(mm) 備考</p> <p>W D H</p> <p>・流し台 ・1200 ・550 ・800 市販品 ・1500 ・600 ・850 トラップ付き ・1800 ・650 天板ステンレス製</p> <p>・コンロ台 ・600 ・550 ・620 市販品 ・600 ・600 天板ステンレス製 ・650</p> <p>・つり戸棚 市販品 ・1200 ・450 ・500 ・900 ・700</p> <p>・水切り 市販品 ・1200 ・900 ・600</p> <p>品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 構成材は、JIS A 4420のBにより試験を行ったとき、表1の規定による。 ※図示</p> <p>形状</p> <p>種類 規格等 JISによる種類</p> <p>・銅製書架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種 ・銅製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種</p>	<p>49 屋内掲示板</p> <p>50 洗面カウンター</p> <p>51 防煙垂れ壁</p> <p>52 収納家具</p> <p>材種 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り</p> <p>材種 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600</p> <p>・固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※納入り磨板ガラス ・納入り磨板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式(巻取り型)</td> <td>※不燃布(不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500 ・900</td> <td>表面仕上げ ※天井張り</td> </tr> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)</p> <p>材質、形状、寸法 ※図示 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考	※納入り磨板ガラス ・納入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	種 類	材 質	高さ(mm)	備 考	・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・900	表面仕上げ ※天井張り	<p>8 耐震改修工事</p> <p>特記仕様書(改修その7~8)による</p> <p>9 環境配慮改修工事</p> <p>1 石粉じん温度測定</p> <p>測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>測定</th> <th>測定</th> <th>測定</th> <th>測定</th> <th>測定</th> </tr> <tr> <th>1~41</th> <th>42</th> <th>43</th> <th>名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> </tr> <tr> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> <td>※</td> </tr> </table> <p>測定方法 測定5のみ ※粒子計測器、粉じん相対湿度計(ダスト計)、繊維状 粒子自動計測器(1749(A74/A)-E35)等、排気の粉じん温度を迅速 に計測できる機器にて測定</p> <p>測定5以外は下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>測定点</th> <th>測定1,4,7,9</th> <th>測定2,6,8,10</th> </tr> <tr> <td>測定点の直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>※1</td> <td>※5</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>※5</td> <td>※240</td> </tr> </table> <p>2 石綿含有収付材の除去(レベル1)</p> <p>除去対象範囲 ・図示 除去工法 ※[9.1.3](2)(7)による ※密閉処理 ※図示 除去した石綿含有収付材等の飛散防止措置 ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p> <p>3 石綿含有保温材等の除去(レベル2)</p> <p>除去工法 ※[9.1.4](2)による(原形のまま、手ばらし可能な場合) 除去対象範囲 ・図示 ・[9.1.3](2)による(損傷、劣化等で石綿粉塵を発生させるおそれがある場合) 除去対象範囲 ・図示 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※密閉処理 ※図示 ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p> <p>4 石綿含有成形板の除去(レベル3)</p> <p>除去対象範囲 ・図示 石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生(負圧不要)方法 ・ビニールシート等による養生を行う 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋入処分(管理型最終処分場) ・石綿含有せっこうボードを廃く石綿含有成形板 ・埋入処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設) 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 ・埋入処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p> <p>5 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)</p> <p>除去対象範囲 ・図示 施工前の試験施工 ・行う ・行わない 除去工法() ※密閉処理 ※図示 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分 ・埋入処分(安定型最終処分場) ・埋入処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)</p> <p>6 PGS含有シーリング材処分</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>採取する部位</th> <th>箇所数</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分析調査(第一次判定)</td> <td>箇所数</td> <td>箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング</td> <td>部 位</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分析調査(第二次判定)</td> <td>箇所数</td> <td>箇所</td> <td></td> </tr> </table> <p>詳細は監督員との協議による</p> <p>7 外断熱改修工事</p> <p>断熱材 ()厚さ(mm) 施工箇所(・図示) [9.2.1~4] 種類() ホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆☆ 外装材</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>防火性能</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による。 既存外壁の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり(mm) ・なし 外装材の外壁への取付け 笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	適用	測定	測定	測定	測定	測定	1~41	42	43	名称	測定時期	測定場所	※	※	※	※	※	※	測定点	測定1,4,7,9	測定2,6,8,10	測定点の直径(mm)	25	25	試料の吸引流量(L/min)	※1	※5	試料の吸引時間(min)	※5	※240	種類	採取する部位	箇所数	備考	・PCB含有シーリング	部 位	・図示		分析調査(第一次判定)	箇所数	箇所		・PCB含有シーリング	部 位	・図示		分析調査(第二次判定)	箇所数	箇所		種 類	防火性能	備 考	鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による。 既存外壁の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり(mm) ・なし 外装材の外壁への取付け 笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による			<p>8 断熱・防露改修工事</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2~4] ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>工法 ・断熱材打込み工法 種類 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 厚さ(mm) ・ 施工箇所 ・ ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種I ・A種IH 厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示 ・断熱材後張り工法 種類 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 厚さ(mm) ・ ・せっこうボード等張り付けたパネルを使用 ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法</p> <p>9 屋上緑化改修工事</p> <p>植栽基盤及び材料 [9.4.2~4] 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない 新植した芝及び地被類の枯損後の期間 ※引き渡しの日から1年</p> <p>10 透水性アスファルト舗装改修工事</p> <p>適用範囲:歩道 [9.5.2~5.9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・建設汚泥から再生した処理土 G ・クラッシュラン G ・切込み砂利 ・砂(改修標準仕様書表9.5.11による)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・改修標準仕様書表9.5.3(2)(a)による</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合は粒度試験) ・行う ・行わない</p> <p>路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法() ・安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号) 添加量 () kg/m³ 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・ジオメタスタブル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻² cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締結度の試験 ・行う ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・図示 路盤材料(改修標準仕様書表9.7.31による種別) ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン G ・再生粒度調整砕石 G ・クラッシュラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G 舗装の構成 ・図示 舗装の平坦性 ※著しく不陸がないもの 開度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない</p> <p>漏水の処理 1) 受注者は、回収した漏水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 ・図示による 処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却済み) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入(処理に焼却済み) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>共通事項 1) 受注者は、舗装切断作業を行いながら漏水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した漏水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、漏水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理業(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。</p> <p>提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	種 別	材 料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示	・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 G ・クラッシュラン G ・切込み砂利 ・砂(改修標準仕様書表9.5.11による)	・図示	・フィルター層	・改修標準仕様書表9.5.3(2)(a)による	・図示
材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考																																																																																									
※納入り磨板ガラス ・納入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																																																																																									
種 類	材 質	高さ(mm)	備 考																																																																																									
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)																																																																																									
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・900	表面仕上げ ※天井張り																																																																																									
適用	測定	測定	測定	測定	測定																																																																																							
1~41	42	43	名称	測定時期	測定場所																																																																																							
※	※	※	※	※	※																																																																																							
測定点	測定1,4,7,9	測定2,6,8,10																																																																																										
測定点の直径(mm)	25	25																																																																																										
試料の吸引流量(L/min)	※1	※5																																																																																										
試料の吸引時間(min)	※5	※240																																																																																										
種類	採取する部位	箇所数	備考																																																																																									
・PCB含有シーリング	部 位	・図示																																																																																										
分析調査(第一次判定)	箇所数	箇所																																																																																										
・PCB含有シーリング	部 位	・図示																																																																																										
分析調査(第二次判定)	箇所数	箇所																																																																																										
種 類	防火性能	備 考																																																																																										
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による。 既存外壁の処理 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 下地の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり(mm) ・なし 外装材の外壁への取付け 笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による																																																																																												
種 別	材 料	厚さ(mm)																																																																																										
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・図示																																																																																										
・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 G ・クラッシュラン G ・切込み砂利 ・砂(改修標準仕様書表9.5.11による)	・図示																																																																																										
・フィルター層	・改修標準仕様書表9.5.3(2)(a)による	・図示																																																																																										
<p>構 要</p>	<p>設計年月日</p>	<p>縮 尺</p> <p>A2:S=N.S</p>	<p>工 事 名 称</p> <p>小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)</p>	<p>図 名</p> <p>特記仕様書(改修その5)</p> <p>図 面 番 号</p> <p>A-05</p>																																																																																								

10 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) 種類記号 呼び径 (mm) 備考 SD295 ※D16以下 SD345 ※D19以上	11 寒中コンクリート (6.11.1, 2) ⑫ 暑中コンクリート (6.12.2) 13 マスコンクリート (6.13.1, 2) 14 無筋コンクリート (6.14.1) ⑮ コンクリートの単位水量測定	適用期間 (1月21日～3月10日) (6.11.1, 2) 構造体強度補正值(S)を構築温度に定める場合 ・ 図示による ()、S=(6)・	適用期間 (7月15日～9月5日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※(N/mm ²)・ 図示による ()、S=(6)・	適用箇所 (6.13.1, 2) ・ 図示による () セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・中熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント 混和材料の適用 ・ あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)	スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書6.13.1による	コンクリートの種類 (6.14.1) セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・高炉セメントA種・シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所・ 図示による ()	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-7法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。							
	2 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類 種類記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 使用部位 溶接金網 6φ-150x150 土間、基礎周囲 鉄筋格子		施工完了後の溶接部の試験 ・ 外観試験 ※全数 試験対象 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ・ ロット ・ 1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・ 1ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置						11 寒中コンクリート (6.11.1, 2) ⑫ 暑中コンクリート (6.12.2) 13 マスコンクリート (6.13.1, 2) 14 無筋コンクリート (6.14.1) ⑮ コンクリートの単位水量測定	適用期間 (1月21日～3月10日) (6.11.1, 2) 構造体強度補正值(S)を構築温度に定める場合 ・ 図示による ()、S=(6)・	適用期間 (7月15日～9月5日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※(N/mm ²)・ 図示による ()、S=(6)・	適用箇所 (6.13.1, 2) ・ 図示による () セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・中熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント 混和材料の適用 ・ あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)	スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書6.13.1による	コンクリートの種類 (6.14.1) セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・高炉セメントA種・シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所・ 図示による ()	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-7法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	③ 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 継手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ・ ガス圧接 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手 耐力壁の鉄筋 基礎、耐力スラブ、土圧壁 重ね継手 ガス圧接 その他の鉄筋 () 重ね継手		11 コンクリート工事						① コンクリートの種類等 (6.2.1) Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1～6.2.4) 設計基準強度 (N/mm ²) 気乾単位容積 (t/m ³) スランブ 適用箇所 ・ 24 2.3程度 15又は18・18 ② 21 2.3程度 15又は18・18 基礎、土間 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值 S=3 (3月11日～7月14日、9月6日～11月20日) S=6 (7月15日～9月5日、11月21日～3月10日)	適用期間 (1月21日～3月10日) (6.11.1, 2) 構造体強度補正值(S)を構築温度に定める場合 ・ 図示による ()、S=(6)・	適用期間 (7月15日～9月5日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※(N/mm ²)・ 図示による ()、S=(6)・	適用箇所 (6.13.1, 2) ・ 図示による () セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・中熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント 混和材料の適用 ・ あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)	スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書6.13.1による	コンクリートの種類 (6.14.1) セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・高炉セメントA種・シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所・ 図示による ()	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-7法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	④ 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・ 図示による () 機械式定着工法 運用場所 ・ 図示による () 種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による		② セメント (6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・ 高炉セメントB種 適用箇所 (・IFLより下部(立上り部含む)) ・ フライアッシュセメントB種 適用箇所 (・)						③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)	適用期間 (1月21日～3月10日) (6.11.1, 2) 構造体強度補正值(S)を構築温度に定める場合 ・ 図示による ()、S=(6)・	適用期間 (7月15日～9月5日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※(N/mm ²)・ 図示による ()、S=(6)・	適用箇所 (6.13.1, 2) ・ 図示による () セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・中熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント 混和材料の適用 ・ あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)	スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書6.13.1による	コンクリートの種類 (6.14.1) セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・高炉セメントA種・シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所・ 図示による ()	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-7法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) (5.3.5) ※ 図示による (構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・ 図示による () 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・ あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ あり 適用箇所 () ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm		④ 混和材料 (6.3.1) ⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・ 図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・ 図示による ()						⑥ 混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・ 混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による	適用期間 (1月21日～3月10日) (6.11.1, 2) 構造体強度補正值(S)を構築温度に定める場合 ・ 図示による ()、S=(6)・	適用期間 (7月15日～9月5日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※(N/mm ²)・ 図示による ()、S=(6)・	適用箇所 (6.13.1, 2) ・ 図示による () セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・中熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント 混和材料の適用 ・ あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)	スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書6.13.1による	コンクリートの種類 (6.14.1) セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・高炉セメントA種・シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所・ 図示による ()	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-7法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	⑥ 各部配筋	※ 図示による (5.3.7)		⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 種別 適用箇所 ・ A種 ※ 図示による () ・ B種 ※ 図示による () ・ C種 ※ 図示による () コンクリートの仕上りの平たんさ 種別 適用箇所 ・ a種 ※ 図示による () ・ b種 ※ 図示による () ・ c種 ※ 図示による ()						⑧ 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm ・ 外装タイル後張り面の打増し処理 ・ 20mm 打増し範囲 ・ 図示による ()	適用期間 (1月21日～3月10日) (6.11.1, 2) 構造体強度補正值(S)を構築温度に定める場合 ・ 図示による ()、S=(6)・	適用期間 (7月15日～9月5日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※(N/mm ²)・ 図示による ()、S=(6)・	適用箇所 (6.13.1, 2) ・ 図示による () セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・中熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント 混和材料の適用 ・ あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)	スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書6.13.1による	コンクリートの種類 (6.14.1) セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・高炉セメントA種・シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所・ 図示による ()	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-7法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	7 ガス圧接	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う (全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験 (試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による) ・ 引張試験 試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(b)による		⑧ 打増し厚さ (6.8.1) 打増し厚さ ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm ・ 外装タイル後張り面の打増し処理 ・ 20mm 打増し範囲 ・ 図示による ()						⑨ 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ・ 合板 (※12mm) (G) コンクリート打設時の充満性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・ 断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による () ・ MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による () スリーブの材質・規格等 ・ 図示による ()	適用期間 (1月21日～3月10日) (6.11.1, 2) 構造体強度補正值(S)を構築温度に定める場合 ・ 図示による ()、S=(6)・	適用期間 (7月15日～9月5日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※(N/mm ²)・ 図示による ()、S=(6)・	適用箇所 (6.13.1, 2) ・ 図示による () セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・中熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント 混和材料の適用 ・ あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)	スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書6.13.1による	コンクリートの種類 (6.14.1) セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・高炉セメントA種・シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所・ 図示による ()	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-7法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	8 機械式継手	適用箇所 (5.5.3, 5) ・ 図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・ A級 種類 ・ ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・ 無機グラウト方式 ・ 有機グラウト方式 ・ 端部ねじ加工継手 ・ モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ・ ロット ・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 ・ 1ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置		⑩ 軽量コンクリート (6.10.1, 2) 適用箇所 ・ 図示による () 種類 ・ 1種 ・ 2種 気乾単位容積質量 ・ 標準仕様書 表6.10.1による スランブ ※21cm						⑩ 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ・ 合板 (※12mm) (G) コンクリート打設時の充満性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・ 断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による () ・ MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による () スリーブの材質・規格等 ・ 図示による ()	適用期間 (1月21日～3月10日) (6.11.1, 2) 構造体強度補正值(S)を構築温度に定める場合 ・ 図示による ()、S=(6)・	適用期間 (7月15日～9月5日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※(N/mm ²)・ 図示による ()、S=(6)・	適用箇所 (6.13.1, 2) ・ 図示による () セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・中熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント 混和材料の適用 ・ あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)	スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書6.13.1による	コンクリートの種類 (6.14.1) セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・高炉セメントA種・シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所・ 図示による ()	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-7法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	9 溶接継手	適用箇所 (5.5.3, 5) ・ 図示による () H12建告第1463号に適合する性能 ・ A級 溶接継手の工法 ・ 図示による () 鉄筋相互のあき ・ 標準仕様書5.3.5(4)による ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による ()		⑩ 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ・ 合板 (※12mm) (G) コンクリート打設時の充満性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・ 断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による () ・ MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による () スリーブの材質・規格等 ・ 図示による ()						⑩ 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ・ 合板 (※12mm) (G) コンクリート打設時の充満性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・ 断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による () ・ MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による () スリーブの材質・規格等 ・ 図示による ()	適用期間 (1月21日～3月10日) (6.11.1, 2) 構造体強度補正值(S)を構築温度に定める場合 ・ 図示による ()、S=(6)・	適用期間 (7月15日～9月5日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※(N/mm ²)・ 図示による ()、S=(6)・	適用箇所 (6.13.1, 2) ・ 図示による () セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・中熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種・シリカセメント 混和材料の適用 ・ あり (標準仕様書6.13.2(2)(7)による・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)	スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書6.13.1による	コンクリートの種類 (6.14.1) セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント・高炉セメントA種・シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所・ 図示による ()	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打放する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超過する場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17M-7法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

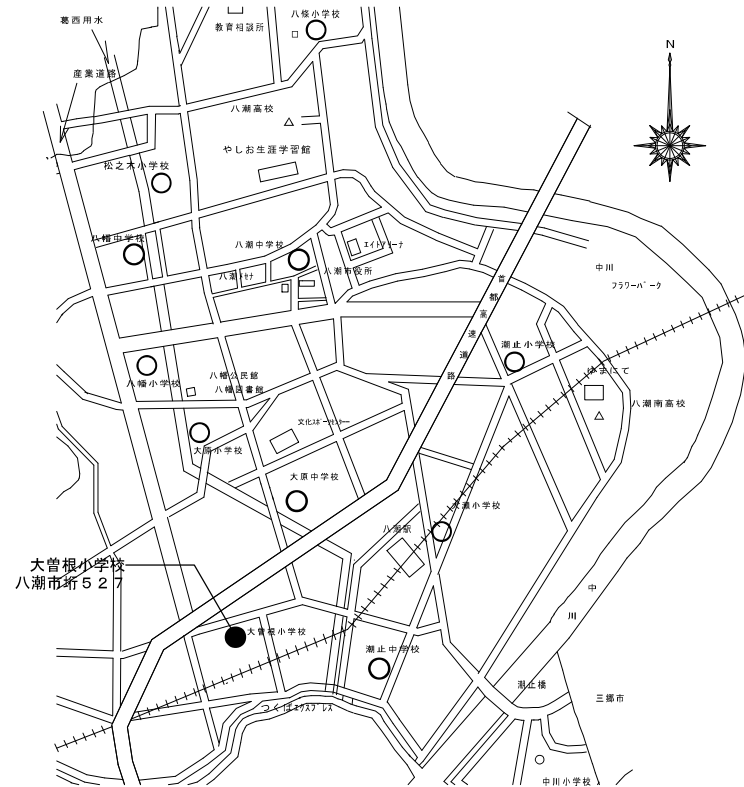
構 要	設 計 年 月 日	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号
		A2:S=N, S	小学校体育館空調設備設置工事 (大曾根小学校)	特記仕様書 (改修その6)	A-06



葛西用水



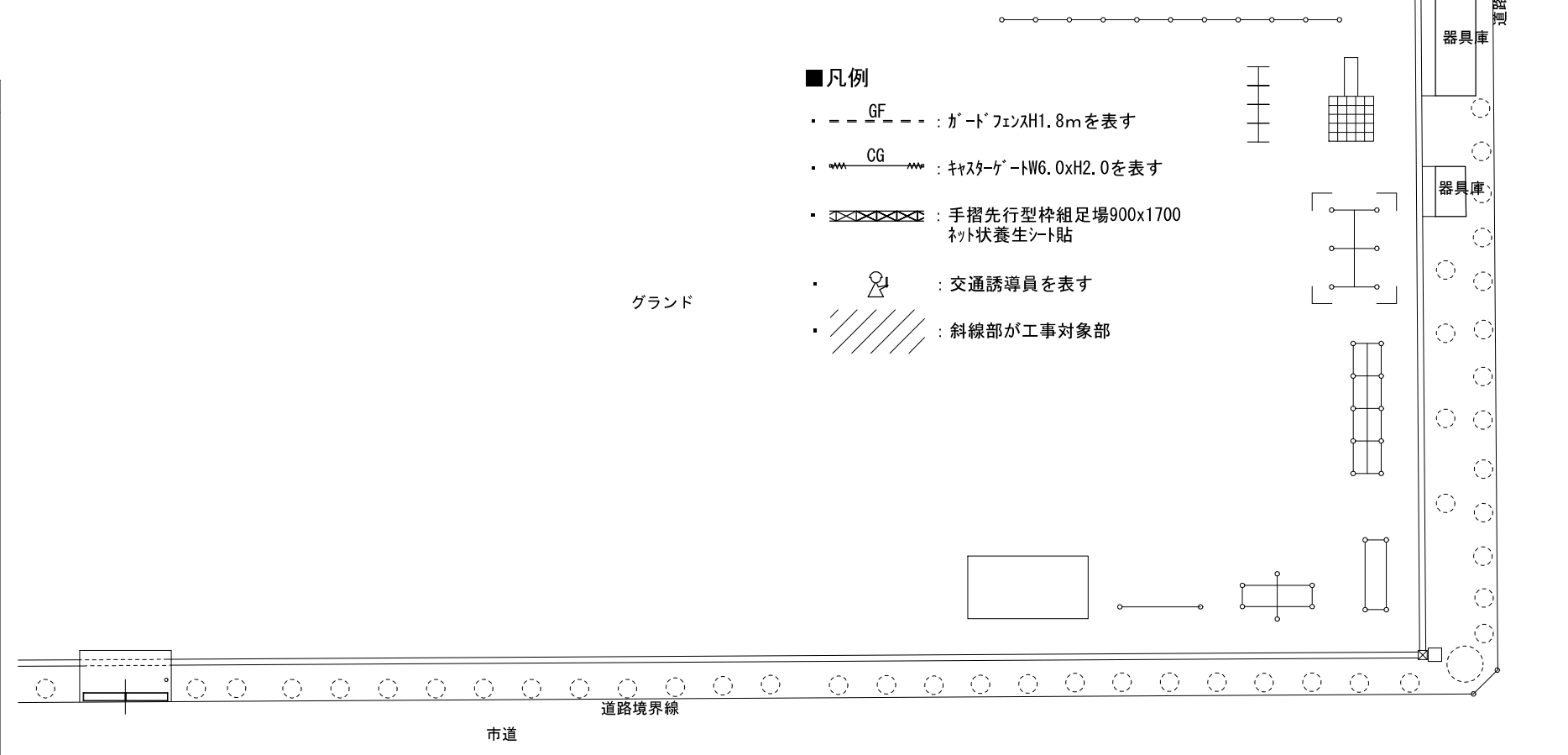
案内図



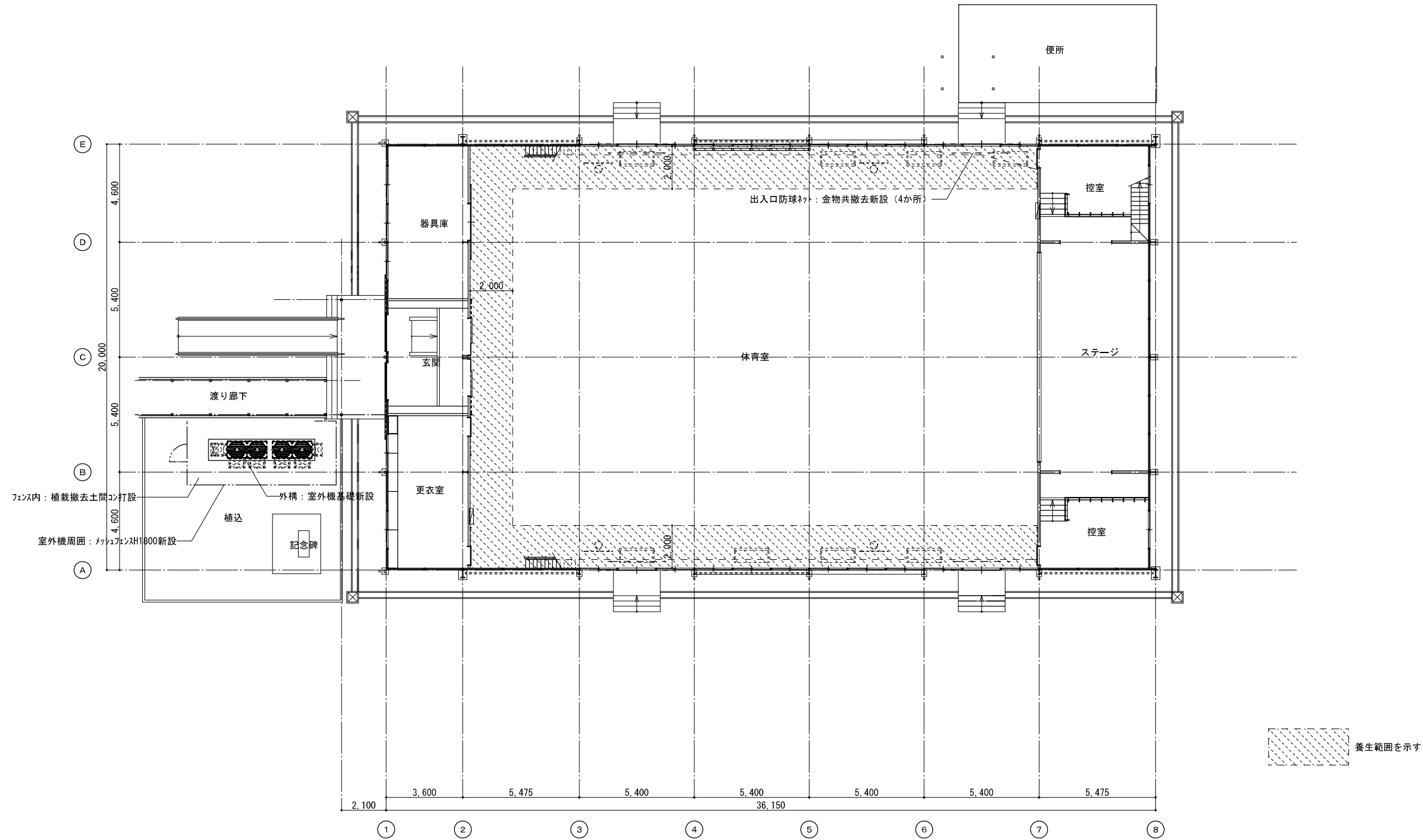
■凡例

- ・ --- GF --- : ガートフェンスH1.8mを表す
- ・ --- CG --- : キャスターゲートW6.0xH2.0を表す
- ・ [X] : 手摺先行型枠組足場900x1700
ネット養生シート貼
- ・ [人] : 交通誘導員を表す
- ・ [斜線] : 斜線部が工事対象部

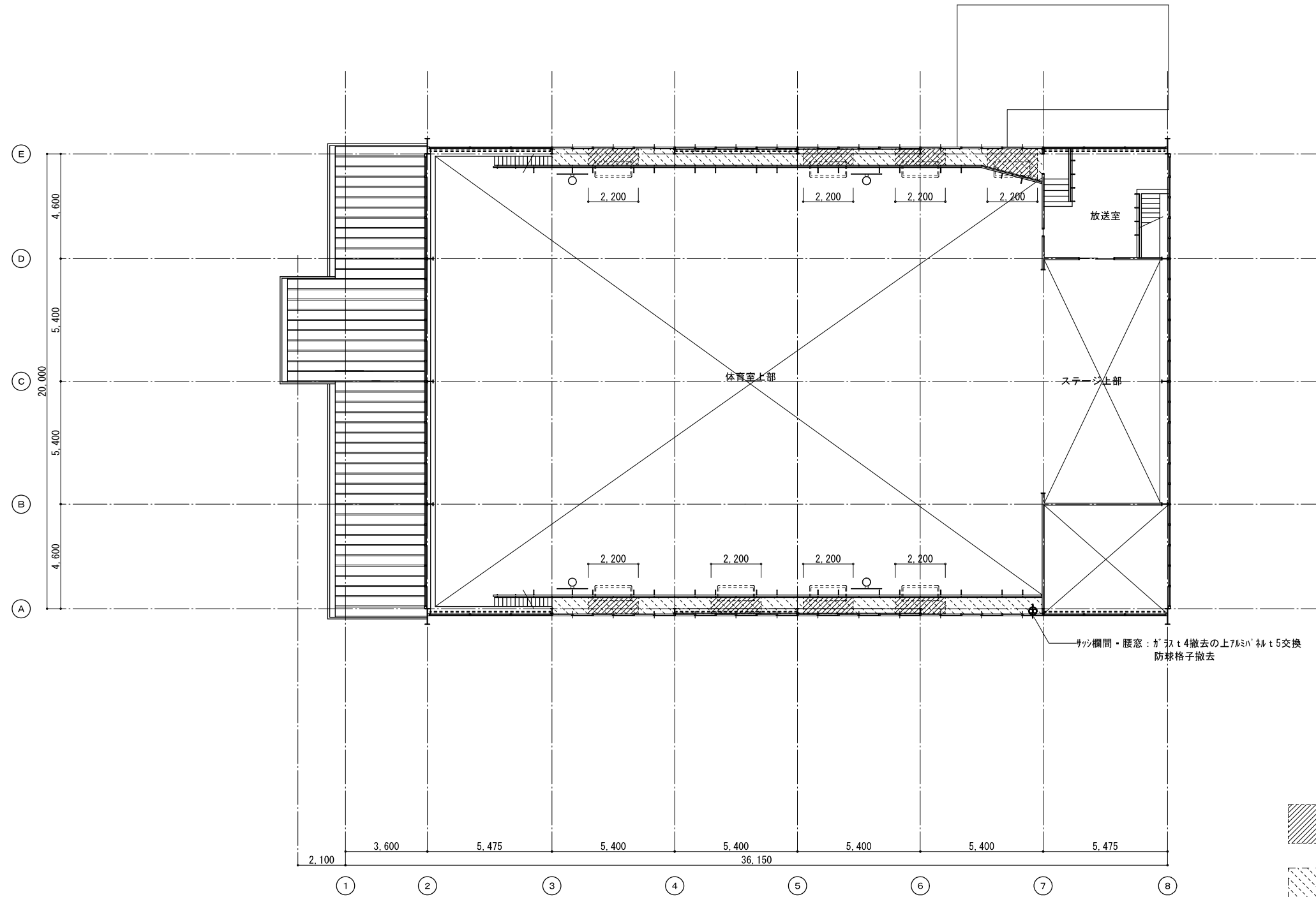
グラウンド



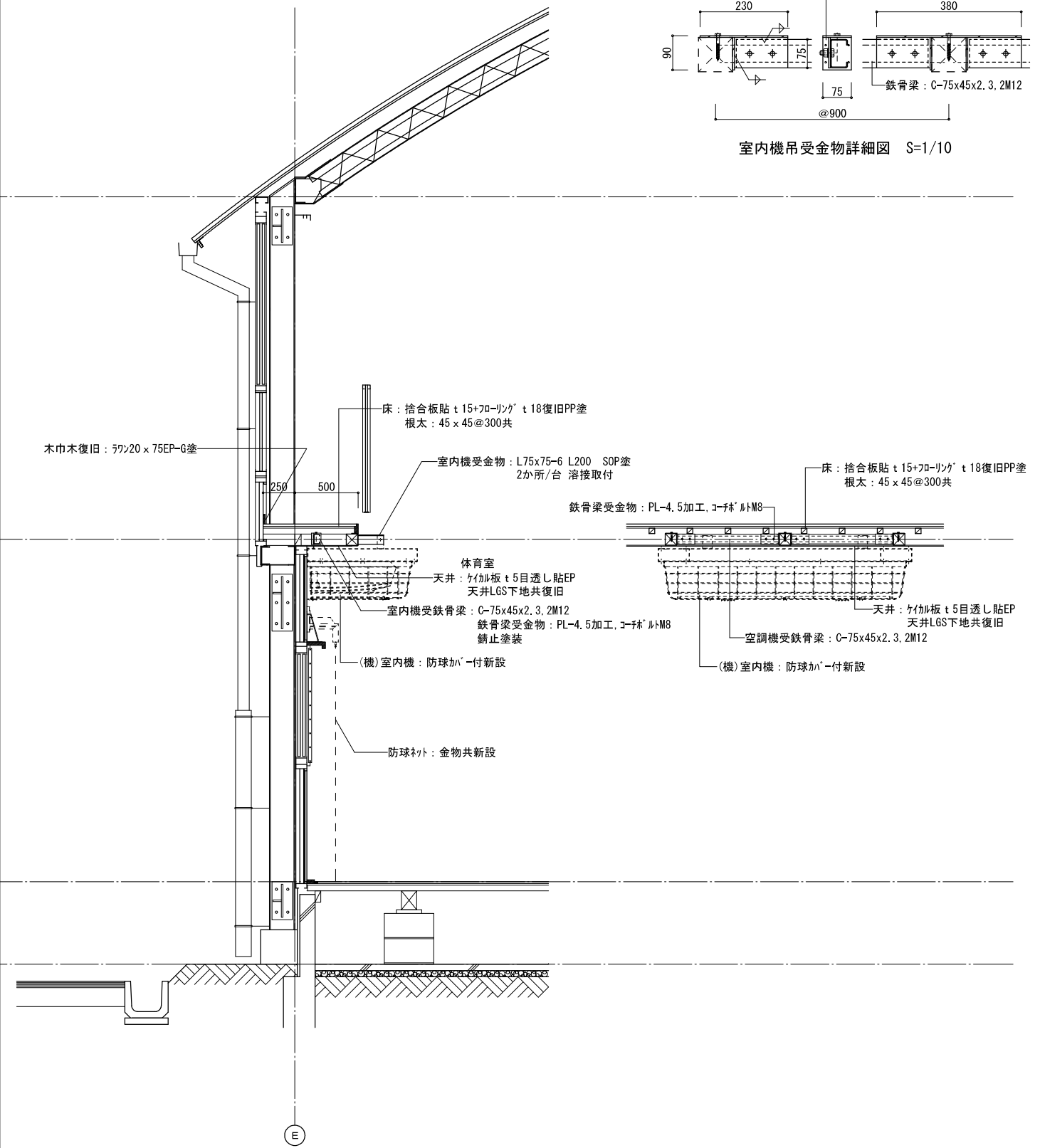
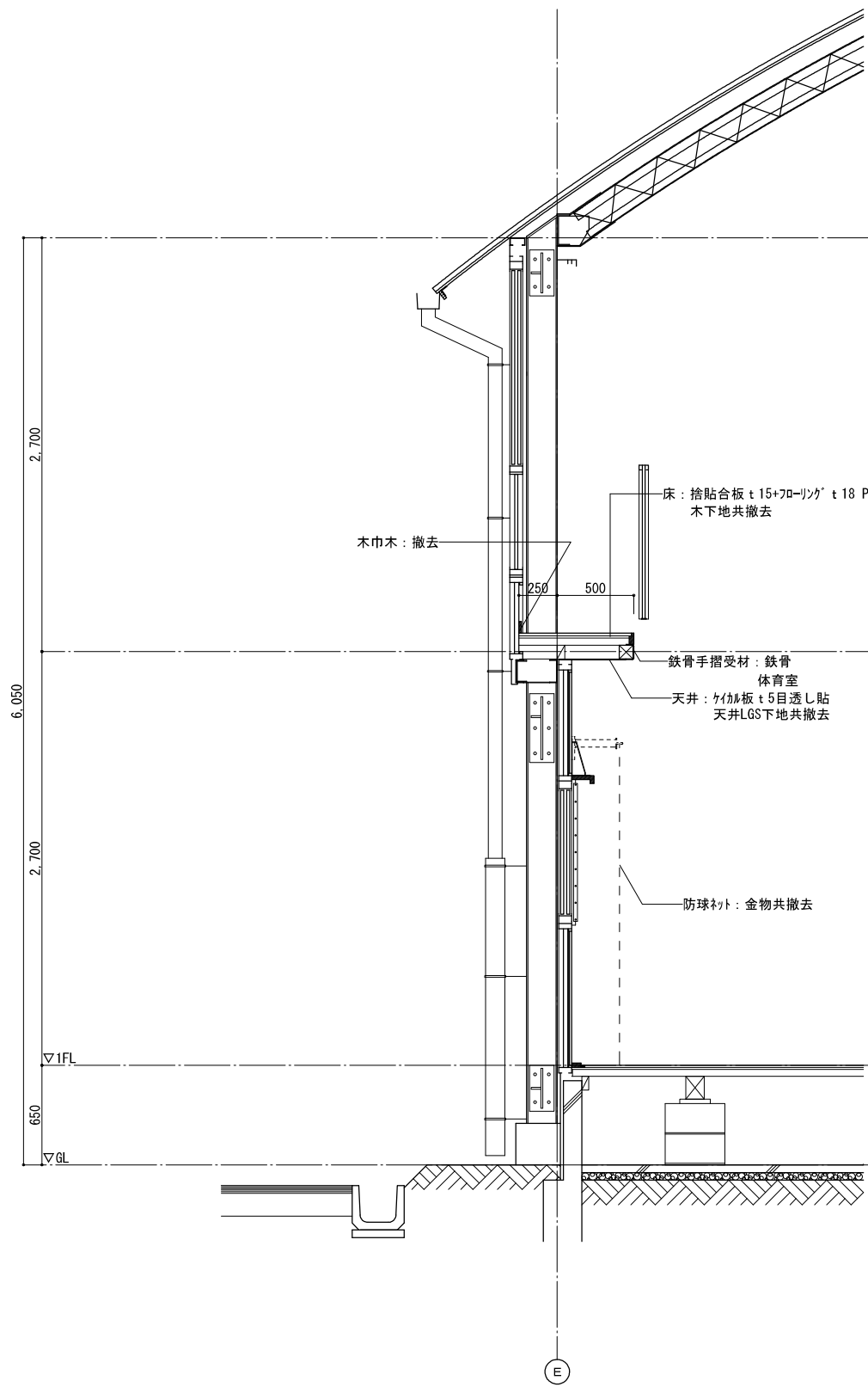
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/400	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	案内図、配置図兼参考仮設計画図	A-07



摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事 (大曾根小学校)	1階平面図	A-08

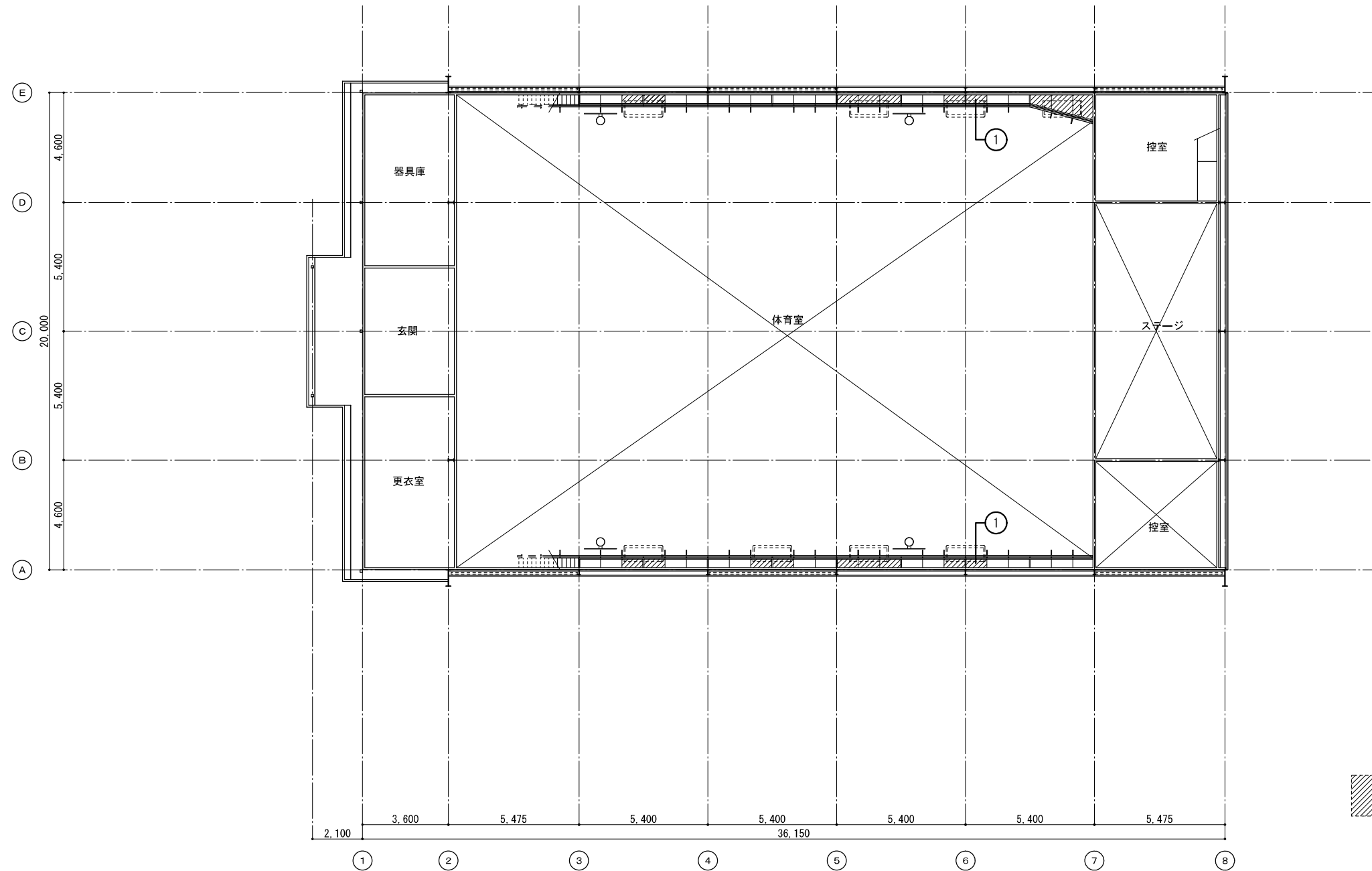



摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	2階平面図	A-09



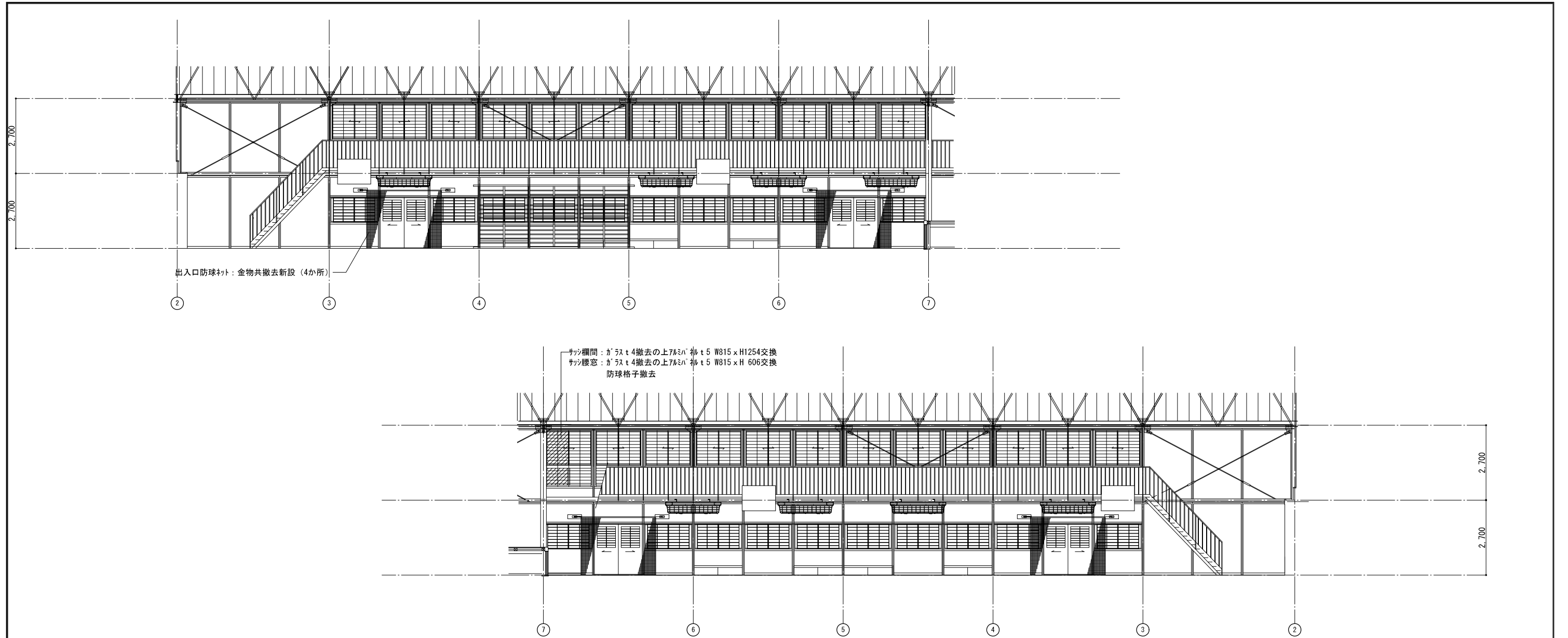
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/30	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	矩計図	A-10

記号	下地	天井仕上	廻縁
①	LGS	ケガキ板 t5目透し貼 EP 下地共撤去・復旧	-

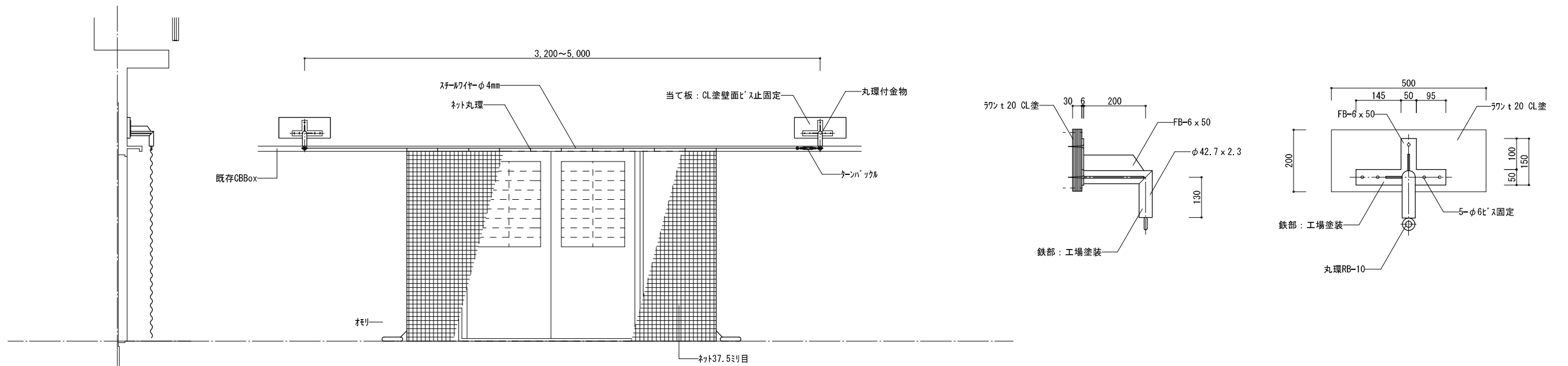


 撤去復旧範囲を示す

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	1階天井伏図	A-11



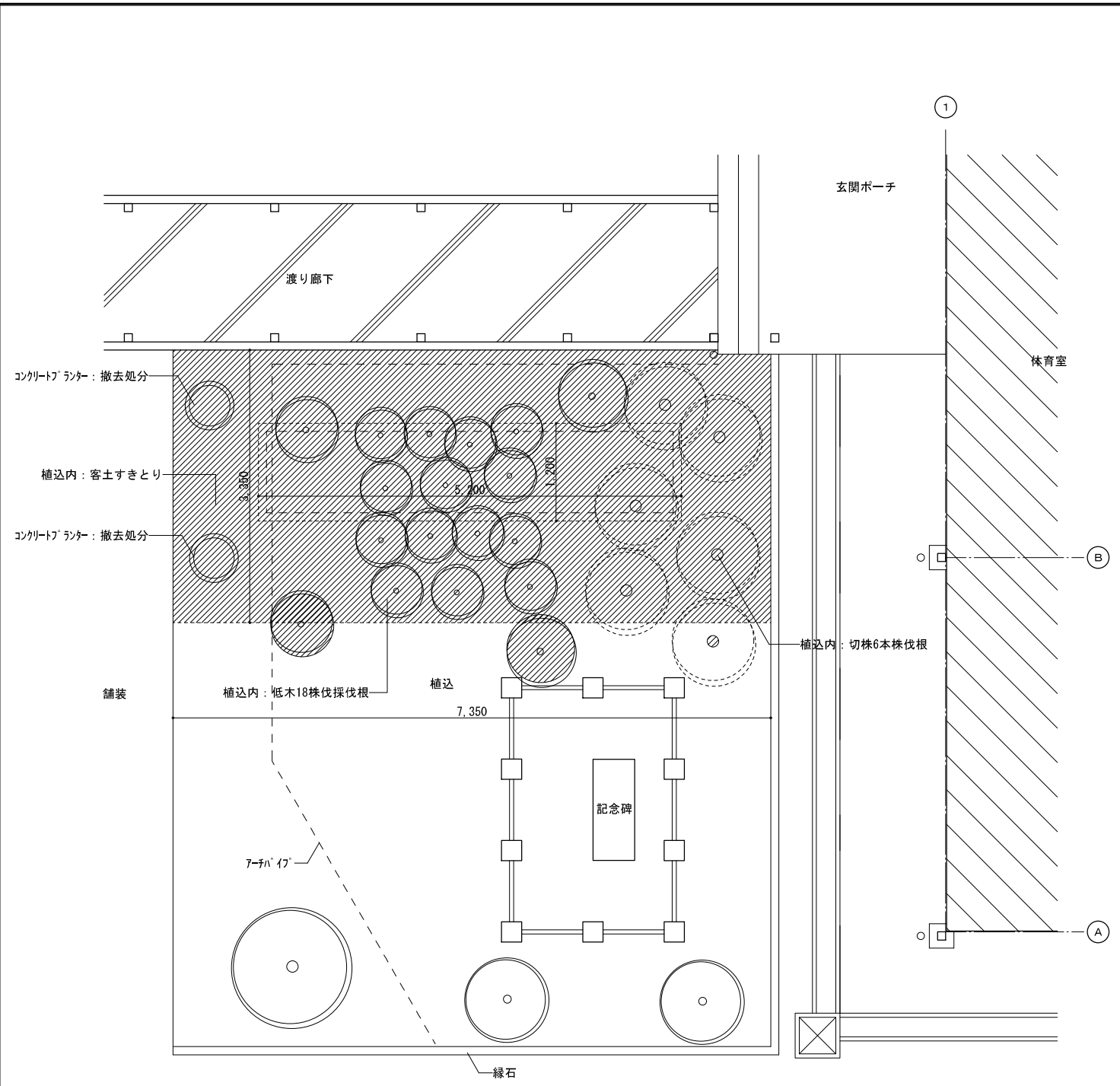
体育室 展開図 S=1/100



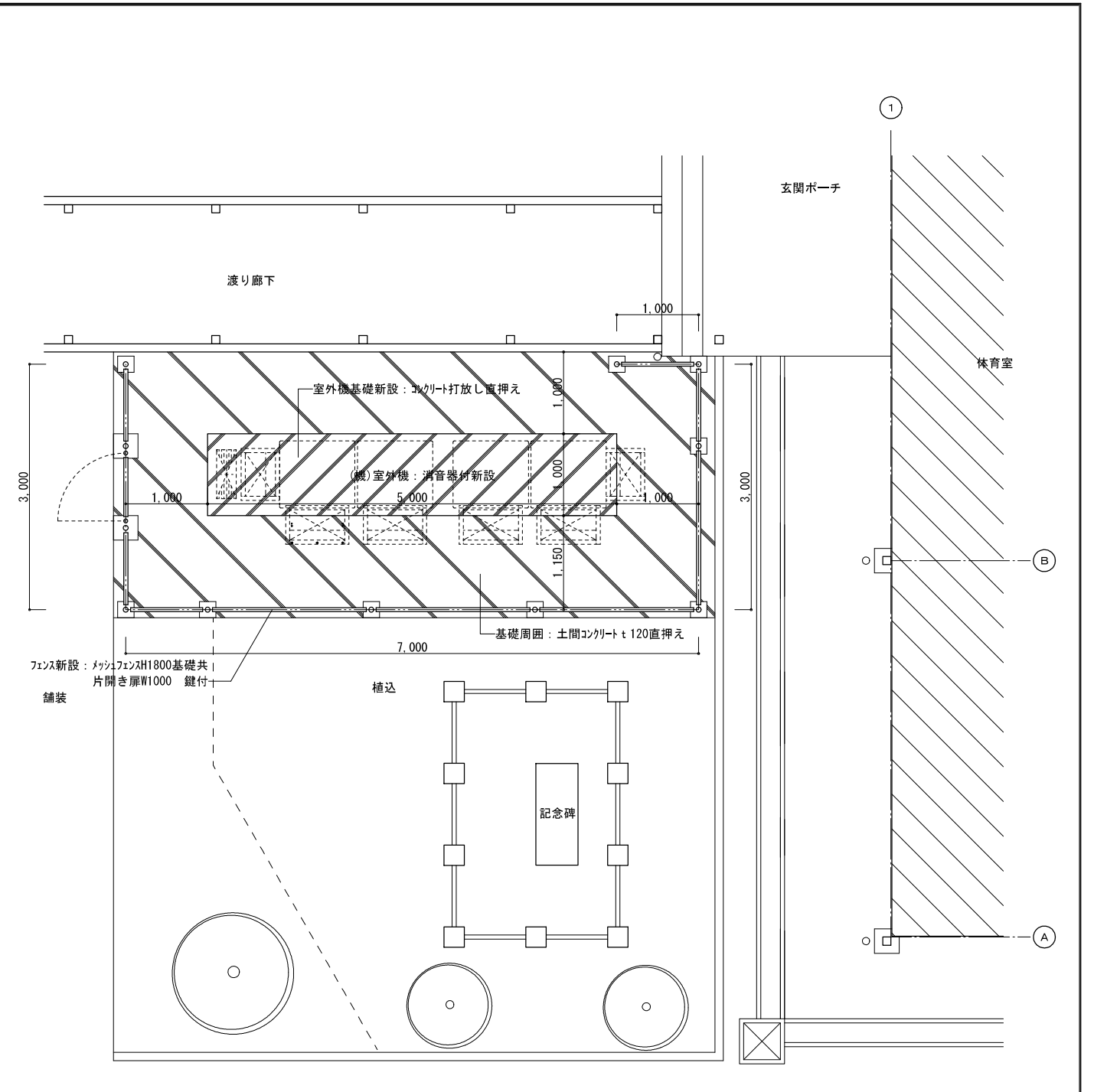
防球ネット姿図 S=1/30

防球ネット金物詳細図 S=1/10

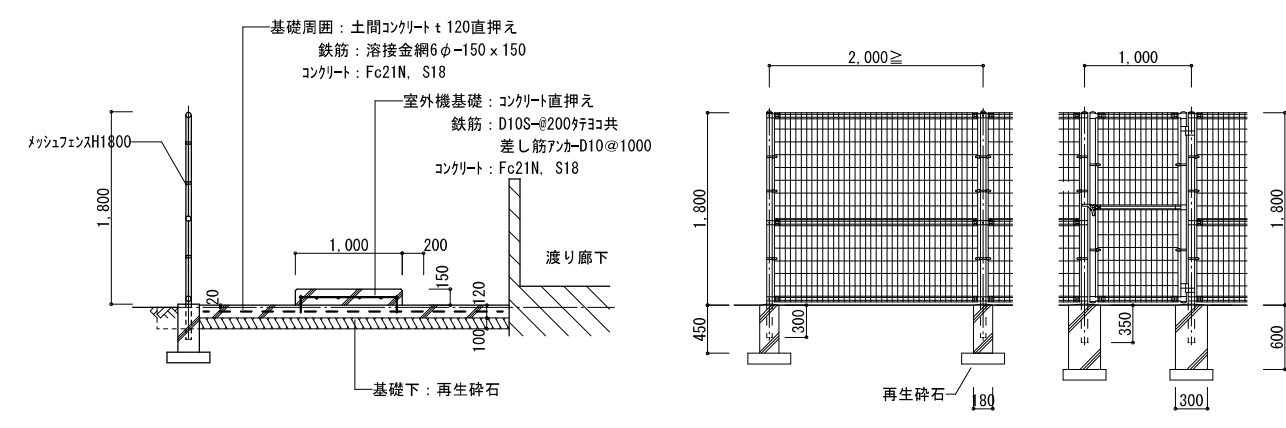
摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/10, 30, 100	小学校体育館空調設備設置工事（大曾根小学校）	展開図、防球ネット詳細図	A-12



改修前 室外機周り平面図



改修後 室外機周り平面図



改修後 室外機周り断面図

- 仕様
 フェンス支柱: 50.8φ x 2.3
 門扉支柱: 60.5φ x 3.2
 メッシュ: 丸ワイヤメッシュ(ハイテンション線)
 フェンス基礎: 既製品コンクリート180 x 180 x 450
 門扉基礎: 既製品コンクリート300 x 300 x 600
 門扉装備: 丁番、戸当たり付両面回転錠

メッシュフェンス姿図(参考)

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/50	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	室外機基礎詳細図	A-13

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
 - 1.1 工事名 小学校体育館空調設備設置工事（大曾根小学校）
 - 1.2 工事場所 八潮市坂527番地
 - 1.3 工期 契約日から令和年月日まで
現場施工期間 令和年月日から令和年月日まで
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。
 - 1.4 工事科目（○印の付いたものを適用する）

<ul style="list-style-type: none"> ○ 電灯設備 ○ 動力設備 ● 電熱設備 ● 雷保護設備 ○ 受変電設備 ● 電力貯蔵設備 ● 発電設備 ● 構内情報通信網設備 ● 構内交換設備 ● 情報表示設備 ● 映像・音響設備 ● 拡声設備（非常放送設備） ● 誘導支援、呼出し設備 	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ共同受信設備 ● テレビ電波障害防除設備 ● 監視カメラ設備 ● 駐車場管制設備 ● 防犯、入退室管理設備 ● 自動火災報知設備 ● 自動閉鎖設備 ● ガス漏れ火災警報設備 ● 電話配管設備 ● 中央監視制御設備 ● 医療関係設備 ● 昇降機設備
--	---

- 1.5 指定部分 ○無 ・有（ 工期：令和年月日）
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
 - 1 専任期間の始期
請負契約締結の日から、（○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間 ・令和年月日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 - 2 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 - 3 専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、

- 1.7 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施工令別表第一
体育館	S造	2階建	767	7 (1)
- 1.8 工事概要

- 1.9 同時期発注の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事

- 2 工事仕様
 - 2.1 共通仕様
 - (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事情）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

- (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。）

項 目	特 記 事 項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③ 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
④ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができず。
⑤ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
⑥ 監督員事務所	本工事で ・ 設ける（規模 ） ※設けない
⑦ 保 険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
⑧ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する（契約金額による） ・ 適用しない
⑩ 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・ 適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A1二つ折り1部及びA3二つ折り3部とする。
⑪ 発生材処理	引渡を要するもの以外を構外に搬出し、適切に処理する。 （構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途） (1) 引渡しを要するもの（ ） (2) 買取処分をするもの（銅屑・鉄屑 ） (3) 再生資源化を図るもの（蛍光管） 蛍光管等は再生資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

- ⑫ 金属電線管の塗装
- ⑬ 鍵
- ⑭ 地中電線路

(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管 種 別
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

- (2) 地中電線路には、ケーブル埋設槽及び横断シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の横断シートは図面特記による。
- (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種類、先行の表示を行う。

- ⑮ 回路の種類 先行の表示
- ⑯ 電線の接続

湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

- ⑰ 電線管の接続
- 屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

- ⑱ 接地工事
- 漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑×黄又は緑×青帯で区別する。

- ⑲ 残土処分
 - 20 再生砂・再生アスコン
- 埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所に敷き均しとする。
契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。
再生砂使用に先立ち、1購入あたり11枚体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

- ⑳ 耐震施工
- 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
(1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
屋上及び塔屋	水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
地下・2階	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

- 【備 考】(※1)：水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・ 配電盤 ・ 発電装置(防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 火災報知器受信機 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

- ⑳ あと施工アンカー
- 機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会に資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

- ㉑ はつり及びあと施工アンカー打設
 - ㉒ 改修部分の足場
- 本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種(枠組足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

- ㉓ 墜落制止用器具（フルハーネス型）
- ※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による
・使用を要しない

- 26 アスベスト事前調査結果の報告

- ㉔ その他
 - (1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
 - (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作物を監督員に提出し、承諾後製作する。
 - (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
 - (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
 - (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
 - (6) 改修工事等を施工する場合は、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
 - (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
 - (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
 - (9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
 - (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する）

項 目	特 記 事 項
① 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は運用形とする。なお、2口コンセントは複式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新築工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 経棒 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は経棒を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、経棒を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルこころが記録で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
② 動力設備	(1) 動力制御盤及び閉閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はLR1とする。
④ 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端未処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 (端末処理 ・ 耐塩害 ・ 一般用) 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 定格電圧 7.2kV 定格電流 A 定格電圧 7.2kV 定格遮断電流 kA 動力用 kVA × 台 電灯用 kVA × 台 高圧進相コンデンサ kVar × 台 直列リアクトル ・6% ・13% kVar × 台
5 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を室内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ (概要)
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱併給(コージェネレーション)発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)

項 目	特 記 事 項
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合壁内の接続は端子台を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事情）による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

- 2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	県営住宅
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300	1,200
	”（身体障害者用）	1,100	1,000
”（人感センサー切換用）	”	2,000	2,000
コンセント、電話用70Vレド、直列コンセント	”（一般）	300	400
	”（和室）	150	200
”（台上）	台上～中心	150	500
	床上～中心	500	500
防水型コンセント	”	（上端1,900以下）1,500	（上端1,900以下）1,500
分電盤、制御盤、閉閉器箱	”	900	900
呼出ボタン（身体障害者用）	”	1,800	1,800
復帰ボタン（ ” ）	”	2,000	2,000
廊下表示灯（ ” ）	”	（上端1,900以下）1,500	2,000

- 3 その他
 - 3.1 他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
 - 3.2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、JIS A1版としたり縮尺とする。
 - 3.3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

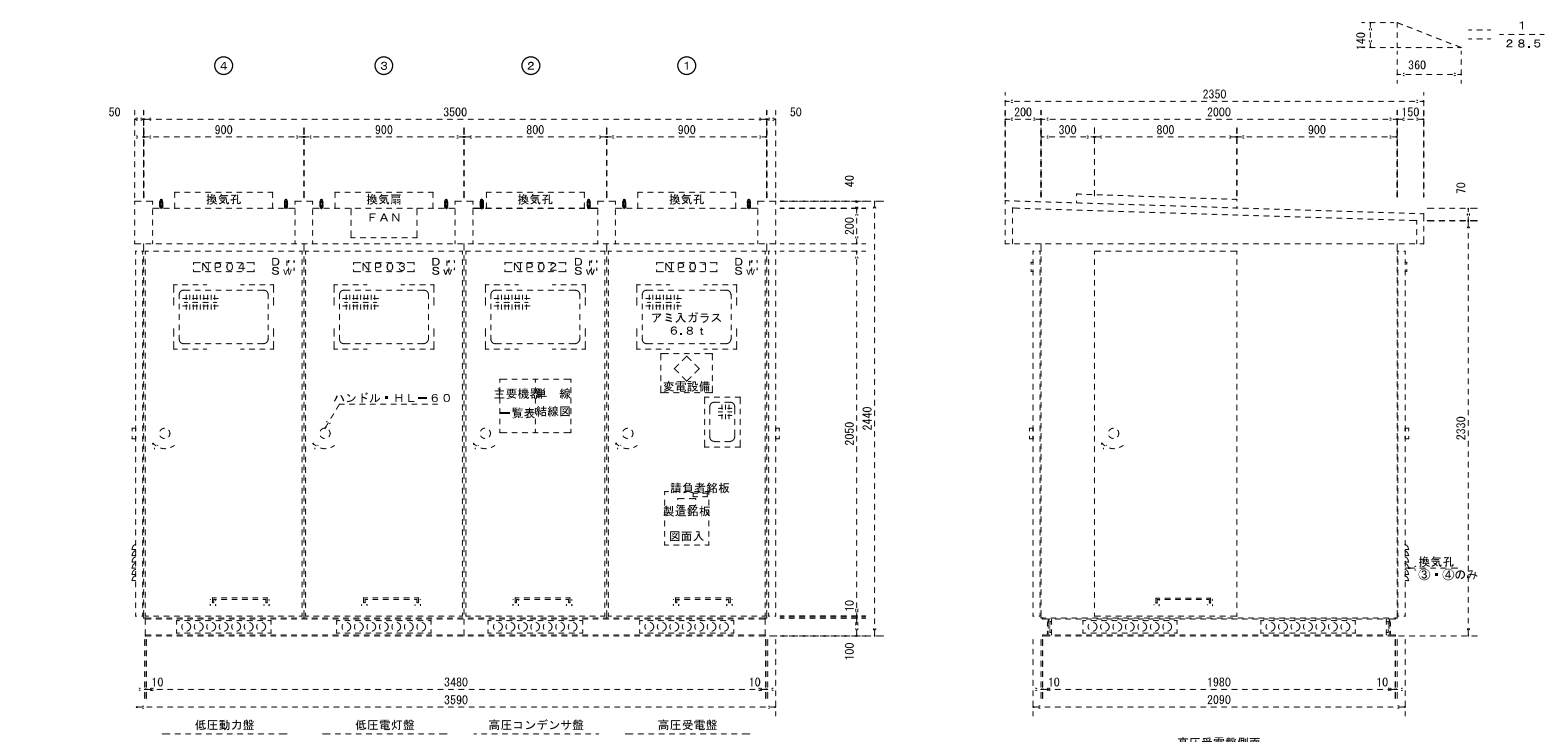
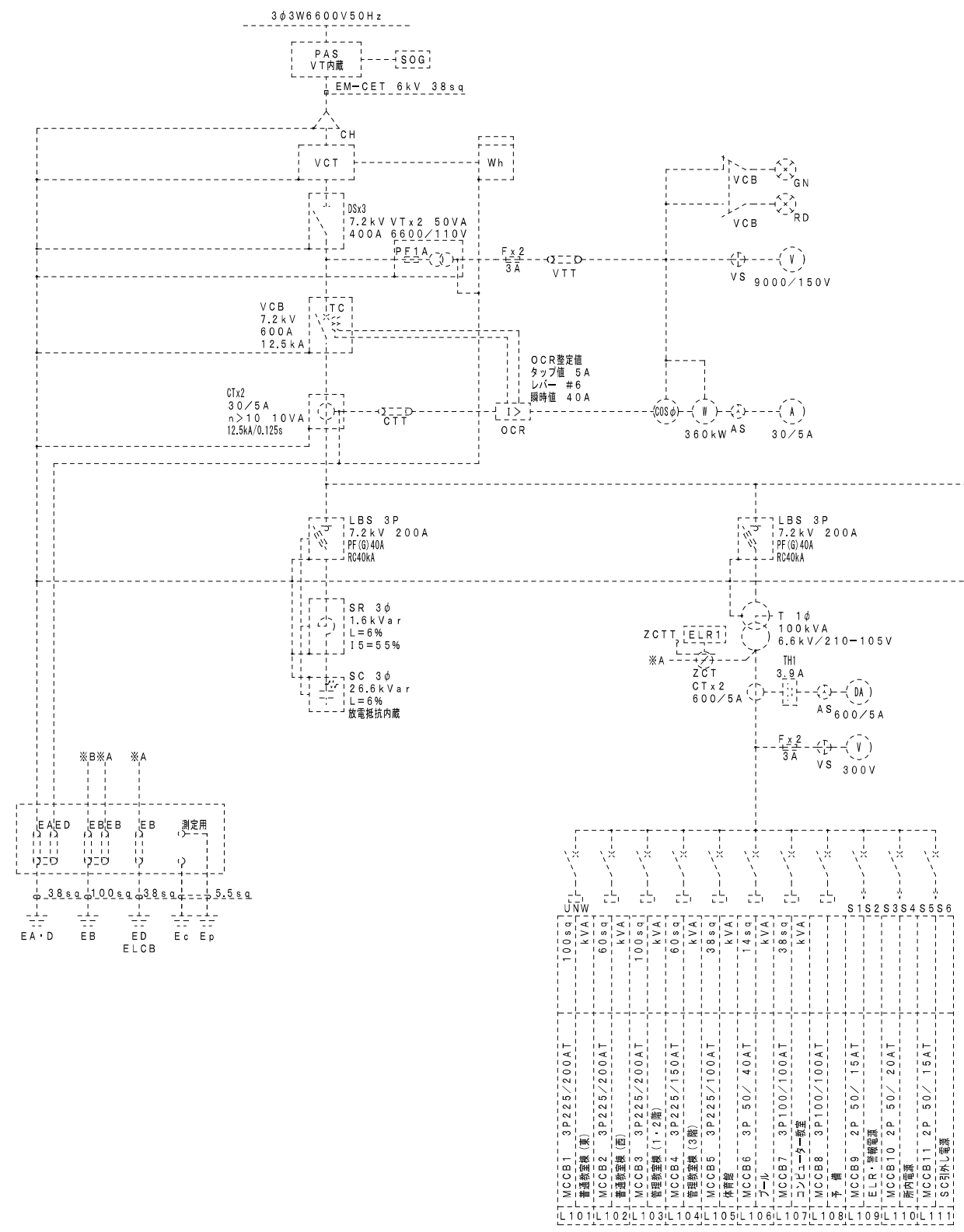
- 第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。
第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
・種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） ㎡3
・中間処理施設 市 地内、(株)
・処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融を含む）
・ 中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
第2条 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。
第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
第2条 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
第3条 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
第4条 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理業（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
第2条 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。
第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
第2条 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
第3条 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書

- 第1条 この特記仕様書は、昇降機設備工事（新設、増設又は更新）において、昇降機を常時適法な状態に維持できるよう必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」（平成28年2月19日付け国土交通省住宅局建築指導課）による。
第2条 この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。
2 昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。
3 発注者とは、本工事の発注者をいう。
4 受注者とは、本工事の受注者をいう。
5 製造者とは、昇降機の製造者をいう。
6 管理者とは、昇降機の引渡しを受け、施設管理を行う者をいう。
7 保守点検受注者とは、管理者からの委託により、保守・点検業務を受注した者をいう。
第3条 製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。
2 製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供給すること。
3 製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するとともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。
4 製造者は、保守点検受注者からの依頼に対し協力すること。
5 受注者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。
第4条 この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

官公庁等打ち合わせ相手 打ち合わせ担当者	建築 昇降機
施設管理者	
電力会社	
電話会社	
ケーブルテレビ会社	
消防本部	

編 号	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図 面 番 号
	A2:S=N.S	小学校体育館空調設備設置工事（大曾根小学校）	電気設備工事特記仕様書	E-01



共用キュービクル式
非常電源専用受電設備
共用第184号

正面	
NPO1	高圧受電盤
NPO2	高圧コンデンサ盤
NPO3	低圧電灯盤
NPO4	低圧動力盤

共用キュービクル式
非常電源専用受電設備
共用第184号

回路	電圧	容量	設備
MCCB1	3P 225/200AT	100kVA	普通照明(東)
MCCB2	3P 225/200AT	60kVA	普通照明(西)
MCCB3	3P 225/200AT	100kVA	普通照明(1・2階)
MCCB4	3P 225/150AT	60kVA	普通照明(3階)
MCCB5	3P 225/100AT	38kVA	体育館
MCCB6	3P 50/40AT	14kVA	トイレ
MCCB7	3P 100/100AT	38kVA	コンピュータ一階室
MCCB8	3P 100/100AT	38kVA	予備
MCCB9	2P 50/15AT	15kVA	ELR 警報電源
MCCB10	2P 50/20AT	20kVA	所内電源
MCCB11	2P 50/15AT	15kVA	SC引外し電源
MCCB21	3P 100/100AT	FP148-3C	消火栓ポンプ(P-A)
MCCB22	3P 100/100AT	22kVA	給水ポンプ
MCCB23	3P 100/100AT	22kVA	冷房機
MCCB24	3P 50/50AT	22kVA	エレベーター
MCCB25	3P 50/30AT	8kVA	トイレ
MCCB26	3P 100/75AT	38kVA	コイルファン
MCCB27	3P 225/200AT	60kVA	照明室・校舎室・体育館
MCCB28	3P 50/50AT	28.44kVA	照明室・校舎室・体育館
MCCB29	3P 100/100AT	100kVA	予備
MCCB30	3P 225/200AT	150kVA	ACP-1
MCCB31	3P 600/500AT	135.6kVA	ACP-1
MCCB32	3P 400/300AT	100kVA	ACP-2
MCCB33	3P 225/200AT	150kVA	ACP-2
MCCB34	3P 225/200AT	34.4kVA	P-AC-1

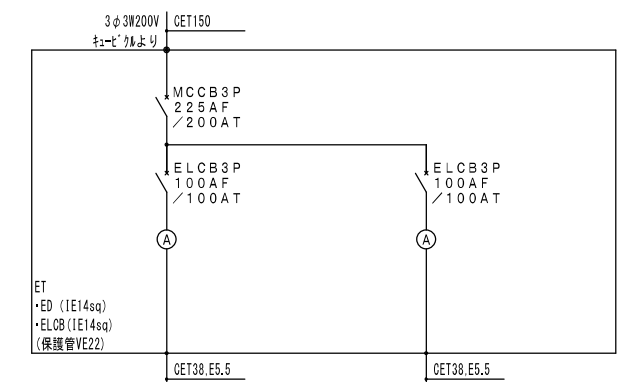
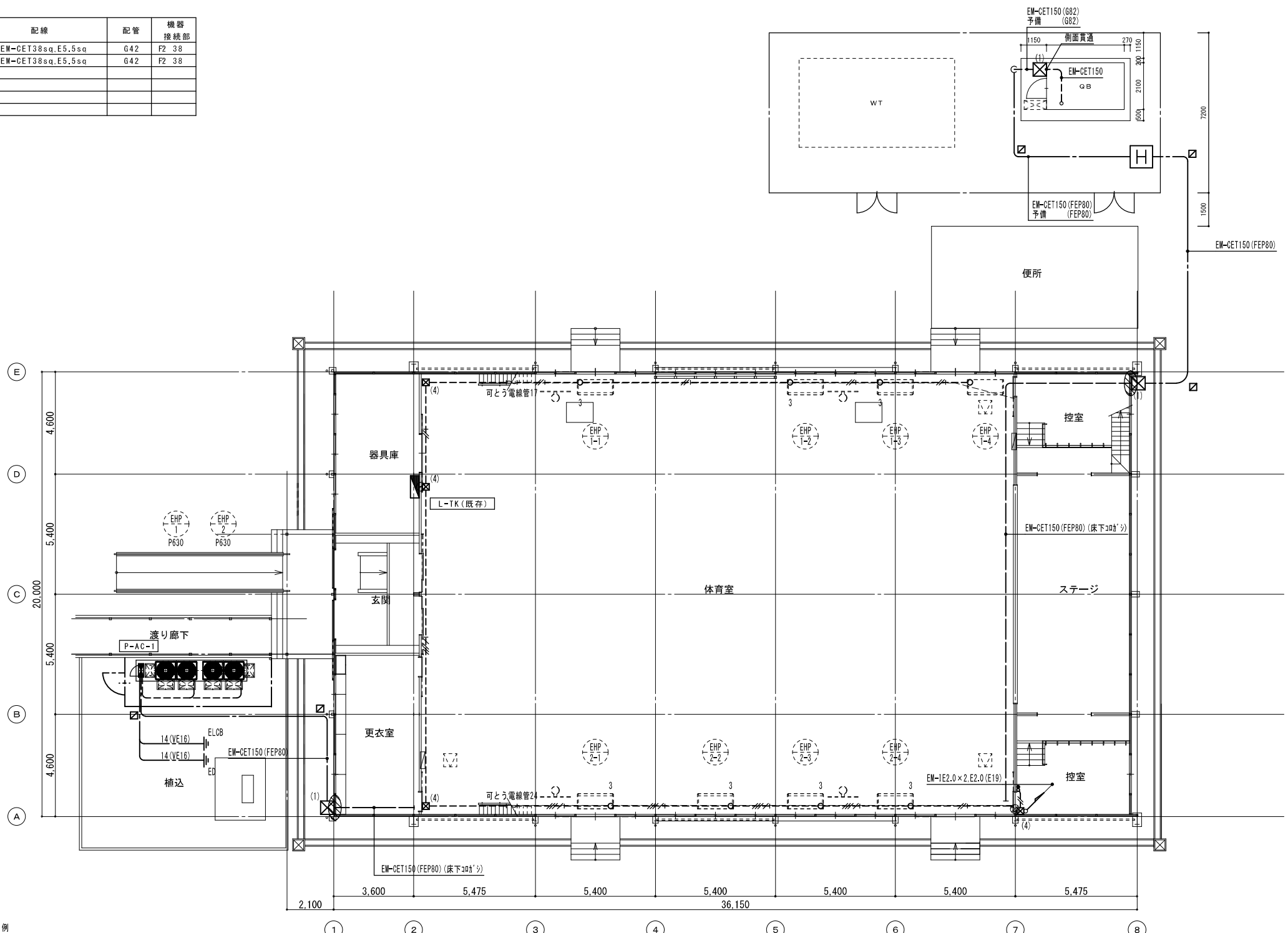
共用キュービクル式
非常電源専用受電設備
共用第184号

特記事項

細破線は既存を示す。

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=N.S	小学校体育館空調設備設置工事(大曾根小学校)	改修後 受電設備単線結線図	E-03

記号	配線	配管	機器
EHP-1	EM-CET38sq, E5.5sq	G42	F2 38
EHP-2	EM-CET38sq, E5.5sq	G42	F2 38



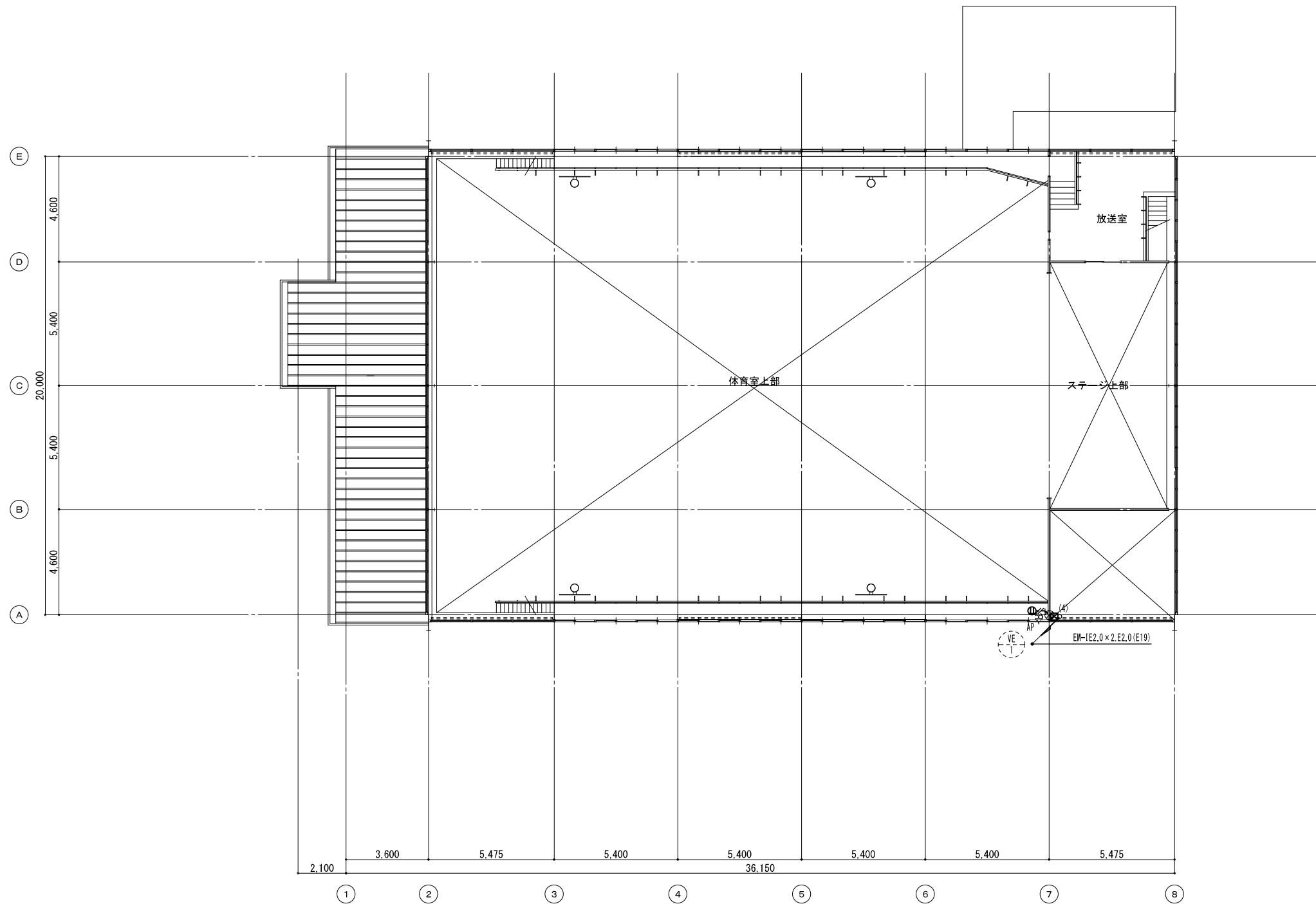
負荷名称	空調室外機	空調室外機
記号	EHP-1	EHP-2
負荷容量 (kW)	17.2	17.2
(Comp)		
(Fan)		
最大電流 (A)	81.3	81.3
始動方法		
操作制御方法		
操作制御入付		
運転		
インテック		
	P 630	P 630
	新設	P-AC-1
		屋外銅板製露出自立型
		合計 (34.4) kW (162.6) A

- ◆ 凡例
- EM-1E2.0 x 2 (E19)
 - EM-1E2.0 x 2, E2.0 (E19)
 - EM-1E2.0 x 4, E2.0 (E25)
 - ☒ (1) PB600 x 600 x 500 SUS.WP
 - ☒ (2) PB400 x 400 x 300
 - ☒ (3) PB400 x 400 x 300 SUS.WP
 - ☒ (4) PB150 x 150 x 100
 - ⊙ 壁はつり補修を示す
 - 2 露出ボックス 2方出
 - 3 露出ボックス 3方出
 - ⊕ コンセン 2P15A x 1E (露出*) カス共)
 - 1P15A x 1 (表示灯付)
 - ↑ 接地極 14φ x 1,500mm (配線太さ、保護管は結線図による)
 - ⊠ ボンド 600 x 600 x 900H (R2K=60)
 - ⊞ 地中埋設標を示す
 - ⊞ 既存床下点検口
 - ⊞ 床下* 側貫通処理を示す

1階平面図 S=1/150

回路番号	電圧 (V)	MCCB	ELCB	ブレーカーサイズ	室名	負荷名	容量		備考
							R相~N相	N相~T相	
101	100V	☐	☐	2P 50AF / 20AT	誘導灯				
102	100V	☐	☐	2P 50AF / 20AT	警備電源				
103	100V	☐	☐	2P 50AF / 20AT	7F照明1	電灯			
104	100V	○	○	2P 50AF / 20AT	換気扇	換気			手操回路 名称変更
105	100V	☐	☐	2P 50AF / 20AT	手操				
106	100V	☐	☐	2P 50AF / 20AT	予備				
107	100V	☐	☐	2P 50AF / 20AT	予備				
108	100V	☐	☐	2P 50AF / 20AT	照明機器				
109	200V	○	○	2P 50AF / 20AT	空調室内機	空調			増設

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2:S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事 (大曾根小学校)	幹線動力設備 1階平面図	E-04



2 階平面図 S=1/150

- ◆ 凡例
- EM-1E2.0×2 (E19)
 - EM-1E2.0×2, E2.0 (E19)
 - EM-1E2.0×4, E2.0 (E25)
 - ☒ (1) PB600×600×500 SUS, WP
 - ☒ (2) PB400×400×300
 - ☒ (3) PB400×400×300 SUS, WP
 - ☒ (4) PB150×150×100
 - 壁はつり補修を示す
 - 2 露出ボックス 2方出
 - 3 露出ボックス 3方出
 - ⊕ コンセン 2P15A×1E (露出ボックス共)
 - 1P15A×1 (表示灯付)
 - ← 接地極14φ×1,500mm (配線太さ、保護管は結線図による)

摘要	設計年月日	縮尺	工事名称	図名	図面番号
		A2: S=1/150	小学校体育館空調設備設置工事 (大曾根小学校)	幹線動力設備 2階平面図	E-05